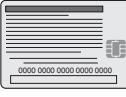


付属品

●ヘッドホン・イヤホン、DVDレコーダーなどの接続コード類、
アンテナ接続用の同軸ケーブルなどは別売です。

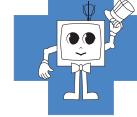


設置や接続の前に、まず付属品をお確かめください。〈 〉は個数です。

□リモコン〈1〉 (27ページ) 	□取扱説明書〈各1〉 基礎ガイド 基本ガイド (本書) かんたんガイド (別冊) 接続ガイド 接続ガイド (別冊)
(品番 : N2QAYB000545)	
□単3形乾電池〈2〉 (リモコン用) (27ページ) 	□B-CASカード〈1〉 (39ページ) 表面  裏面  (カードの紛失時は 39ページ)

- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へ上記品番でご注文ください。(サービスルート扱い)

ID番号	「B-CASカード」「ID表示」(ガイド160)で確認できる 「カードID」と「デコーダーID」の番号を記入してください。 問い合わせのときに必要な場合があります。	カードID(B-CASカード番号) デコーダーID
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

愛情点検	テレビセットを長期ご使用になりますと、 長年ご使用のテレビの点検を！ 内部の油煙、スス、ホコリ等の堆積によって 故障する場合があります。		
	こんな症状は ありませんか	<ul style="list-style-type: none"> ●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●映像が連続してチラついたりユレたりする。 ●ジージー・パチパチと異常な音がする。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。 ●内部に水や異物が入った。 	<p>ご使用 中止</p> <p>故障や事故防止の ため、電源を切り、 コンセントから電 源プラグを抜いて、 必ず販売店に点検 をご相談ください。</p> 

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番 TH-
	販 售 店 名	 () -	お客様ご相談窓口  () -

廃棄時にご注意 願います！	家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式、液晶式、プラズマ式) を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいた だき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社 映像・ディスプレイデバイス事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号
© Panasonic Corporation 2010

基本ガイド

●ご使用前に知りたいことや
本機の特長などを記載しています。



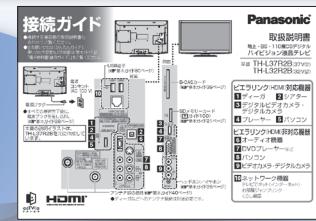
VIERA の操作ガイドは
画面に表示されます

ガイド
? を押すと表示。

主な使いかた
が分かる
かんたんガイド



外部機器を
つなぐときは
接続ガイド



パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>



※このサービスは
WEB 限定のサービスです。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●「基本ガイド」(本書)、「電子説明書(操作ガイド)」、「接続ガイド」および「かんたんガイド」を
よくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- ご使用前に「安全上のご注意」([108~112ページ](#))を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください。[38ページ](#)
- 基本ガイドは、37V型(TH-L37R2B)、32V型(TH-L32R2B)共用です。
- 製造番号は、安全確保上重要なものです。お買い上げの際は、
製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

保証書別添付



AVCHD™

AVCREC™

BONUSVIEW™

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

Panasonic®

取扱説明書

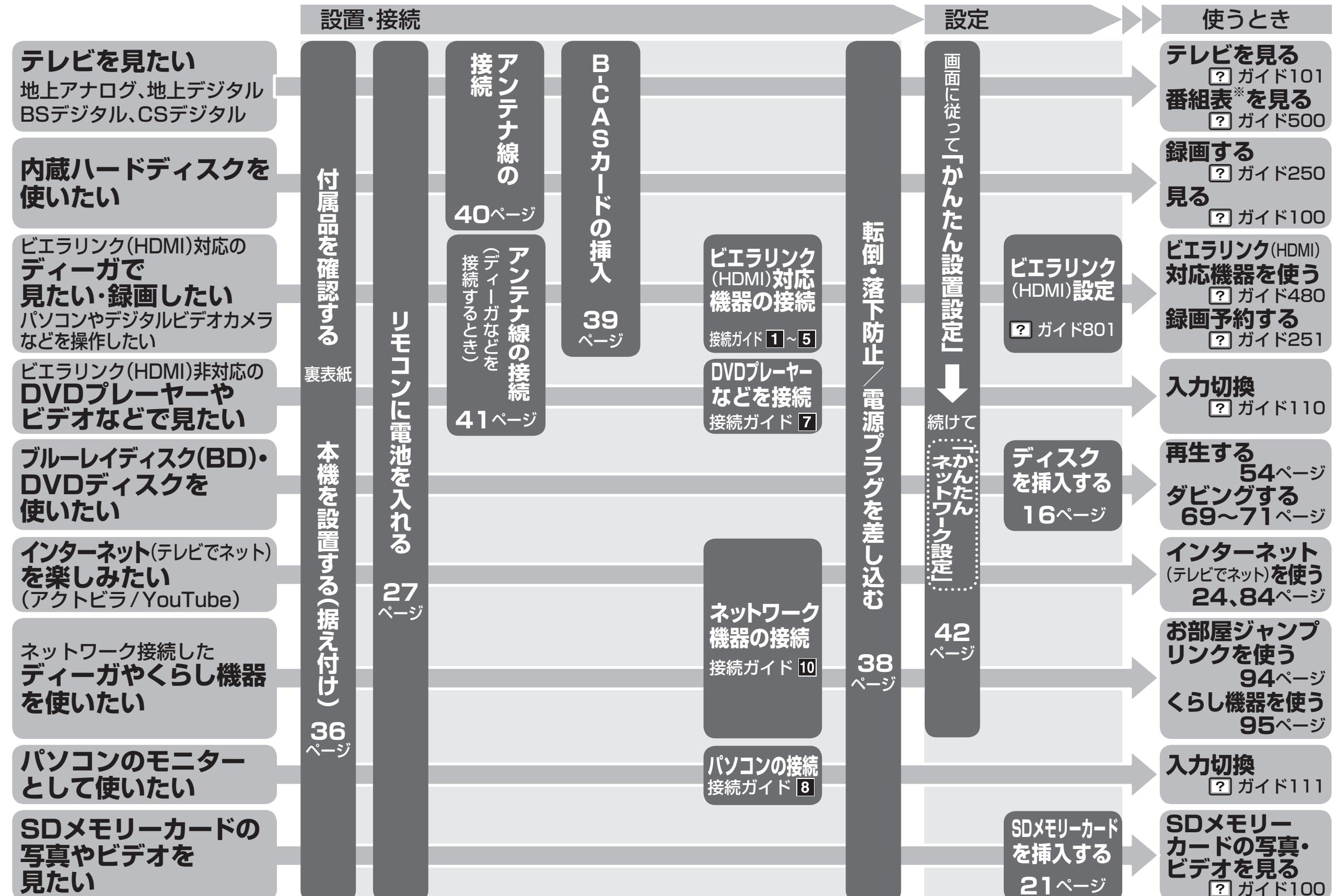
地上・BS・110度CSデジタル
ハイビジョン液晶テレビ

品番 TH-L37R2B(37V型)
TH-L32R2B(32V型)

もくじ



※本機の番組表は、Gガイドを使用しています。



テレビ画面で
使いたが分かる!
操作ガイド

(電子説明書)

本書では「電子説明書」と記載しています。

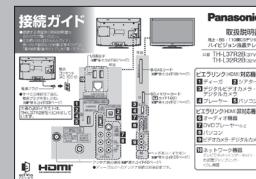


**基本
ガイド**
(本書)



**接続
ガイド**
(別冊)

ディーガなどを接続するとき



主な使いたが分かる!
**かんたん
ガイド**
(別冊)



紙の取扱説明書を紛失された場合は、当社ホームページから閲覧やダウンロードができます。
(<http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html>)

もくじ

電子説明書 (操作ガイド)

こんなことが できます

準備

使いた

接続・設定

ネットワーク機器 を使う

必要なとき

- この取扱説明書や電子説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、TH-L37R2Bを元に作成しています。

「安全上のご注意」を 必ずお読みください (108~112ページ)

安全上
の
ご注意

電子
説
明
書
(
操
作
ガ
イ
ド
)

が
こ
ん
な
こ
と
す
ま
す

準
備

使
い
か
た

接
続
・
設
定

ネ
ッ
ト
ワ
ー
ク
機
器
を
使
う

必
要
な
と
き

- 電子説明書(操作ガイド)の使いた 6
- 電子説明書(操作ガイド)項目一覧 9

- 基本の使いた 12
- エコナビ／くらし機器 22
- ビエラリンク(HDMI)を使う 14
- お部屋ジャンプリンク／無線LAN 23
- ディスクを再生する・ダビングする 16
- 内蔵ハードディスクを使う 18
- SDメモリーカード／音声ガイド 21
- テレビでネット
(アクトビラ／YouTube) 24

- 各部のはたらき(本体／リモコン) 26
- B-CASカードの挿入 39
- 本機で楽しめる放送 28
- アンテナ線の接続 40
- ディスクについて 30
- 設置設定をやり直す
(かんたん設置設定
(かんたんネットワーク設定)／
チャンネル修正／受信設定) 42
- ダビングについて 32
- 録画モードについて 35
- 設定する(据え付け／設置オプション／)
(転倒／落下防止／電源プラグ) 36

- 録画を見る 50
- 録画番組(ワンセグ)を持ち出す 68
- 内蔵ハードディスクに録画する 52
- 番組をダビングする(ブルーレイディスク) 69
- 再生する 54
- 写真をダビングする 70
- 番組表から探す・見る・
録画予約する 64
- ビデオ映像(AVCHD)をダビングする 71
- ディスクの管理／設定 72

- 外部機器の接続・設定 76
- ネットワーク機器の接続・設定 80

- インターネットを使う
(アクトビラ) 84
- 文字を入力する(アクトビラ) 88
- ネット操作パネルを使う
(アドレス入力／お好みページを使う) 86
- 文字を入力する(ブルーレイディスク) 92
- お部屋ジャンプリンクを使う 94
- くらし機器を使う 95

- メニュー一覧 96
- 取り扱いについて 106
- 故障かな!? 99
- Quick Reference Guide 113
- 用語解説 100
- 仕様 114
- 商標などについて 102
- 保証とアフターサービス 116
- お手入れ／上手な使いた 104
- さくいん 118

本機はインターネット(LAN)接続による双方向(データ放送)サービスに対応しています。
ただし、電話回線接続による双方向(データ放送)サービスはご利用になれません。

電子説明書(操作ガイド)の使いかた

本機は電子説明書を内蔵しています。

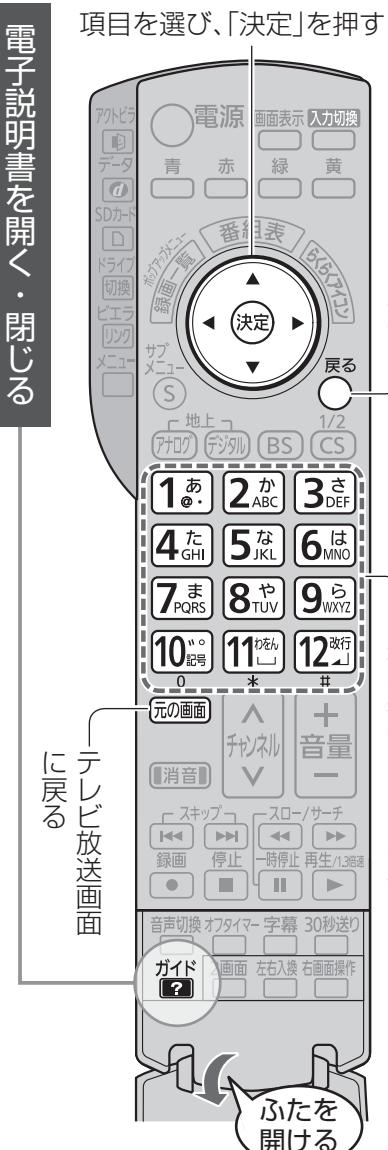
●テレビ画面で使いかたや解説を読むことができます。

●本書のさらに詳しい説明を見る(3桁の番号の見かた)(下記)

●トップページから見たい情報を探す(7ページ)

●電子説明書の便利な機能(8ページ)

電子説明書を開く・閉じる



本書のさらに詳しい説明を見る(3桁の番号の見かた)

本書に記載の「 ガイド〇〇〇」は情報ページの番号です。テレビを見ているときに、 を押して3桁の番号を入力すると、その情報ページを表示します。

1 テレビを見ているときに を押す



●電子説明書のトップページを表示します。
●テレビ操作画面や電子説明書などが表示されている場合は、 を押して、テレビ放送画面に戻してから を押してください。

2 本書に記載の3桁の番号を押す

●やり直すときは、「戻る」を押す。
(1つ前の画面に戻る)

例) (ガイド501) 5 0 1

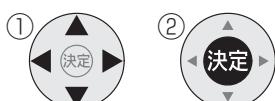


トップページから見たい情報を探す

1 テレビを見ているときに を押す

●もう一度押すと、テレビ画面に戻ります。

2 見たい項目を選び、「決定」を押す



●①と②を繰り返し、見たい情報を確認します。

トップページ



●音声案内について(8ページ)

目的でさがす

「番組を探す」、「録画する」など目的別に情報の一覧が表示されます。



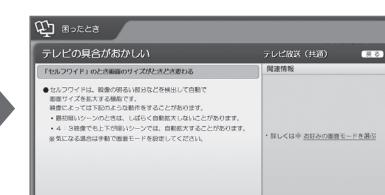
言葉でさがす

探したい言葉の一覧を表示します。



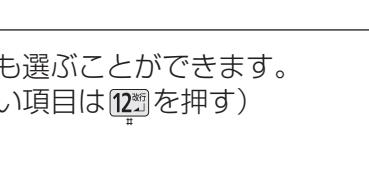
困ったとき

困ったときの解決法やよくあるお問い合わせ「Q&A集」を紹介しています。



■項目に番号があるとき

リモコンの数字ボタンでも選ぶことができます。
(「■準備」など、番号のない項目は を押す)



電子説明書(操作ガイド)の使いかた

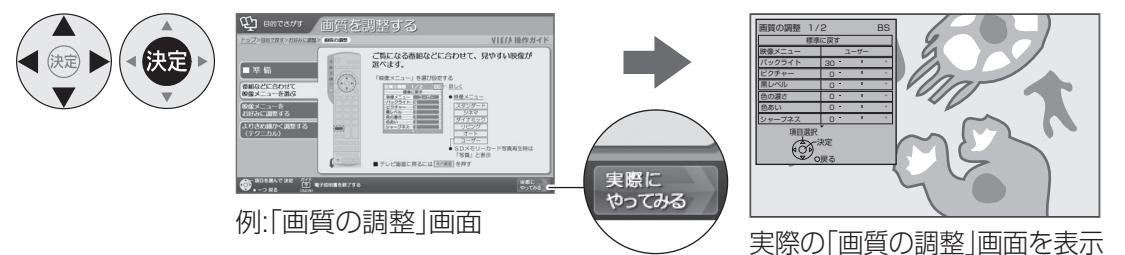
電子説明書(操作ガイド)の使いかた(つづき)

電子説明書の便利な機能

■電子説明書の説明を読んだあと、実際に操作する

画面上の「実際にやってみる」を選ぶと実際の操作画面に切り換わります。

「実際にやってみる」を選び、「決定」を押す

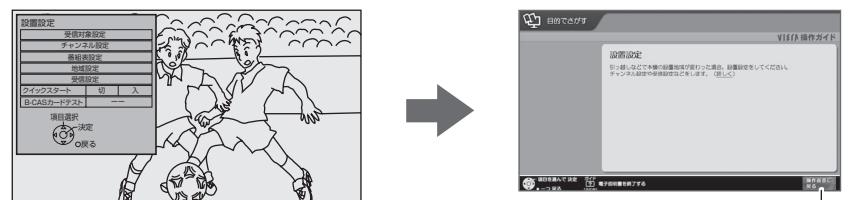


■テレビの操作の途中で説明画面に切り換える

操作の途中でわからなくなったりなどに、今の画面に関連した説明を表示します。

操作中に

ガイドを押す



例: 設置設定画面を
出しているとき

- 「操作画面に戻る」が表示されているときは、「操作画面に戻る」を選び、「決定」を押すと、再度操作に戻ることができます。



■音声案内を利用する

トップページと次のページでは、電子説明書の使いかたを音声でご案内します。

●音声案内を聞き直したいときは、を押す。

- トップページのみ、聞き直しができます。
- 「音声案内を止める」選択時は聞き直しはできません。

●音声案内を止めたいときは「音声案内を止める」を選び、「決定」を押します。

■エラーメッセージの詳しい説明を表示する

エラーメッセージにが表示されているときにを押すと、詳しい説明を表示します。

電子説明書(操作ガイド)項目一覧



トップページ

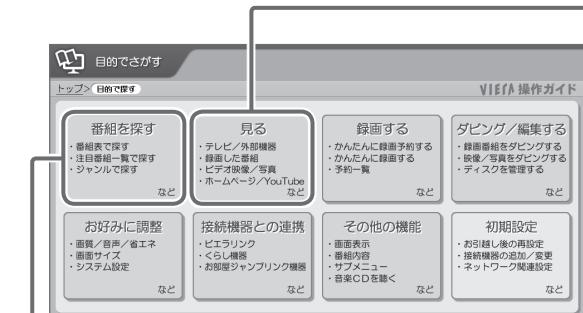
まずお読みください

- 電子説明書をお使いになる前に(004)
- 電子説明書内のディスクの表現について(880)
- ご使用上の注意(008)
- 内蔵ハードディスクへの録画内容の保管について(007)
- SDメモリーカードを廃棄/譲渡するとき(920)
- 記録内容などの損害・損失について(005)
- 著作権について(006)

目的でさがす

代表的な項目を記載します。

ガイドと3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。



番組を探す (010)

- 番組表で探す(011)
- 今放送中の番組を探す(020)
- 関連情報で探す(090)
- 注目番組一覧で探す(015)
- ジャンル別に探す(060)
- キーワードで探す(070)
- 人名で探す(080)

▶番組表について

- 番組表の使いかた(501)
- かんたん録画予約(631)/
ディーガに録画予約(251)
- 今すぐ見る/
見るだけ予約(510)
- 番組を検索したいとき(011)
- 番組表で困ったとき

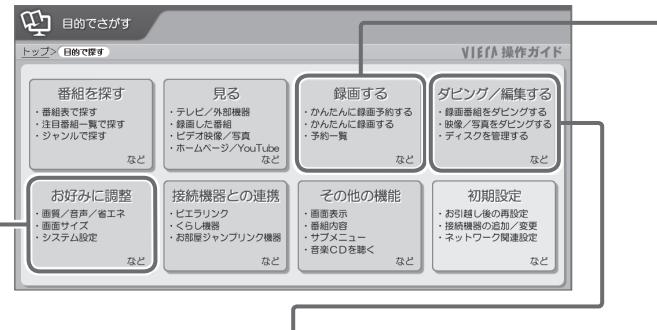
■番組データの取得について

見る (100)

- テレビ放送(101)
 - ボタンで選局する
(チャンネルを選ぶ、音量を調整する、音を消す)(102)
 - 順送りで選局する(103)
 - お好み選局(104)
 - 3桁入力で選局する(105)
- 録画一覧の番組
 - 内蔵ハードディスク(605)
 - ブルーレイディスク/DVD(884)
- お好み録画一覧の番組(620)
- 市販やレンタルのBDビデオ/DVDビデオ(882)
- ビデオ映像
 - SDメモリーカード(580)
 - ブルーレイディスク/DVD(893)
- 写真
 - SDメモリーカード(886)
 - 写真を見る(121)
 - 写真を分類して見る(143)
 - BD-RE/DVD-RAM(887)
- DVD/ビデオ(外部機器)(110)
- パソコン(111)
- ネットで使い方ガイド(201)
<インターネットで接続機器の情報を見るとき>
- ホームページ(アクトビラ)(200)
- YouTube(ユーチューブ)(205)
- 各種情報/データ放送(220)
 - 各種情報など(160)
 - 放送メールを見る(161)
 - B-CASカードの情報を見る(166)
 - ID表示を見る(167)
 - ボードの情報を見る(168)
 - ダビング履歴を見る(169)
 - データ放送(190)

電子説明書(操作ガイド)項目一覧

目的でさがす(つづき)



お好みに調整 (300)

- 画質を調整する(301)
- 音声を調整する(311)
- 音声や映像信号を切り換える(316)
- 画面サイズを選ぶ(921)
- パソコン画面を調整する(370)
- 2画面にする(340)
- 省エネ設定(350)
 - 放送終了後、自動的に電源を切る(351)
 - 操作しないとき、自動的に電源を切る(352)
 - 内蔵ハードディスクとBDドライブを休止状態にする(356)
- ディスクの設定(918)
- 録画・視聴設定(348)
- タイマーで電源を入れる(オンタイマー)(357)
- タイマーで電源を切る(オフタイマー)(358)
- 画面の設定を変える(360)
 - 画面の設定1/3(361)
 - 垂直位置/サイズ(PC画面調整)、水平表示領域、HD表示領域、セルフワイド、ID-1検出、ED2検出
 - 画面の設定2/3(362)
 - 3次元Y/C分離、480p色マトリックス、サイドカット固定
 - 画面の設定3/3(363)
 - デジタルシネマリアリティ、Wスピード
- 音声の設定を変える(365)
- 音声ガイドを使う(411)
- システム設定(380, 385, 397)
 - お好み録画設定、字幕の設定、選局対象、右画面操作、タイトル表示、時計表示、表示の設定、録画・視聴設定、制限項目設定

録画する (250)

- かんたんに録画予約する(631)
- かんたんに録画する(635)
- 予約の変更・削除をする(予約一覧)(270)
- 探して毎回予約する/毎週予約する(285)
- ディーガに録画予約する(251)
 - 詳細設定(280)
 - (予約方式、録画機器、録画モード)(281)
 - ディーガに見ている番組を録画する(265)
- 外部機器の映像を見ながら録画する(881)
- 日時を指定して録画予約する(260)
- その他の設定(293)
- ワンセグ持ち出し(ワンセグ同時録画設定)(268)
- ▶録画予約の注意点
 - 録画予約の重複について(258)
 - 本機で録画するときの録画モードについて
 - 録画モードと録画時間の目安
 - 録画の優先順位
 - 録画についての注意事項(259)

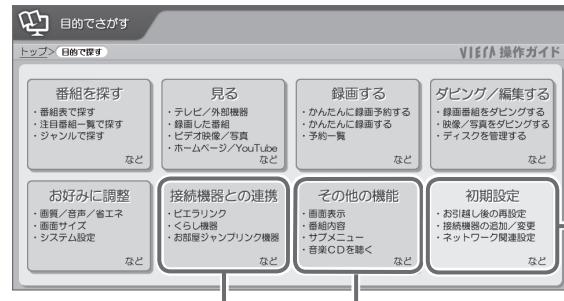
ダビング/編集する (900)

- 録画番組をダビングする
 - ブルーレイディスク(898)
 - ディーガ(645)
 - 写真をダビングする(901)
 - ビデオ映像をダビングする(903)
 - 録画番組を消去する(640)
 - 録画番組のプロテクト設定を変更する(945)
 - 録画番組名を変更する(911)
 - ブルーレイディスクを管理する(905)
 - 録画番組(ワンセグ)を持ち出す(172)
 - 録画番組(ワンセグ)の確認/消去(136)
- ▶ダビングの注意点 (916)

(つづき)

ガイド ? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

目的でさがす(つづき)



接続機器との連携 (480)

- ビエラリンク(HDMI)
 - ディーガを操作する(550)
 - シアターで楽しむ(551)
 - ケーブルテレビを操作する(530)
 - パソコンを操作する(495)
 - デジタルリビデオカメラを操作する(492)
 - ルミックスを操作する(555)
 - デジタルカメラ(他社製)を操作する(498)
 - プレーヤーを操作する(556)
- ビエラリンク(HDMI)とは(497)

- くらし機器を使う(535)
- くらし機器設定(773)

- お部屋ジャンプリンクに対応した当社製レコーダー(ディーガ)を操作する(560)
- お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定(793)

その他の機能 (450)

- 画面表示(451)
 - 番組の情報を表示
- 戻る・元の画面(453)
 - 操作がわからないときや、戻りたいとき
- 番組内容(454)
 - 番組の詳細内容を表示
- サブメニュー(460)
 - 関連する機能を呼び出す
- 音楽CDを聴く(895)

初期設定 (700)

- かんたん設置設定(701)
 - 引っ越しなどで設定をやり直すとき
- かんたんネットワーク設定(702)
- 設置設定(703)
 - 受信対象設定(704)、チャンネル設定(708)、番組表設定(710)、地域設定(715)、受信設定(725)、クイックスタート(736)、B-CASカードテスト(739)
- ネットワーク関連設定(798)
 - LAN接続形態/アクセスポイント接続設定(763)、IPアドレス/DNS設定(753)、プロキシサーバー設定(768)、お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定(793)、くらし機器設定(773)
- 省エネ設定(350)
- 接続機器関連設定(822, 823)
 - ビエラリンク(HDMI)設定(801)
 - HDMI RGBレンジ設定(851)
 - HDMI画質連動設定(843)
 - HDMI音声入力設定(825)
 - ビデオ入力表示書換(828)
 - デジタル音声出力(831)
 - 入力自動スキップ/PCスキップ/HDMIスキップ(837)
- 自動更新設定(750)
- 設定リセット(742)
 - 個人情報リセット(744)
 - HDDのフォーマット(745)
 - SDカードのフォーマット(746)

こんなことができます 基本の使いかた

電子説明書の使いかた
(6ページ)

○電源 テレビをつける

インターネット (アクトビラ)

アクトビラ



(84ページ)

SDメモリーカードの写真やビデオを見る

SDカード



(ガイド100) (21ページ)

内蔵ハードディスクやディスクを使う

(再生する: 19、54ページ)
(録画する: 18、52ページ)

ドライブ 切換 ドライブを切り換える

- 録画 録画する*
- 一時停止 停止する
- 一時停止する 停止する
- スロー/サーチ 再生する
- スキップ スキップ
- 早送り・早戻し・スロー再生 早送り・早戻し・スロー再生
- 30秒送り 30秒先を再生する

*ディスクには直接録画できません。

ガイド
 電子説明書を見る (6ページ)

入力切換 DVDやビデオを見る (ガイド110)

ビエラリンク対応機器を使う

ビエラリンク



ディーガ



デジタルビデオカメラ
デジタルカメラ

シアター



(ガイド480) (14ページ)

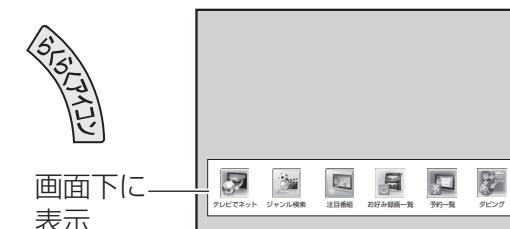
番組表を見る

番組表



- 番組表の見かた
(ガイド501)
- 番組を探す
(ガイド011)
- かんたんに録画予約する
(ガイド631)

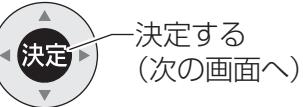
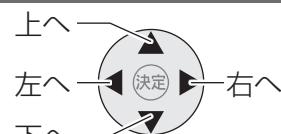
らくらくアイコンを使う (ガイド150)



画面下に表示



画面上で選ぶ／決定する



テレビを見る (50ページ、 ガイド101)

地上 デジタル BS CS 放送を切り換える

1あ. ~ 12改行 チャンネルを切り換える

● 基本の使いかた

こんなことが できます ビエラリンク(HDMI)を使う

電子説明書の使いかた
(6ページ)

接続
かんたん!
配線
スッキリ!!

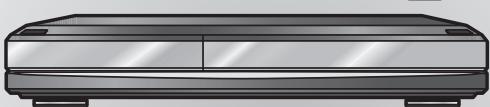
1本だけ!

●詳しくは
(接続ガイド 1~5)

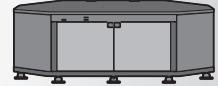
連動



パソコン



ディーガ

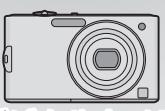


シアター(ARC[※]対応)
(ラックシアター、サウンドセットなど)

●ARC非対応のシアターと接続するときは光デジタルケーブルも必要です。



デジタルビデオカメラ

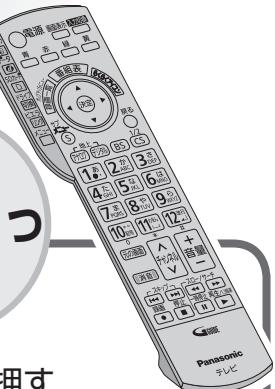


デジタルカメラ



CATVデジタルSTB
(ケーブルテレビデジタルセット)
トップボックスの略です。

本機の
リモコン1つ
で操作!

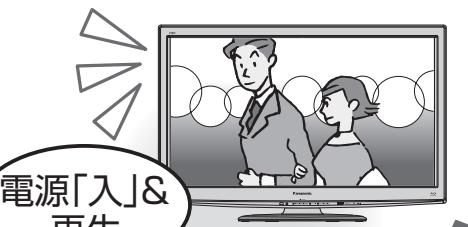


本機のリモコンで機器を操作(例)

ビエラリンクを押す → 「ビエラリンクメニュー」から選び、「決定」を押す



- ディーガの画面を操作する
(ガイド481)
- 見ている番組をディーガにすぐに録画する
(ガイド485)



電源「入」&
再生

自動「入」

ディスクをセット

電源「切」

自動「切」

自動
「切」

ディスク再生

(電源オン連動)

(ガイド484)

ディーガにディスクを入れると、本機の電源が自動で「入」になり、再生が始まります。(設定は下記参照)

一斉電源「切」

(電源オフ連動)
本機、ディーガ、シアターを使用中、本機の電源を「切」にすると、すべての機器の電源も一斉に「切」になります。(設定は下記参照)

使っていない機器の電源を自動で「切」にする(こまめにオフ)
(設定は下記参照)

待機電力を最小にする
(ECOスタンバイ)
(設定は下記参照)

シアターのリモコンで、 DVDなどをワンタッチ再生

(ワンタッチ再生ボタンのあるシアターのみ)
(ガイド491)

ビエラリンク(HDMI)設定のしかた

●詳しくは(ガイド801)
メニュー

- ① を押す
- ②「設定する」を選び、「決定」を押す
- ③「初期設定」を選び、「決定」を押す
- ④「接続機器関連設定」を選び、「決定」を押す
- ⑤「ビエラリンク(HDMI)設定」を選び、「決定」を押す

⑥「ビエラリンク(HDMI)制御」を選び、「する」を選ぶ

ビエラリンク(HDMI)設定		
ビエラリンク(HDMI)制御	<input checked="" type="checkbox"/> しない	
電源オン連動	<input type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> しない
電源オフ連動	<input type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> しない
ECOスタンバイ	<input type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> しない
こまめにオフ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> しない
電源オン時の音声出力	<input type="checkbox"/> テレビ	<input checked="" type="checkbox"/> シアター
ケーブルテレビ電源オフ連動	<input type="checkbox"/> する	<input checked="" type="checkbox"/> しない
ディーガの操作	<input type="checkbox"/> 通常	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大

お好みで設定する

■ビエラリンクについてさらに知りたいときや困ったときは
(ガイドのトップページ「困ったとき」から)

連動して
操作
かんたん!

こんなことがディスクを再生する・ダビングする できます

電子説明書の使いかた
([6ページ](#))

ディスクを再生する



市販やレンタルのBDビデオ・ DVDビデオの再生

([60ページ](#)、[ガイド882](#))

ディスクに録画された 番組の再生

([54ページ](#)、[ガイド884](#))

●録画一覧から選んで再生できます。

音楽CDの再生

([61ページ](#)、[ガイド895](#))

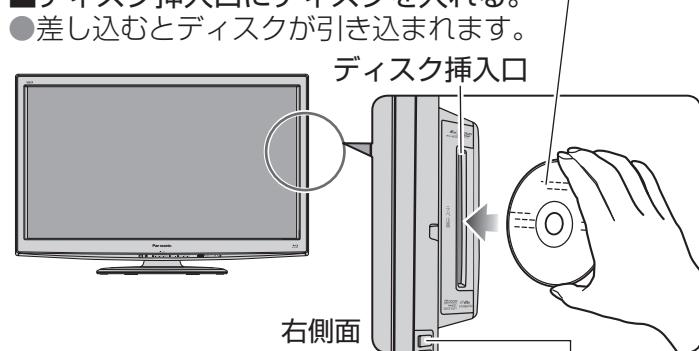


ブルーレイディスク
ドライブ内蔵で
**再生・ダビング
できる！**

- ディスクについて([30ページ](#))
- ディスクの取り扱いについて([106ページ](#))

ディスクの入れかた

- ディスク挿入口にディスクを入れる。
- 差し込むとディスクが引き込まれます。



ラベル面を本体前面に向ける。
ディスクの信号面(光っている面)
を持たないように注意する。

信号面に指紋や汚れが付着していない
ことを確認し、挿入してください。

- ディスクの持ちかたについて
([106ページ](#))

お知らせ

- ディスクを取り出すときは本体側面の△[取り出](#)しを押す。
- ディスクが途中まで出たら手で取り出してください。
 - ・ディスクをそのままにすると、ディスクに傷がついて、故障の原因になります。
- 途中まで出たディスクを再度挿入するときは、
ディスクを一度取り出してから入れ直してください。
- リモコンで電源を「切」のとき
 - ・ディスクを挿入すると電源が入ります。
 - ・ディスクを取り出します。
- ディスクの取り出し時、HDDランプが赤色で点滅し、
取り出しまでに時間がかかることがあります。(最大約2分)

本機(内蔵ハードディスク)からブルーレイディスクに ダビングする

- ダビングについて([32ページ](#))
- ダビングに使用できるディスク([30ページ](#))

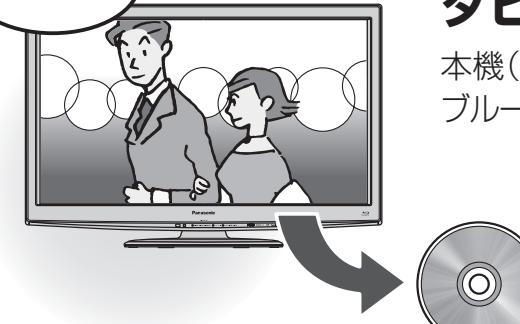
ハイビジョン
で残す

本機(内蔵ハードディスク)に録画した
ハイビジョン番組を、ブルーレイディスクに
ハイビジョン画質でダビングできます。

画質を変えて
ダビング

ブルーレイディスクの容量が足りない場合は
画質を変えて、録画容量の調整ができます。

録画番組



録画番組を
ダビングする([69ページ](#))

本機(内蔵ハードディスク)に録画した番組を
ブルーレイディスクにダビングできます。

地上デジタル放送と同時に録画した
ワンセグ放送の番組を、SDメモリーカードにダビングできます。
(ワンセグ持ち出し [20, 68ページ](#))

SDメモリーカードからブルーレイディスクに ダビングする

- ダビングについて([32ページ](#))
- ダビングに使用できるディスク([30ページ](#))

写真 動画



思い出の写真・動画を
ディスクに残す([70, 71ページ](#))

デジタルカメラやデジタルビデオカメラで
撮影し、SDメモリーカードに保存された写真や
動画をブルーレイディスクにダビングできます。

こんなことが できます 内蔵ハードディスクを使う

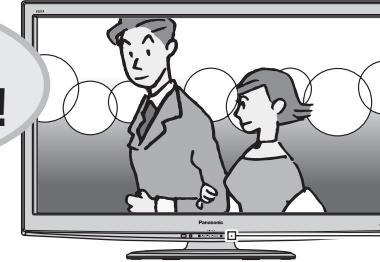
ハードディスクがテレビ本体内蔵されているので、DVDレコーダーなどの録画機器がなくても、番組の録画予約や録画、再生ができます。また、録画した番組はブルーレイディスクやレコーダー(ディーガ)にダビングしたり、SDメモリーカードに保存(ワンセグ持ち出し)したりすることができます。

- 本機は、番組の視聴中に別のチャンネルの番組を録画できます。
- 本機はデジタル放送を2番組同時に録画できます。(?^{ガイド}258)
・2番組を同時に録画中は、チャンネルを変更できません。

見ている番組を録画 (?⁵²ページ、?^{ガイド}635)

視聴中に  を押す(途中で録画を停止するには  を押す)

リモコン1つで
手早く録画!



録画を開始
します。

録画中はHDDランプが
赤色に点灯します。

-  で録画する場合、「録画モード」は「標準」になります。(録画モードについて?³⁵ページ)
- 「録画・視聴設定」の「録画ボタン設定」(?^{ガイド}385)で設定した時間に自動的に停止します。(出荷時の設定:3時間録画)
- 地上アナログ放送は録画できません。
- 外部入力の録画について(?⁵²ページ)

番組表で録画予約 (?⁶⁴ページ、?^{ガイド}631)

①  を押す

②  を押して放送を選ぶ

③ 番組表から録画予約したい番組を選び、 を押す

● 電源を切る場合は、リモコンの電源ボタンで操作してください。

● 地上アナログ放送の録画予約はできません。

番組表から
らくらく操作!



予約完了

予約中はHDDランプが
橙色に点灯します。

■予約番組の確認

①  を押す

② 「予約一覧」を選び、「決定」を押す

● 予約一覧が表示されます。

- 予約一覧から予約番組の削除や設定内容の変更ができます。(?^{ガイド}270)
- 実行中の予約録画を途中で停止するには  を押します。

録画番組の再生や管理 (?⁵⁴ページ)

録画一覧から録画番組の再生や消去、プロテクト設定の操作ができます。

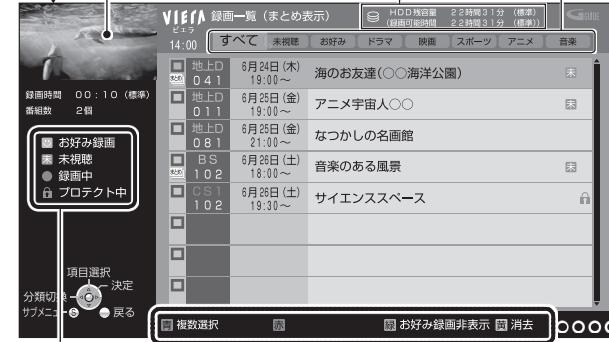
- ダビングについては(?^{20, 32, 69}ページ)

 を押すと、録画一覧を表示

選択中の番組画面

HDD残容量(録画可能時間)※

分類(◀▶ボタンで切り換える)



アイコンの説明

■録画番組の再生 (?^{ガイド}607)

再生したい番組を選び、「決定」または  を押す

■録画番組の消去 (?^{ガイド}641)

内蔵ハードディスクの残容量が不足したときに不要な番組を選んで消去します。

消去したい録画番組を選び、 を押す

■録画番組のプロテクト (?^{ガイド}642)

上書きなどの誤消去を防ぐために、録画番組にプロテクト設定できます。

プロテクト設定中の番組は消去できません。

① プロテクト設定したい録画番組を選ぶ

サブ
メニュー

②  を押し、「プロテクト設定変更」を選び、「決定」を押す

※HDD残容量(録画可能時間)は目安です。放送(転送レート)によって異なります。

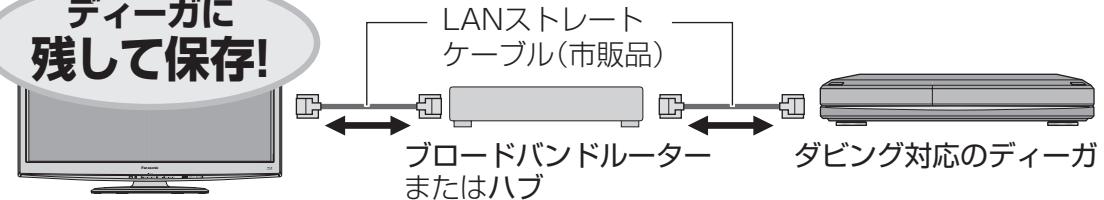
残量表示と実際のHDD残容量(録画可能時間)が異なる場合があるので、残量に余裕がある状態で録画してください。また、「長時間1」、「長時間2」モードの場合、番組の内容によっては使用容量が大きくなることがあります。

こんなことが できます 内蔵ハードディスクを使う(つづき)

録画番組のディーガへのダビング (ガイド645)

内蔵ハードディスクに録画した番組をハブやルーターを経由して、ダビング対応のディーガにダビングできます。

ディーガに
残して保存!



- ディーガ側で設定・登録が必要です。詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。
- まず、「かんたんネットワーク設定」の「お部屋ジャンプリンク設定」をしてください。(☞42ページ)
- 無線LANで接続するには(☞80ページ) ●コピー制限について(ガイド656)

■ダビングするには



- ① **REC** を押す
- ②「ダビング」を選び、「決定」を押す
- ③「録画番組をダビング」を選び、「決定」を押す
- ④「ディーガにダビング」を選び、「決定」を押す
- ⑤内容を確認したあと、「ダビング開始」を選び、「決定」を押す

■ダビングを中止するとき

本機でテレビ放送視聴中に を押す

ダビング対応のディーガについて(2010年5月現在)

DMR-BWT3000	DMR-BWT2000	DMR-BWT1000
DMR-BW880	DMR-BW780	DMR-BW680
DMR-BW970	DMR-BW870	DMR-BW770

ワンセグ持ち出し(ワンセグ同時録画設定) (ガイド349)

地上デジタル放送の番組を録画するとき、ワンセグ放送の番組も同時に録画するように設定できます。録画したワンセグ放送の番組は、SDメモリーカードにダビングしてワンセグ対応携帯電話などで視聴できます。

外出先でも
視聴できる!



- SDメモリーカードについて(☞21ページ)
- 録画したワンセグ放送の番組をSDメモリーカードへダビングするには(☞68ページ)

エスティー

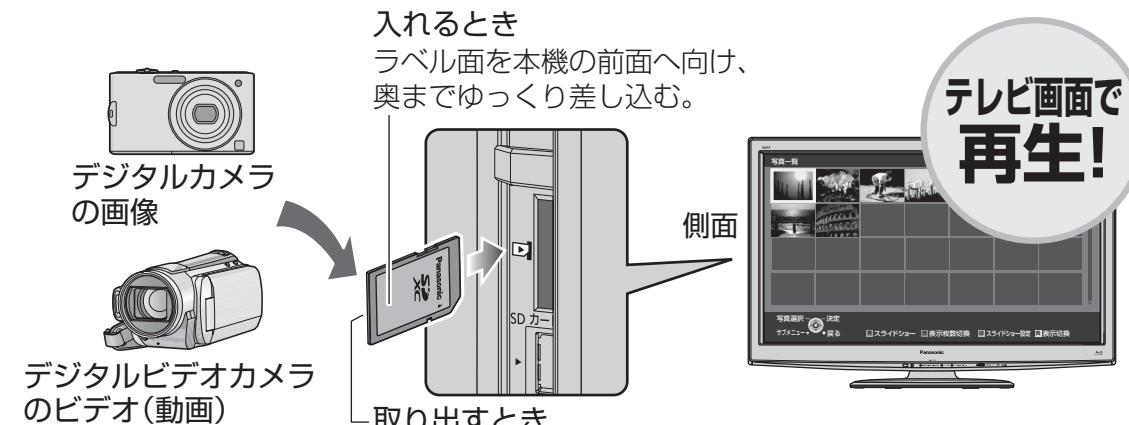
SDメモリーカード/音声ガイド

電子説明書の使いかた
(☞6ページ)

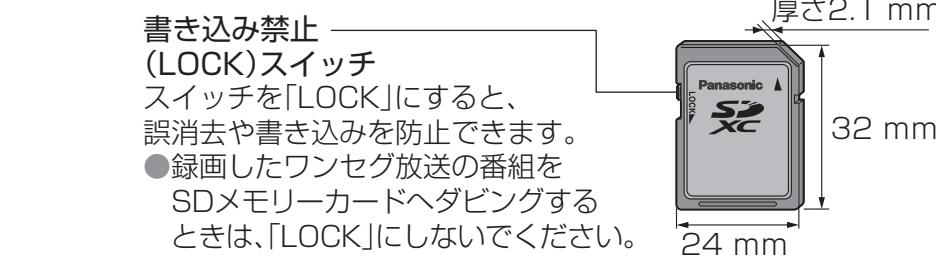
SDメモリーカード

デジタルカメラで撮影した写真(画像)や、デジタルビデオカメラで撮影したビデオ(動画)を、テレビ画面で見ることができます。(ガイド100)

- FAT16またはFAT32フォーマットされたSDメモリーカード、SDHCメモリーカード、exFATフォーマットされたSDXCメモリーカードが使用できます。



- miniSDメモリーカードやmicroSDメモリーカードは、アダプターごと出し入れしてください。
- 再生中は本機の電源を切ったり、SDメモリーカードを取り出したりしないでください。SDメモリーカード内のデータが破損したり、正常に動作しなくなる場合があります。
- 規格外のSDメモリーカードやSDメモリーカード以外のものを挿入しないでください。故障の原因になります。



音声ガイド

番組表の内容や録画一覧、選局時、「入力切換」ボタンを押したときの切り替え先、エラーメッセージなどを読み上げます。

- 音声ガイドをもう一度お聞きになりたい場合は、リモコンの「画面表示」ボタンを押してください。
- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。また、2画面時には音声ガイドの読み上げを行いません。音声ガイドの設定画面を表示するには、お知らせ音がするまで を押し続ける。
- 詳しくは(ガイド411)

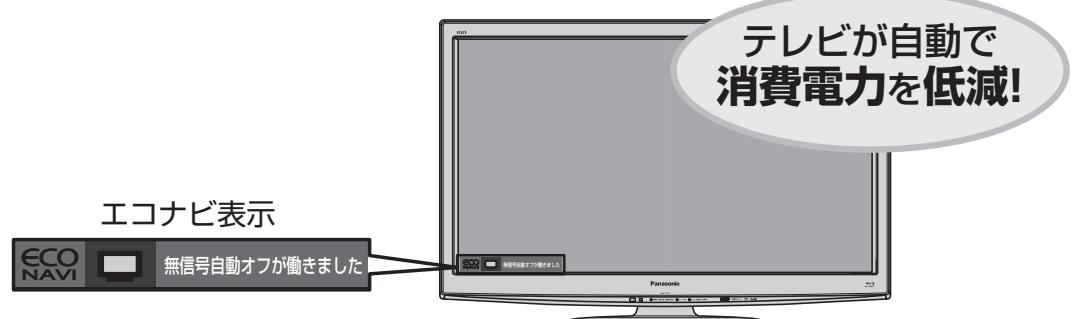
番組内容などを
音声で案内!



こんなことが できます エコナビ／くらし機器

エコナビ (ガイド303)

視聴環境や使用環境に応じて、本機が自動的に本機および周辺機器を制御して、消費電力を低減します。



■エコナビ設定時の省エネ効果について

- エコナビ「オン」時は、エコナビ「オフ」時に対して、約5%消費電力を削減します。
(視聴環境により、効果は異なります。)
- <測定条件>
- 映像メニュー：スタンダード（標準）
- 照度：250ルクス
- カラーバー信号受像
- 本機の電源を入れて1時間30分安定させたとの消費電力で比較

くらし機器 (82、95ページ)



くらし機器とは…

- 本機とLANケーブルで接続し、本機の画面で画像の確認ができる機能を持った機器です。
- 本機にくらし機器を接続、登録すると…
 - 外の様子が気になったときに「ビエラリンク」メニューでくらし機器の映像を見たり、操作するなどできます。
 - ドアホン来客時やセンサーダイヤル検知時に、本機の画面に表示できます。

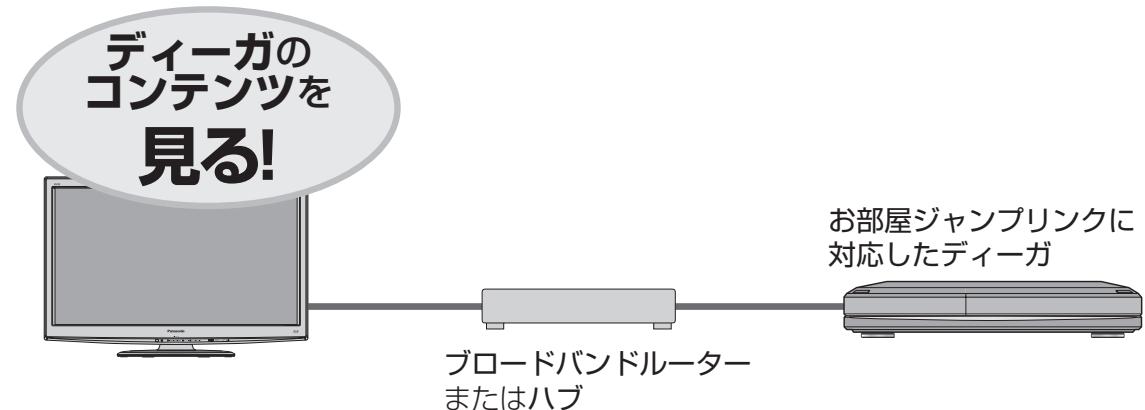
お部屋ジャンプリンク／無線LAN

電子説明書の使いかた
(6ページ)

お部屋ジャンプリンク (83、94ページ)

本機とお部屋ジャンプリンクに対応したディーガをLANケーブルで接続、設定（登録）すると、ディーガのハードディスクに保存した映像や写真を本機で再生できます。

また、ディーガへの録画予約を本機からできます。（ガイド251）



- お部屋ジャンプリンクは、DLNAの技術を使用しています。

■接続について

- 接続のしかた（接続ガイド10）
- 無線LAN（下記）で接続すると、LANケーブルでの接続が不要になります。
- お部屋ジャンプリンクに対応したディーガを本機に6台まで登録できます。
- 複数のお部屋ジャンプリンクに対応したディーガを接続するときには、ハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。

無線LAN (80ページ)

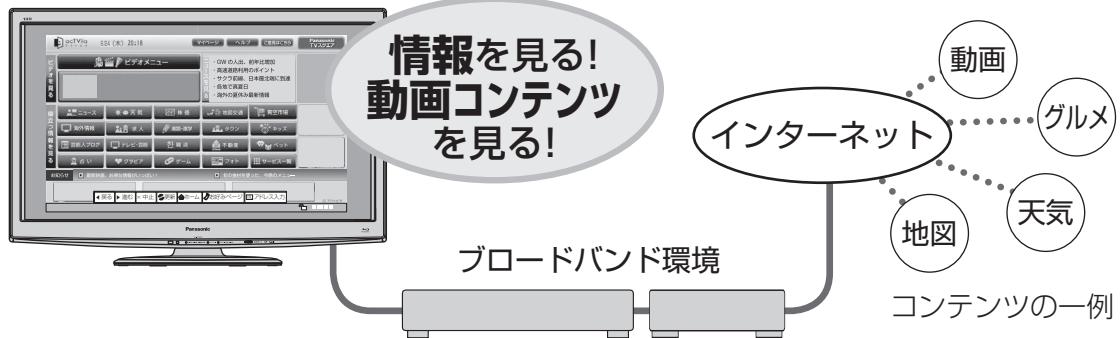
本機に無線LANアダプター（別売品）を接続すると、無線LANでネットワークに接続することができます。（別途アクセスポイントが必要です。）



- 接続のしかた（接続ガイド10）
- 無線LANを通じて、お部屋ジャンプリンク（上記）や「テレビでネット」（24、25ページ）などを使うことができます。
- 接続後は、画面に従って設定を行ってください。

こんなことが できます テレビでネット(アクトビラ)

acTVila(アクトビラ) (☞84ページ)



- インターネットを利用して情報や動画コンテンツを見るサービスです。
- アクトビラでは、テレビ向けのコンテンツ(情報やデータ)を見ることができます。

■アクトビラの画面を表示するには

- ①「らくらくアイコン」ボタンを押す。
 - ②「テレビでネット」アイコンを選んで「決定」ボタンを押す。
 - ③「アクトビラ」アイコンを選んで「決定」ボタンを押す。
- 専用のホームページ(ポータルサイト)につながります。

※ を押しても呼び出せます。

- ・ブロードバンド環境が必要です。
 - ・本機は「アクトビラ ビデオ・フル」に対応しています。
 - ・システム障害などによりコンテンツを表示できない場合があります。
 - ・最新情報は、<http://panasonic.jp/support/actvila/> を参照してください。
- マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。

利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。(2010年5月現在)

(YouTube)

YouTube(ユーチューブ)

- YouTube社が運営・管理している動画共有サービスです。
- 本機でYouTubeにアップロードされている動画を表示することができます。

■YouTubeの操作画面を表示するには

- ①「らくらくアイコン」ボタンを押す。
 - ②「テレビでネット」アイコンを選んで「決定」ボタンを押す。
 - ③「YouTube」アイコンを選んで「決定」ボタンを押す。
- ※本機には動画をYouTubeに投稿する機能はありません。
動画の投稿にはパソコンなどをご使用ください。

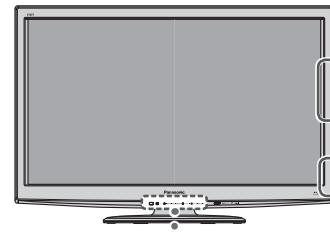
- ・YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の登録商標です。
- ・YouTubeのコンテンツは、YouTube, LLCにより独自に運営されています。
- ・本機では、パソコンで閲覧できるYouTubeのコンテンツで閲覧できないものがあります。
- ・YouTubeのコンテンツには、お客様が不適切であると感じるような情報が含まれることがあります。
- ・当社は、YouTubeが提供するコンテンツに関して一切の責任を負いません。
- ・コンテンツ内容の不明点はYouTubeホームページよりお問い合わせください。
http://www.youtube.com/t/contact_us

利用できるサービス内容や画面は予告なく変更となる場合があります。(2010年5月現在)

- 別売のビエラ コミュニケーション カメラ(品番: TY-CC10W)を本機に接続すると、インターネット経由のビデオ通話や音声通話を利用できます。詳しくは、ビエラ コミュニケーション カメラの取扱説明書をよくお読みください。

各部のはたらき (本体)

前面



本体の電源ボタン・ディスク
挿入口は右側面にあります。
(説明は下記の「側面・背面」参照)

明るさセンサー
●「明るさオート」
(?ガイド303)に
対応して、映像を調節
するための受光部。

リモコン受信部
●正面…約7 m以内
●左右…各約30°
●上下…各約20°

お願い

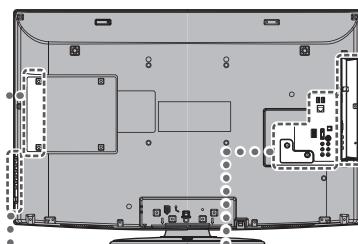
- 明るさセンサーの前にものなどを置かないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- リモコン受信部に、直射日光や蛍光灯などの強い光を当てないでください。

側面・背面

右側面部



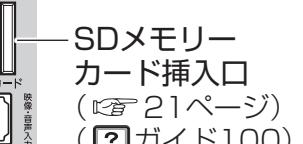
ディスク挿入口
(?ガイド16ページ)



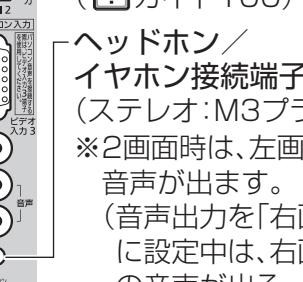
左側面端子部



B-CAS
カード挿入口
(?ガイド39ページ)



SDメモリー
カード挿入口
(?ガイド21ページ)
(?ガイド100)



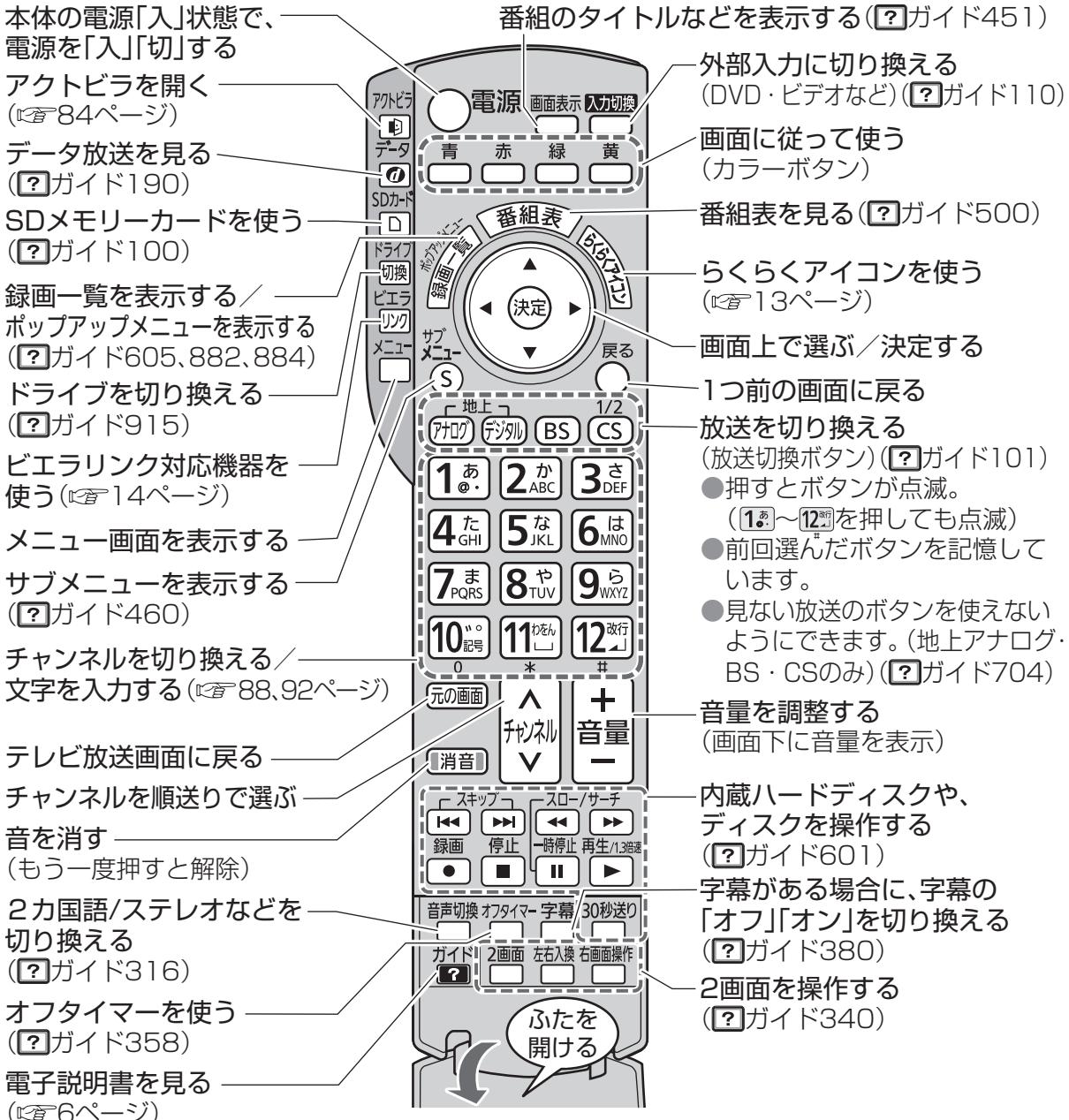
ヘッドホン/
イヤホン接続端子*
(ステレオ:M3プラグ)
※2画面時は、左画面の
音声が出ます。
(音声出力を「右画面」
に設定中は、右画面
の音声が出る
(♪マークを表示))

- ディスク取り出しボタン
- チャンネルを順送りで選ぶ
- 音量を調整する
- 放送を切り換える/
外部入力にする
- 電源「入」「切」ボタン
●「入」でリモコン操作が可能。

説明イラストは、
TH-L37R2Bを元に
作成しています。

(リモコン)

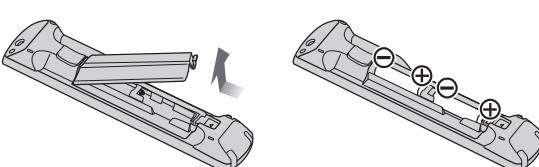
電子説明書の使いかた
(?ガイド6ページ)



各部のはたらき(本体/リモコン)

リモコンに乾電池を入れる

- ①ふたを開ける。
- ②単3形乾電池
(付属品)を \ominus 側から
入れ、ふたを閉める。



お願い

- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを落とさないでください。
- 本機のリモコン受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

本機で楽しめる放送

地上デジタル放送について

UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。現在の放送内容は、地上アナログ放送と同じ放送や、それをハイビジョン化したものが中心です。(2010年5月現在)
※地上デジタル放送のワンセグ放送は「ワンセグ持ち出し」(☞68ページ)にのみ対応しており、本機では視聴できません。

- 受信するためには、地上デジタルの送出局に向けてアンテナを設置する必要があります。(地上アナログ放送と方向が違う場合があります。)
- 地上デジタル専用のUHFアンテナやブースター、混合器などが必要になる場合があります。(従来の地上アナログ放送用UHFアンテナでは、視聴地域の特定チャンネルに対応していることがあります、受信できない場合があります。)
- 受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できないことがあります。
- 放送の開始時は地上アナログ放送との混信を避けるために、小さい出力で放送されるため、受信できるエリアが限定されます。
- 放送出力が増大された場合に、受信設備(ブースターなど)の再調整、変更が必要になる場合があります。
- 地上デジタル放送がケーブルテレビで配信されている場合があります(CATVバススルー方式)。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

お問い合わせ先(地デジ放送について)

- 総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター(地デジコールセンター)
電話番号:0570-07-0101(IP電話等でつながらない場合は、03-4334-1111)
受付時間:平日…9:00~21:00、土日・祝日…9:00~18:00
- 社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp>

■地上デジタル放送を見るためには

- 付属品を確認する (☞裏表紙)
- リモコンの準備をする (☞27ページ)
- アンテナ線を接続する (☞40ページ)
- B-CASカードを挿入する (☞39ページ)
- 初期設定を行う
(かんたん設置設定) (☞42ページ)
- 見る 見ることができないときは? (☞99ページ)

ケーブルテレビ(CATV)を受信する場合

- ケーブルテレビの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。
- さらにスクリンブル放送(有料)はアダプター(ホームターミナル)が必要です。
- 詳しくはケーブルテレビ会社にご相談ください。
- ケーブルテレビで地上デジタル放送が配信されている場合があります(CATVバススルー方式)。その場合、「かんたん設置設定」で「受信帯域選択」を「全帯域」に設定してください。

衛星(BS・110度CS)放送について

■BSデジタル放送

放送衛星(Broadcasting Satellite)を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。
BS日テレ、BS朝日、BS-TBS、BSジャパン、BSフジなどは無料放送を行っています。
WOWOW(ワウワウ)やスター・チャンネルなどの有料放送は加入申し込みと契約が必要です。
※本機では、BSアナログ放送は受信できません。

■110度CSデジタル放送

通信衛星(Communications Satellite)を使って行う放送で、ニュースや映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの放送は有料です。
110度CSデジタル放送の放送事業者「スカパー! e2」への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー! e2」にはCS1とCS2の2つの放送サービスがあります。

- 衛星アンテナには電源供給が必要です。共同受信時や個別受信により、電源の供給設定が異なります。本機での電源設定は49ページを参照ください。なお、個別受信で複数のテレビやチューナーをお使いの場合、分配器は、全端子電流通過型をご使用ください。
- 既設のBSアンテナでも一部受信できる場合がありますが、環境・条件により受信が不安定になることがありますので、BS・110度CSデジタル放送対応のアンテナおよび受信設備をお使いください。
- 本機に110度CSデジタル放送に対応していないレコーダーなどを接続する場合は、接続機器を経由せず直接本機の衛星アンテナ端子へ接続してください。レコーダーなどの接続機器との分配が必要な場合は、110度CSデジタル放送対応の分配器をお使いください。

お問い合わせ先

- 「WOWOW」 公式ホームページ: <http://www.wowow.co.jp/>
カスタマーセンター: 0120-580807 受付時間 9:00~20:00(年中無休)
- 「スター・チャンネル」 公式ホームページ: <http://www.star-ch.jp/>
カスタマーセンター: 0570-013-111 (ナビダイヤル)
(PHS・IP電話のかたは 045-339-0399) 受付時間 10:00~18:00
●スター・チャンネル ハイビジョンの加入申し込みは、下記のスカパー! e2
カスタマーセンターへお問い合わせください。
- 「スカパー! e2」 公式ホームページ: <http://www.e2sptv.jp/>
カスタマーセンター: 0570-08-1212(ナビダイヤル)
(PHS・IP電話のかたは 045-276-7777) 受付時間 10:00~20:00(年中無休)

本機では、電話回線を利用した新規加入の申し込みはできません。
ご利用の放送局やサービス会社にお問い合わせください。

地上アナログ放送について

- 従来からのVHF・UHF放送のことです。
- 地上アナログテレビ放送は、2011年7月24日までに終了することが国の法令によって定められています。

ディスクについて

本機では、内蔵ハードディスク(HDD)からブルーレイディスク(BD)へのダビング(記録)と、ブルーレイディスクやDVDディスクの再生ができます。

ディスク	できること	ディスクへのダビング	再生	ディスクへの直接録画
ブルーレイディスク		○	○	×
DVDディスク		×	○	×

●使用可能なディスク (☞ 115ページ)

●ディスクに関する注意事項 (☞ 106ページ)

ダビングや再生ができるディスク

本機でダビングに使用できるディスクは、ブルーレイディスクのBD-RE(くり返し録画用)とBD-R(1回録画用)の2種類です。

ご購入の際は、パッケージに記載されている内容(容量、ロゴなど)をご確認ください。



※1 DLも含みます。

ブルーレイディスクの「DL」とは片面2層(50 GB)のディスクのことを表します。

※2 LTH typeも含みます。

お知らせ

- LTH type のBD-R にダビングした場合、LTH type に対応していないBDプレーヤーで再生できないことがあります。
- 本機では、カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)へのダビングや再生はできません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
Blu-ray Disc Rewritable Format Version 2.1に準拠したBD-REをお使いください。
- 8 cm ブルーレイディスクへはダビングできません。
- SDメモリーカードの写真(画像)をBD-Rにはダビングできません。(☞ 70ページ)

再生のみできるディスク

●BDビデオ(市販ソフト)

- 本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。
- リージョンコードは国により違います。

「A」または「A」を含むもの
例)



●DVDビデオ(市販ソフト)

- 本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。
- リージョン番号は国により違います。

「2」または「2」を含むもの、
「ALL」が表示されたもの
例)



●音楽CD(市販ソフトなど)

●他の機器で記録されたDVDのディスク*

●他の機器で記録されたビデオ映像(AVCHD)のディスク*

●DVD-RAM

※記録した機器でファイナライズされたディスクのみ再生できます。

お知らせ

●記録状態によっては再生できない場合があります。

- CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。

■使用できないディスク(例)

●DVD

- カートリッジから取り出せないDVD-RAM(TYPE1)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 他の機器で記録し、ファイナライズされていないDVDのディスク
- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- DVD-ROM • HD-DVD • DVDオーディオ

●BD

- BD-RE(Ver.1.0)(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
- リージョンコード「A」を含まないBDビデオ

●その他

- CD-ROM • CDV • CD-G • Photo-CD • SVCD • ビデオCD • SACD
- MV-Disc • PD など

お知らせ

- ディスクによっては、ダビング・再生できないことがあります。ディスクや機器の互換性などの情報は、以下のホームページでご確認になれます。(2010年5月現在)
<http://panasonic.jp/support/tv/> を開く。「動作確認情報一覧」→『VIERA「液晶テレビ」』→『TH-〇〇〇』の接続検証』から「対応ディスク一覧表」を選ぶ。

ダビングについて

ブルーレイディスクに、本機(内蔵ハードディスク)から番組をダビングするとき(?)ガイド898)

ブルーレイディスクを準備する
30ページ

ブルーレイディスクを入れる
16ページ

ダビングする
69ページ

ブルーレイディスクに、SDメモリーカードから写真やビデオ映像(AVCHD)をダビングするとき(写真:?)ガイド901、ビデオ:?)ガイド903)

ブルーレイディスクを準備する
30ページ

SDメモリーカードを入れる
21ページ

ブルーレイディスクを入れる
16ページ

ダビングする
70、71ページ

- 使用可能なディスク (?) 115ページ)

- 信号面に指紋や汚れが付着していないことを確認し、挿入してください。

- 記録可能なブルーレイディスクを挿入した場合は、メニューが表示されます。「ダビングする」を選び、「決定」を押してください。

- 使用可能なディスク (?) 115ページ)

- ラベル面を本機の前面へ向け、奥までゆっくり差し込んでください。

- 信号面に指紋や汚れが付着していないことを確認し、挿入してください。

- 記録可能なブルーレイディスクを挿入した場合は、メニューが表示されます。「ダビングする」を選び、「決定」を押してください。

ダビングモードについて(?)ガイド930)

ディスクの容量が足りない場合はダビングモードを変更し、録画容量の調整を行ってください。

- ダビングモード「高速」でブルーレイディスクにダビングすると、ダビングする番組の記録時間よりも短い時間で、ダビングできます。
- ダビングモード「HE」「HM」でダビングすると、番組の記録時間と同じ時間がかかります。
- ダビング時に元の録画の画質より高画質なダビングモードを選んでも、画質は向上しません。(例:録画モード「長時間2」の番組をダビングモード「HE」でダビングした場合)

ダビングしたディスクを他の機器で再生したいとき

- BD-RE(Ver. 2.1)、BD-Rに対応した機器でそれぞれ再生できます。
- 録画モード「標準」以外のハイビジョン画質で録画した番組や、ビデオ映像(AVCHD)は他の機器で再生できない場合があります。

お知らせ

- ダビング中、画面表示を押すと、ダビングの進捗状態が確認できます。
- ダビングの履歴が見たいときは(?)ガイド169)
- 本機で記録する場合、ディスクに管理情報などが書き込まれるので、新品のディスクでも残容量が減少して表示されます。

ダビングについて(つづき)

ダビング回数の制限について

- デジタル放送のほとんどの番組はコピー制限があり、ダビングできる回数が制限されています。
- ダビングできる回数は、画面上で確認できます。

番組内容画面(内蔵ハードディスク)



数字はダビングできる残り回数です。
ダビング可能な回数をダビングすると、
本機(内蔵ハードディスク)から消去されます。

- ディスクに録画された番組を本機(内蔵ハードディスク)にダビングすることはできません。
- コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp>

録画モードについて

電子説明書の使いかた
(6ページ)

録画モードの種類

録画予約(64ページ)の際に設定してください。

録画モード		特長	
ハイビジョン画質	標準*	高画質	放送そのままのハイビジョン画質で記録します。
	長時間1*		
	長時間2*	長時間	放送データを圧縮してハイビジョン画質で長時間記録します。 (MPEG4 AVC(H.264)エンコードで圧縮されます。)
外部入力	ビデオ*	外部入力(ビデオ入力1~3)を録画する場合の録画モードです。 他の録画モードは設定できません。(ハイビジョン画質ではありません。)	

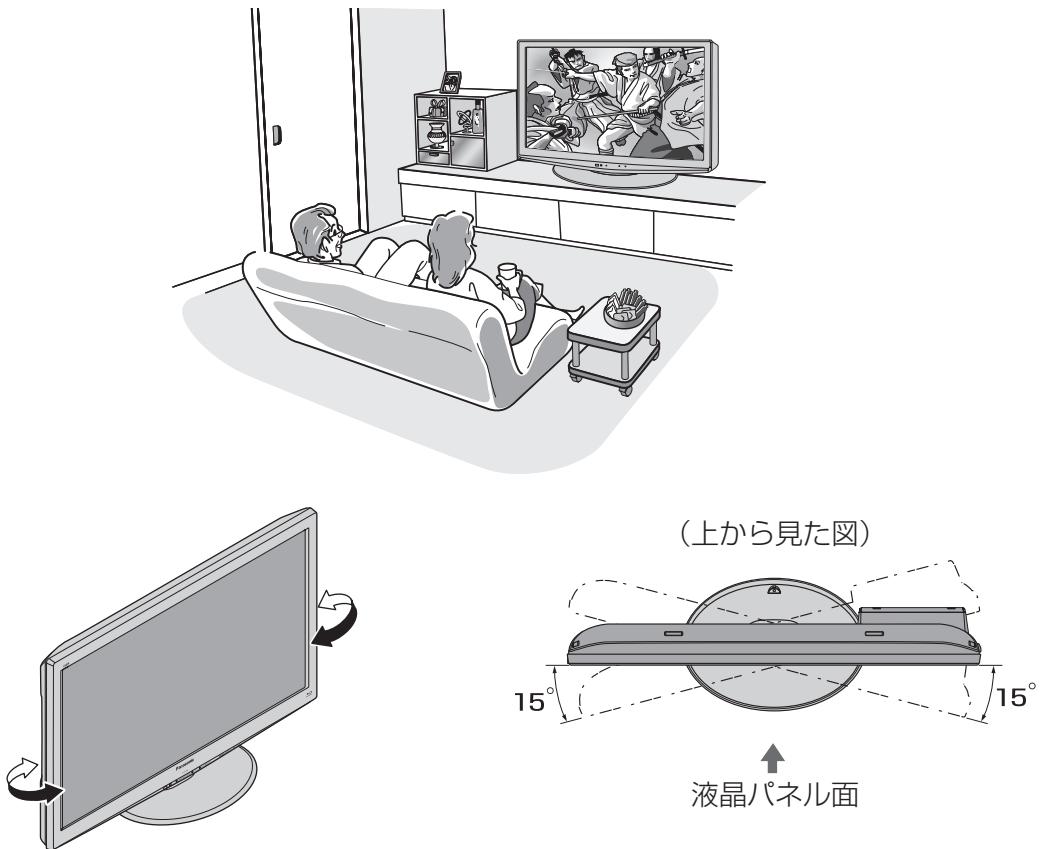
* ブルーレイディスクの録画一覧では「標準」は「DR」、「長時間1」は「HE」、「長時間2」は「HM」、「ビデオ」は「XP」と表示されます。

- スポーツや音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を「長時間1」や「長時間2」の録画モードで録画すると、ブロック状のノイズが目立つことがあります。
この場合、高画質の録画モード「標準」をお使いになることをおすすめします。
- マルチ音声番組を録画モード「標準」で録画した場合は、複数の音声をすべて記録し、複数の映像がある番組でもすべての映像を記録します。録画モード「長時間1」「長時間2」で録画した場合は、最大2つの音声と1つの映像を記録します。
 - 音声や映像信号を切り換える(?)ガイド316、317
 - 字幕のある番組は、再生時に「切」「入」ができます。(?)ガイド380

設置する(据え付け／設置オプション)

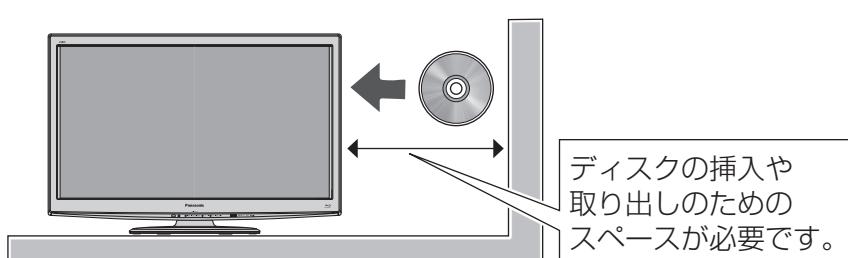
本機(スタンド付)の設置

ローボードや棚、ラックなどに設置したあとでも、左右に角度を変えられます。見やすい角度に合わせてお使いください。



お願い

- テレビ本体を左右いっぱいに回転しても、テレビ台などからはみ出さないように設置し、回転範囲内に手や物を置かないでください。
- スタンドをご使用の際は、回転時に電源コードや接続コードが断線しないように、余裕をもって配線してください。
- 回転して向きを調整するときは、本体の電源を「切」にして、電源ランプが消灯していることを確認してから行ってください。
- 本体の右側には、ディスクの挿入や取り出しのためのスペースが必要です。挿入や取り出し時に、ディスクが周辺にあたらないように設置してください。



設置オプションについて(別売品)

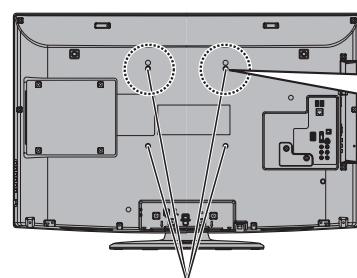
別売の壁掛け金具や壁寄せ専用スタンドを取り付けて設置することができます。本機を設置される際は、お求めの販売店にご相談ください。また、本機専用の壁掛け金具、壁寄せ専用スタンドを必ずご使用ください。

本機は必ず垂直に設置してください。ブルーレイディスクドライブは、傾くと正常に記録・再生ができなくなります。壁掛け金具は角度を0°(垂直)に設定してご使用ください。

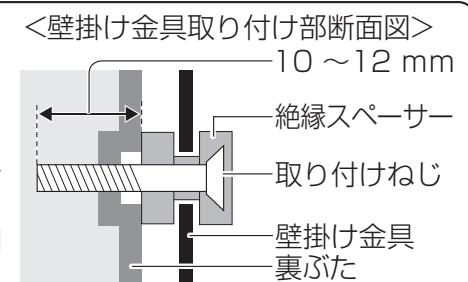
■壁掛け金具

品番 (2010年5月現在)

TY-WK3L2R (37V型、32V型共用です。)



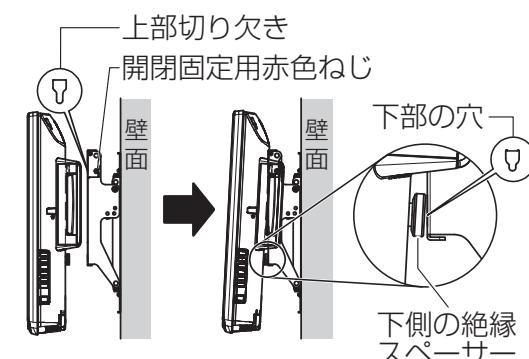
専用壁掛け金具に付属している取り付けねじは、壁掛け金具の取り付け面からの長さが右記のように設定されています。付属の取り付けねじ以外は使用しないでください。



●TH-L32R2Bの取り付けと固定について

左右の開閉固定用赤色ねじ(左右各1本)は、外さないで取り付けてください。

- ①テレビ本体上側の絶縁スペーサーを壁掛け金具本体上部の切り欠き部に引っかけ、そのままゆっくり下げます。
- ②テレビ本体を少し持ち上げながら、下側の絶縁スペーサーを壁掛け金具本体下部の穴に差し込み、テレビ本体をそのまま下げます。



■壁寄せ専用スタンド

品番 (2010年5月現在)

TY-WS3L3T (37V型、32V型共用です。)

お願い

- 壁掛け金具や壁寄せ専用スタンドの取り付け工事は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 壁寄せ専用スタンドの説明書をよくお読みのうえ、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 本機に専用壁掛け金具(別売品)や壁寄せ専用スタンド(別売品)を取り付ける際は、各別売品に付属している取り付けねじをご使用ください。(壁掛け金具を設置する場合は、すでに取り付けられている上側2つ(上記点線枠)のねじを先に外してからご使用ください。)
- 取り外した部品類は、もとに戻される場合に必要となりますので大切に保管してください。
- 一部のHDMIケーブル(RP-CDHG100[10 m])を使用時は、壁面にケーブル先端部が干渉し、本機の入力端子を傷めることができます。お買い上げの販売店にご相談ください。

設置する(転倒・落下防止/電源プラグ)

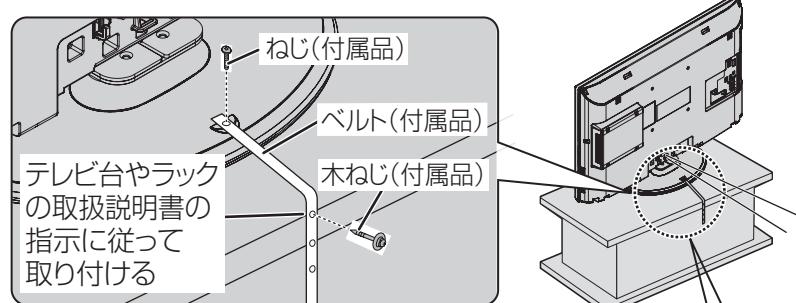
安全のため、必ず転倒・落下防止処置をしてください

地震の場合などに倒れる恐れがあります。必ず、転倒・落下防止処置をしてください。
※本欄の内容は、地震などでの転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するためのもので
あり、すべての地震などに対してその効果を保証するものではありません。

転倒・落下防止部品の取り付け方法は、下記をご覧ください。

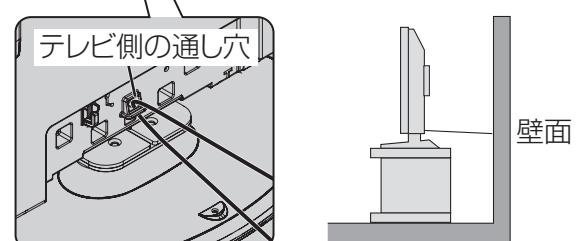
※テレビ台への固定と、壁面への固定の両方を行ってください。

■テレビ台への固定



■壁面への固定

テレビ側の通し穴に、丈夫なひもや
ワイヤー(市販品)などを通して固定する

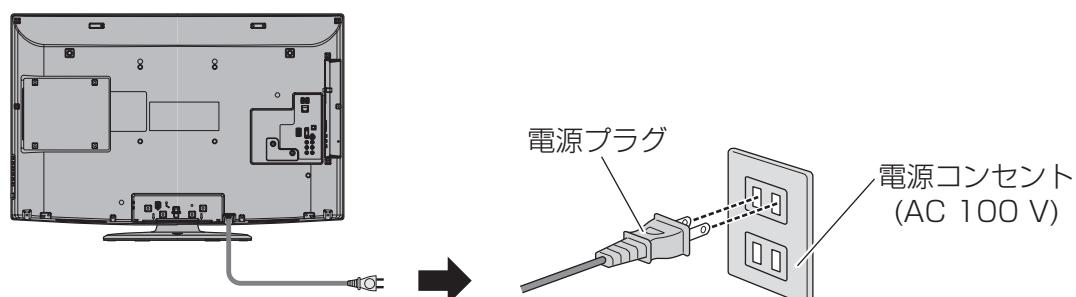


お願い

●ひもやワイヤーは、本機が回転できるように取り付けてください。

電源プラグについて

本機にアンテナや外部機器をすべて接続したあと、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。



ビーキャス B-CASカードの挿入

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

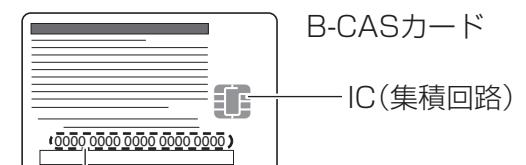
- カードおよび台紙に記載の文面をよくお読みのうえ必ず挿入してください。
- 挿入しないとデジタル放送が映りません。
- 「使用許諾約款」をよくお読みください。

BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、「1回だけ録画可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号を加えて放送されています。

コピー制御を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■B-CASカードについて

- 台紙に添付されています。
※台紙をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- デジタル放送の視聴や録画のために必要なカードです。



- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙のID番号記入欄にメモしておいてください。

■B-CASカード取り扱い上の留意点

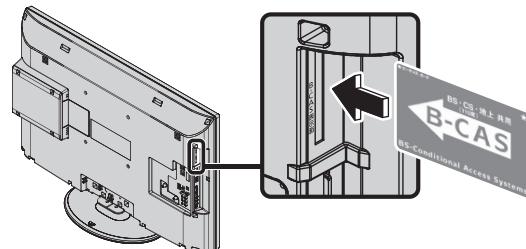
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

■B-CASカードについてのお問い合わせ (故障交換や紛失時など)

(株)ビーエス・コンディショナルアクセス
システムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

1 本体の電源ボタンで電源を切る(☞ 26ページ)

2 B-CASカードを挿入する



カードの矢印表示面を背面(画面と反対側)に向けて、矢印方向へ止まるまで押し込む

- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因になります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■B-CASカードのテストをする (☞ ガイド739)

- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

■B-CASカードを抜くとき

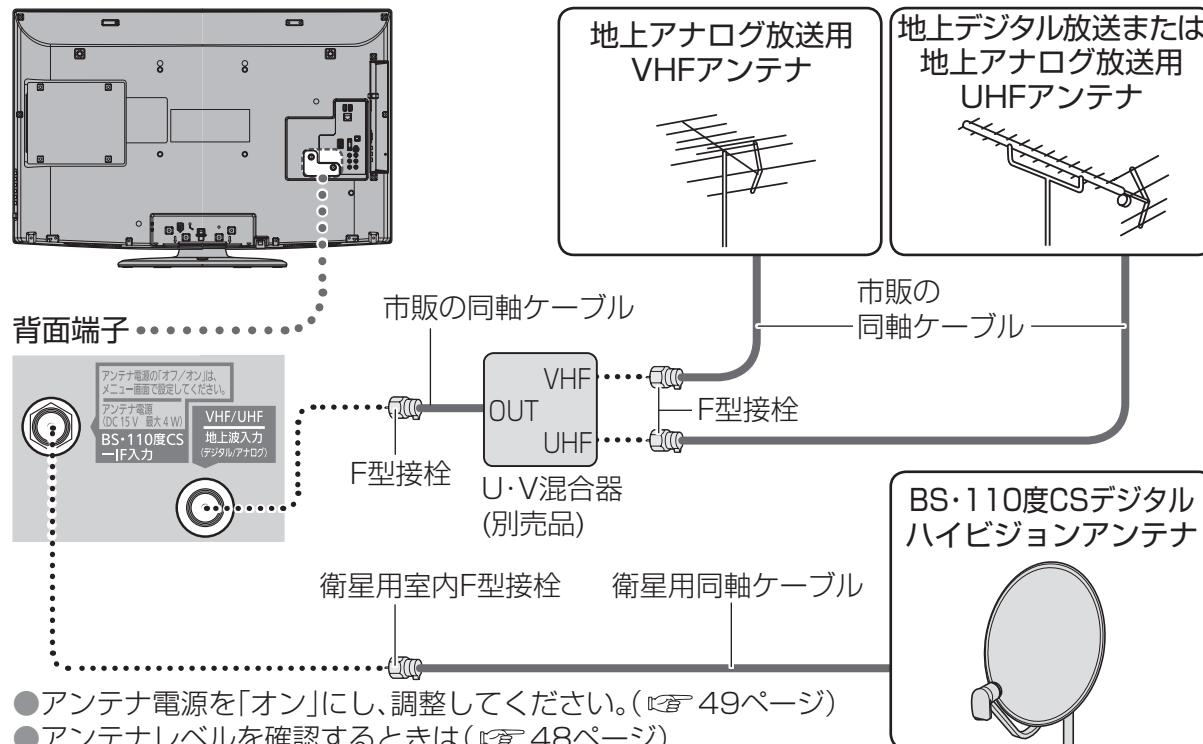
- (1)本体の電源ボタンで「切」にする。
(2)B-CASカードを抜く。

- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

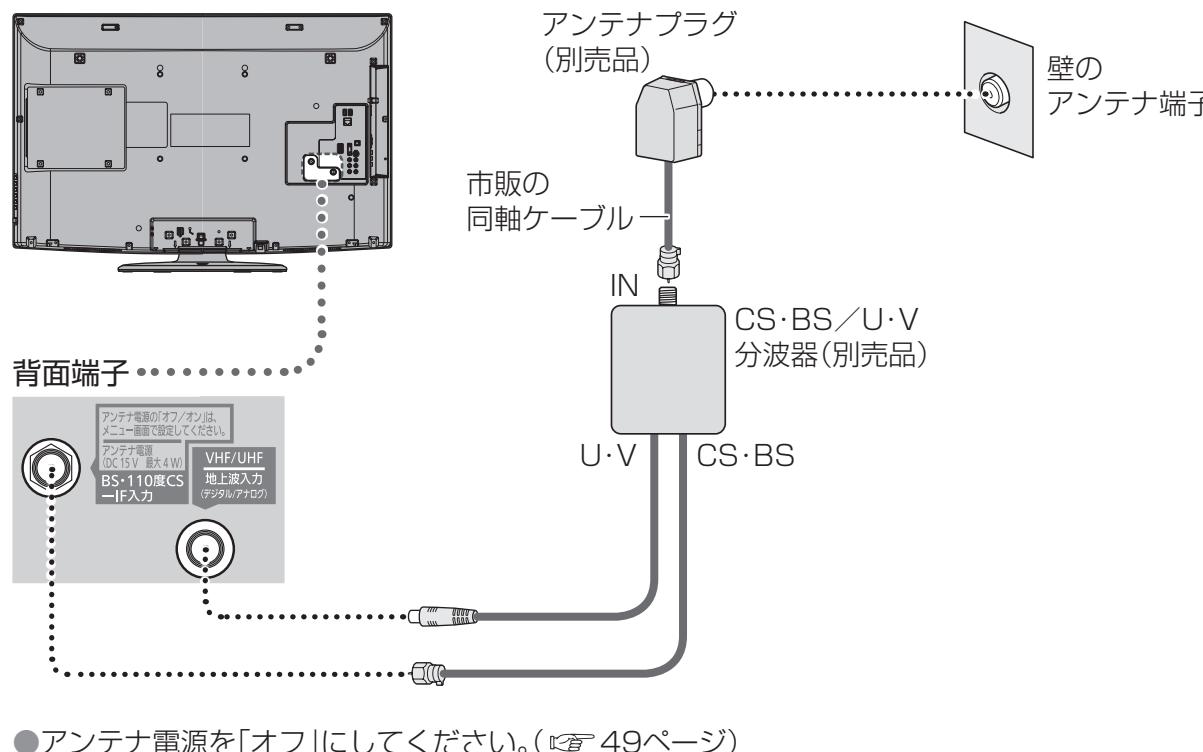
アンテナ線の接続

(接続完了後に電源プラグを差し込む。(☞ 38ページ))

ご自宅など、個別のアンテナで受信する場合

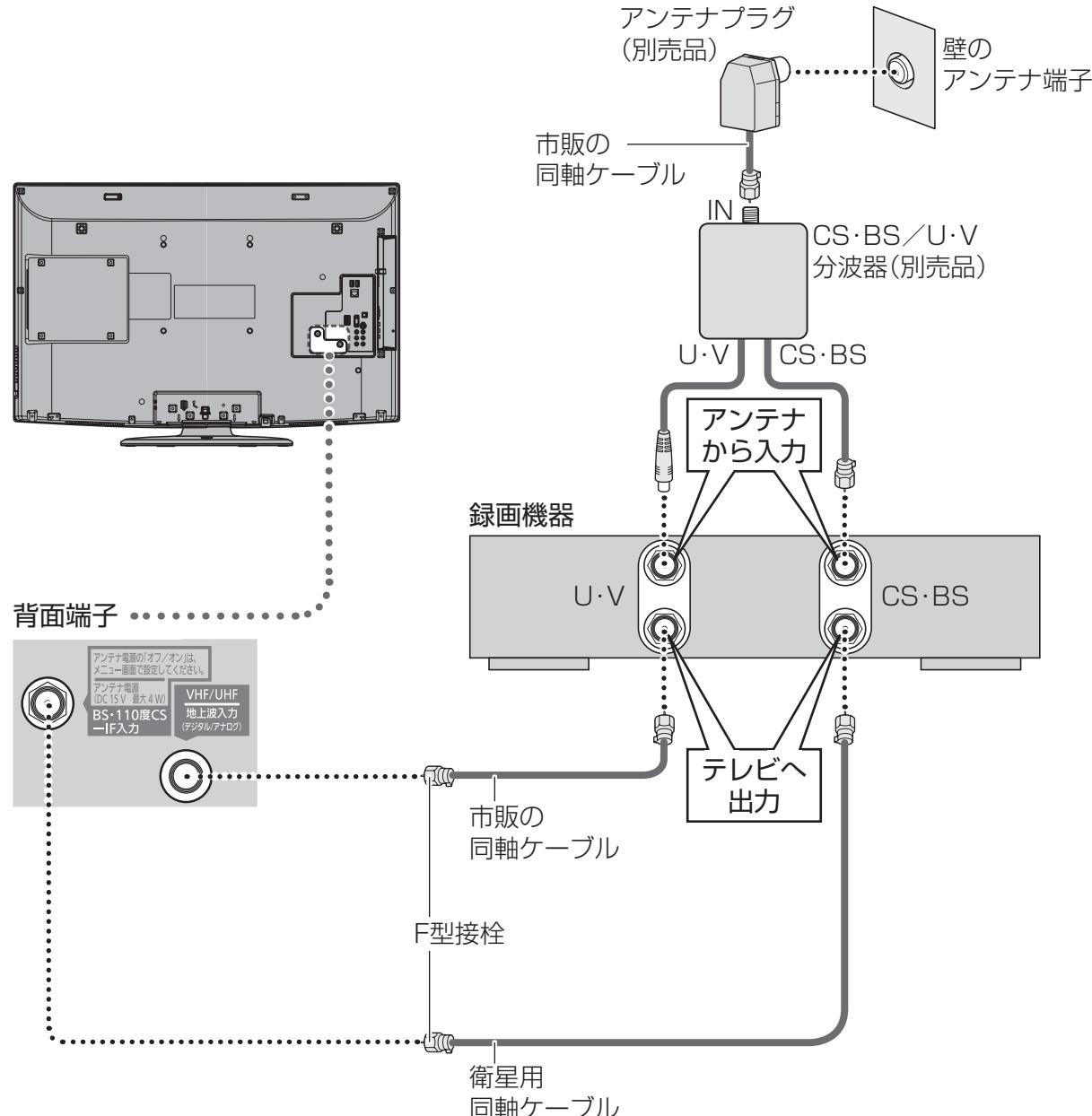


マンションなど、共同のアンテナで受信する場合



ディーガなどの録画機器を接続するときの一例

マンションなどの共同受信の場合に、地上デジタル、BS・CSチューナー内蔵の録画機器を接続するときの一例です。詳しくは接続機器の取扱説明書でご確認ください。



お知らせ

- 接続図は一般的な例であり、お客様によって新たにご準備いただくもの(ケーブル・分配器・分波器・アンテナプラグなど)は変わります。詳しくは販売店へご相談ください。
- 地上デジタル放送／地上アナログ放送の電波が強すぎて映像が不安定になる場合は、アッテネーターを「オン」にしてください。(☞ 48ページ)

設置設定を やり直す かんたん設置設定

電子説明書の使いかた
(6ページ)

こんなときに…

- 引っ越しなどで
テレビ放送の受信
地区が変わったとき、
受信状況が変わった
ときなどに必要な設
定をやり直します。



画面に従って順に設定する

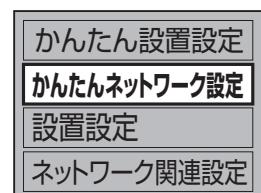
- 1 メニューを押す
- 2 「設定する」を選び、「決定」を押す
- 3 「初期設定」を選び、「決定」を押す
- 4 「かんたん設置設定」を選び、「決定」を3秒以上押す
- 5 画面の指示に従って操作する

■お買い上げ時の状態からやり直すとき

- ①「かんたん設置設定」の市外局番入力で「0000」と入力し、「決定」を押す。
- ②確認画面で◀▶を押して「はい」を選び、「決定」を押す。
- ③本体の電源ボタンで「切」にし、再度「入」にする。

ネットワークの設定をやり直すとき

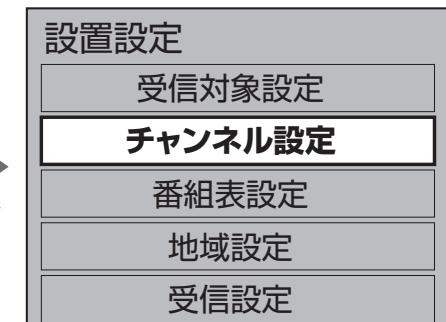
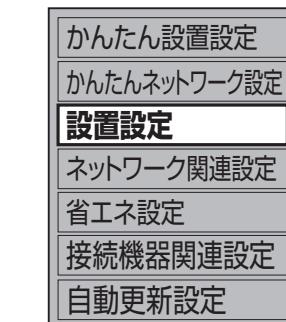
上記の手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。



個別にやり直すとき

■チャンネル修正

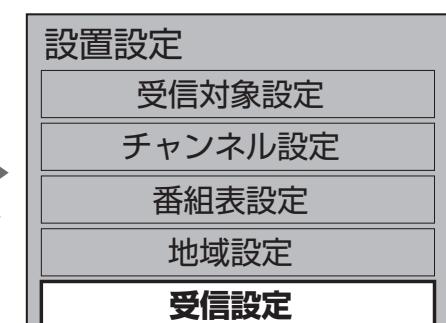
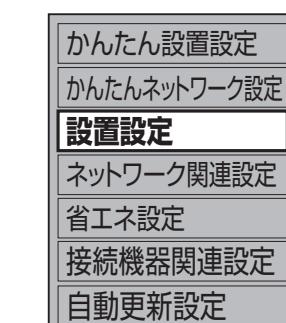
かんたん設置設定でうまくできなかったときや、リモコンの数字ボタンへの割り当てなどを、お好みで変えたいときに行います。衛星デジタル放送のチャンネルは工場出荷時に設定されていますが、お好みで変更できます。



- 地上アナログ放送のチャンネル修正 (44ページ)
- 地上デジタル放送のチャンネル修正* (46ページ)
- 衛星デジタル放送のチャンネル修正 (47ページ)

■受信設定 (個別アンテナ使用時)

アンテナの向きを調整しながら、放送局ごとにアンテナレベル(受信する電波の質)を確認できます。



- 地上デジタル放送/地上アナログ放送の受信設定 (48ページ)
- 衛星デジタル放送の受信設定 (49ページ)

■アッテネーター

地上デジタル放送/地上アナログ放送の場合、放送の電波が強すぎて映像が不安定になるときは、「オン」に設定し、電波を弱めて安定させます。(48ページ)

■上記以外の項目

電子説明書をご覧ください。(ガイド703)

※新しい放送局が開局したときなど、地上デジタル放送の受信状況が変化したときは、再スキャンを行ってください。(47ページ)

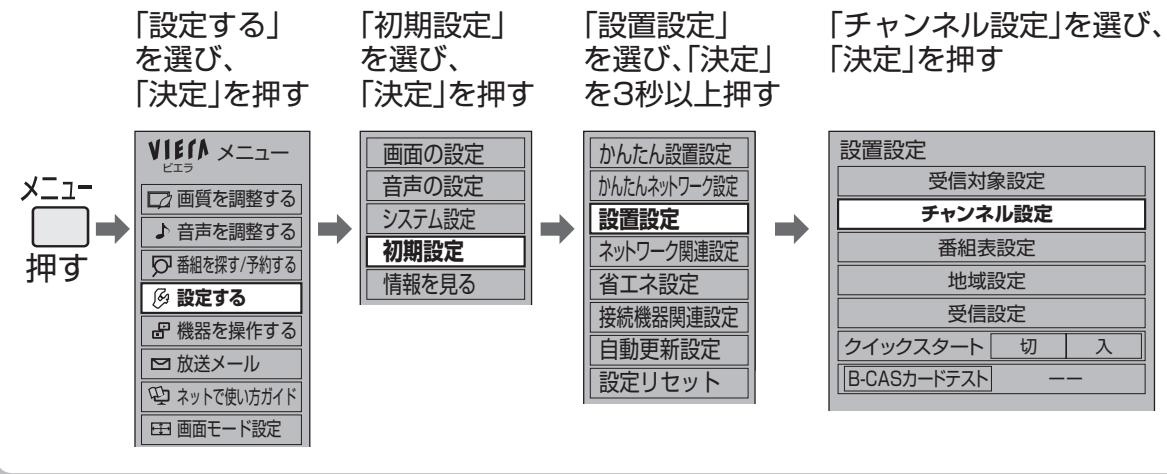
お知らせ

- 地上アナログ放送のチャンネル一覧表・放送局コード一覧表、地上デジタル放送のチャンネル一覧表・Gガイド地域一覧表は、以下のホームページでご覧になれます。(2010年5月現在)
<http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html> を開く。
- テレビお客様サポートの「取扱説明書一覧」→『ご利用の条件』に「▶同意する」→品番選択の「TH-〇〇〇」→取扱説明書の「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

設置設定を やり直す チャンネル修正

(地上アナログ放送)

まず、チャンネル設定画面を表示させる



地上アナログ放送のチャンネル設定(オート)

受信できる局を自動で探します。

- ①チャンネル設定画面から▲▼で
「地上アナログ」を選び、「決定」を押す



- ②◀▶で「オート」を選び、「決定」を押す

●自動的に設定し直します。
(数分程度、映像が乱れます)



- ③▲▼でチャンネルを選び、
内容を確認する



- ④放送局名を設定する(☞45ページ手順④、⑤)

- ⑤戻る を押して終了する

(終わったら [元の画面](#) を押す)

地上アナログ放送のチャンネル設定(マニュアル)

地上アナログ放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

- ①チャンネル設定画面から▲▼で
「地上アナログ」を選び、「決定」を押す



- ②◀▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す



- ③▲▼で修正したい行(リモコンの数字ボタン)
を選ぶ

■行ごと入れ換えるとき

- 1)手順②の操作後、「緑」ボタンを押す。
- 2)▲▼で入れ換える行を選び、「決定」を押す。
- 3)▲▼で入れ換え先の行を選び、「決定」を押す。
- 4)「戻る」を押す。

■映りが悪いとき(微調整)

- 1)手順②の操作後、▲▼で調整するチャンネルを選び、「メニュー」を3秒以上押す。
- 2)◀▶で見やすくなるように調整する。(10秒間操作しないと、元の画面に戻る)
- 3)「戻る」を押す。

- ④「決定」を押す

- ⑤▲▼で項目を選び、◀▶でそれぞれ修正する



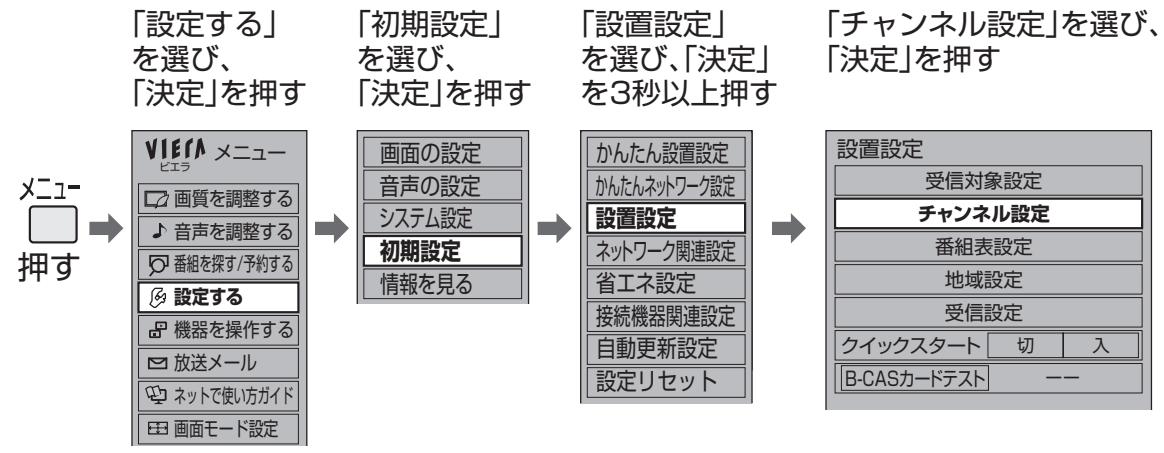
- ⑥戻る を押して終了する

●▲▼で放送局を選ぶ。
●「決定」を押して入力モードにし、放送局
コードを入力しても選ぶことができます。
(一覧表は以下のホームページでご覧になれます。
<http://panasonic.jp/support/tv/manual/index.html>)
(☞43ページ「お知らせ」)

(終わったら [元の画面](#) を押す)

設置設定を やり直す チャンネル修正

まず、チャンネル設定画面を表示させる



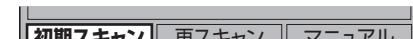
地上デジタル放送のチャンネル設定(初期スキャン)

受信地域が変わったときや新しく地上デジタル放送を見たいときに、改めて自動でチャンネル設定します。

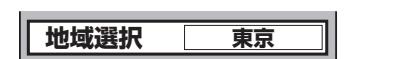
①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す



②◀▶で「初期スキャン」を選び、「決定」を押す



③◀▶でお住まいの地域を選び、「決定」を押す



④◀▶で「UHF」または「全帯域」を選び、「決定」を押す

●通常は「UHF」を選んでください。

●「全帯域」を選ぶと、VHF、UHF、C13～C63の帯域をスキャンします。

●今までの設定はすべてリセットされ、自動的に設定し直します。

●10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

⑤▲▼で内容を確認する

●修正するときは(☞47ページ「マニュアル」手順③、④)

●画面下部に「電波が強すぎます。」と表示された場合は、アッテネーターを「オン」に設定(☞48ページ)し、「再スキャン」(☞47ページ)を行ってご確認ください。

⑥○を押して終了する

(終わったら元の画面を押す)

(地上デジタル放送／衛星デジタル放送)

地上デジタル放送のチャンネル設定(再スキャン)

地上デジタル放送の受信状況が変わったときに、受信できる局を自動で追加します。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

②◀▶で「再スキャン」を選び、「決定」を押す

●新たに受信できた放送局は自動的に追加されます。

●10分程度かかり、映像が乱れることがあります。

③▲▼で内容を確認する

●修正するときは(☞下記「マニュアル」手順③、④)

④○を押して終了する



地上デジタルチャンネル設定／アンテナレベル確認 アッテネーター オフ			
リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ
3	---		
4	041	日本テレビ	テレビ

(終わったら元の画面を押す)

地上デジタル放送のチャンネル設定(マニュアル)

地上デジタル放送のチャンネルをお好みで設定し直すことができます。

①チャンネル設定画面から▲▼で「地上デジタル」を選び、「決定」を押す

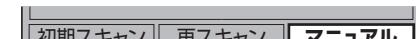
②◀▶で「マニュアル」を選び、「決定」を押す

③▲▼で修正したい行(リモコンの数字ボタン)を

選び、「決定」を押す

④◀▶で「CH」のチャンネル番号を変える

⑤○を押して終了する



地上デジタルチャンネル設定			
リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合	テレビ
2	021	NHK教育	テレビ

リモコン番号設定 1		
CH	011	チャンネル名
		NHK総合・東京

(終わったら元の画面を押す)

衛星デジタル放送のチャンネル設定

①チャンネル設定画面から▲▼で「BS」「CS1」「CS2」のいずれかを選び、「決定」を押す

②▲▼で修正したい行(リモコンの数字ボタン)を選び、「決定」を押す

③◀▶で「CH」のチャンネル番号を変える

④○を押して終了する

■行ごと入れ替えたいとき

1)手順①の操作後、「緑」ボタンを押す。

2)▲▼で入れ替えたい行を選び、「決定」を押す。

3)▲▼で入れ替え先の行を選び、「決定」を押す。

4)「戻る」を押す。

チャンネル設定			
地上アナログ	地上デジタル	BS	CS1

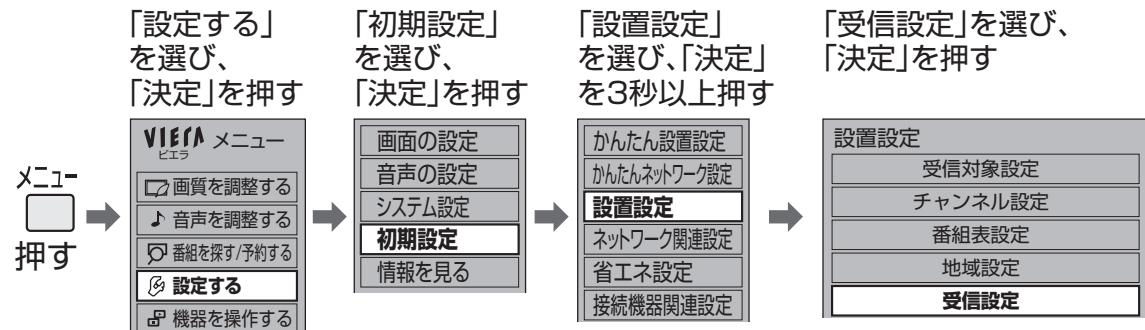
BSチャンネル設定			
リモコン	CH	チャンネル名	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ

リモコン番号設定 1		
CH	200	チャンネル名
		スター・チャンネル

(終わったら元の画面を押す)

設置設定を やり直す 受信設定 (地上デジタル放送)

まず、受信設定画面を表示させる



- 地上デジタル放送／地上アナログ放送の場合は、設定したい放送に切り換えてから受信設定画面を表示させます。

地上デジタル放送／地上アナログ放送の受信設定

アンテナを設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

- ①受信設定画面から▲▼で「地上」を選び、「決定」を押す



- ②必要であれば「アンテナ」を設定する

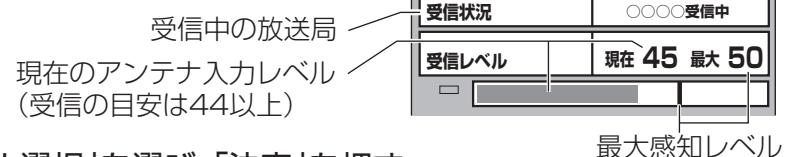
- アンテナについて(☞43ページ)

■地上デジタル放送の場合

手順③以降に進んでください。

- ③アンテナレベルを確認する

- 地上アナログ放送選局中に表示しても
アンテナのレベルは表示されません。



- ④▲▼で「物理チャンネル選択」を選び、「決定」を押す

- ⑤1. あ. ~ 10. お. で物理チャンネルを入力し、「決定」を押す

- 間違えたときは「黄」ボタンを押します。
- CATV経由の地上デジタル信号のレベルも表示できます。
例えば、「全帯域」(☞46ページ手順④)を選んで、
CATVでの「C20」チャンネルを選択する場合は、
緑 2. か 10. お. と入力します。

(C20の「C」は、リモコンの「緑」ボタンで入力／削除できます。)

- ⑥アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

(終わったら元の画面を押す)

地上アナログ放送／衛星デジタル放送

衛星デジタル放送の受信設定

衛星アンテナが個別の場合、アンテナ電源の「オフ」「オン」を設定したり、アンテナレベルが最大になるように調整したりします。

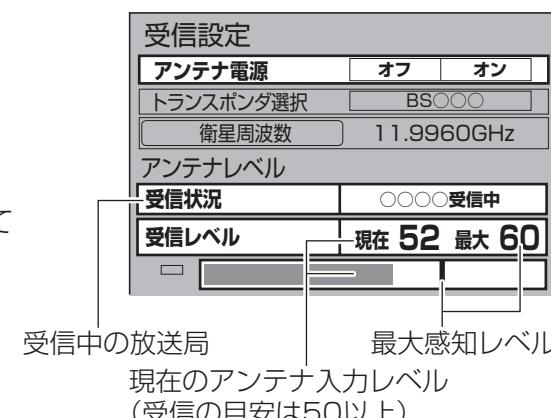
- ①受信設定画面から▲▼で「衛星」を選び、「決定」を押す



- ②アンテナレベルを確認する

- ③▲▼で「アンテナ電源」を選び、
◀▶で「オン」を選ぶ

- 「オン」にすると衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
(ブースターなどからコンバーターへ電源を供給しているときは「オフ」にしてください)
- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は
変えると、視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がない限り、変えないでください。



- ④アンテナの向きを調整し、アンテナレベルを最大値にする

(終わったら元の画面を押す)

■アンテナレベルについて

- アンテナレベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信している電波の強さではなく、質(信号と雑音の比率)を表します。
- アンテナのレベルは、天候、季節、地域、チャンネルなどにより異なります。またアンテナシステムの条件などによって変動する場合がありますので、十分な余裕を取ることをおすすめします。
- 現在受信中のデジタル放送のアンテナレベルは、「サブメニュー」を押して「アンテナレベル」を選んでも確認できます。
地上デジタル放送の場合は、さらに「決定」を押すと、受信状況の一覧を確認できます。
- BSや110度CSデジタル放送以外の衛星電波を受信中は「他の衛星受信中」と表示されます。
再度、アンテナの向きを調整してください。

■物理チャンネルについて

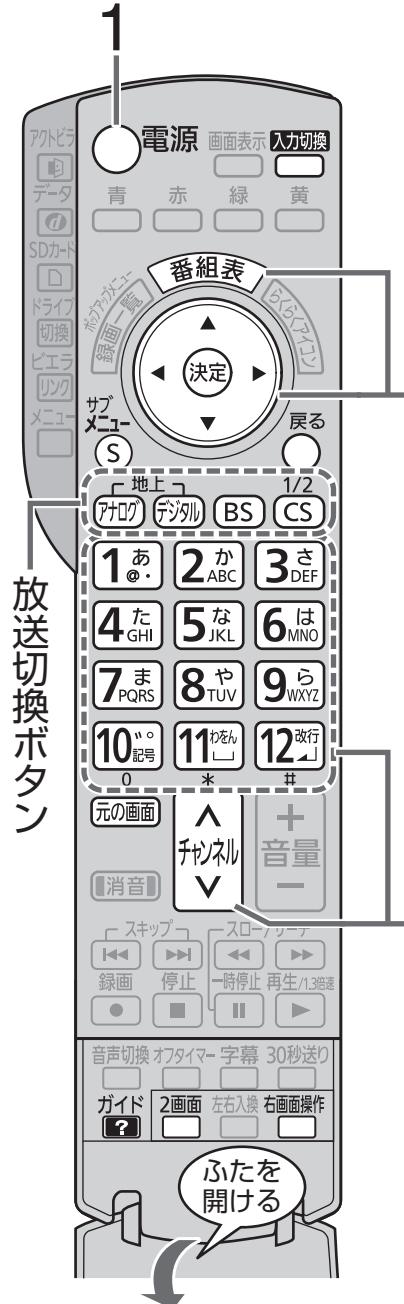
- 地上デジタルの放送は、UHFの電波を使って行われています。この電波は放送局ごとに割り当てられており(13~62ch)、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

お知らせ

- アンテナの向きの調整は、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

テレビを見る

現在放送されている番組をご覧になるには、次の2つの方法があります。



番組表から見たい番組を選ぶ(番組表)

- 1 電源を入れる
- 2 **番組表**を押す
- 3 放送切換ボタン(地上・**アナログ**・**デジタル**・BS・CS)で放送を選ぶ
- 4 見たい番組を選び、「決定」を押す
- 5 「今すぐ見る」を選び、「決定」を押す

●番組表を使う(☞ 64ページ)

チャンネルを変えながら、見たい番組を選ぶ

- 1 電源を入れる
- 2 放送切換ボタン(地上・**アナログ**・**デジタル**・BS・CS)で放送を選ぶ
- 3 **1あ.**～**12改行**または**チャンネル**で、
●番組のタイトルなどの情報が画面に表示されます。

お知らせ

- リモコンが見つからないときやリモコンの電池が切れているときは、本体のボタンを押して放送の切り換えや選局ができます。(☞ 26ページ)
- 番組のタイトルなどの情報は、電源を入れたりチャンネルを変えたりするたびに画面に表示されます。タイトルなどを画面に表示させないようにするには(☞ ガイド385)
- ディスクの画面からテレビ放送に戻るには**元の画面**を押す。

本機には、以下のテレビ放送を楽しむための便利な機能があります。

見ている番組の内容紹介の表示(番組内容)(☞ ガイド454)

- 1 **サブメニュー**を押す
- 2 ▲▼で「番組内容」を選び、「決定」を押す

●番組の画面に戻るには**元の画面**を押す。

3桁のチャンネル番号を入力する(3桁入力選局)(☞ ガイド101)

デジタル放送では、1つのチャンネルを複数に分け、それぞれ別の番組を放送する場合があります。このような場合は、見たい番組を番組表から選ぶか、または3桁のチャンネル番号をリモコンで入力します。

- 1 電源を入れる
- 2 放送切換ボタン(地上・**デジタル**・BS・CS)で放送を選ぶ
- 3 **サブメニュー**を押す
- 4 ▲▼で「3桁入力選局」を選び、「決定」を押す
- 5 **1あ.**～**10記号**を押してチャンネル番号を入力する

ビデオなどを見る(入力切換)(☞ ガイド110)

本機にビデオデッキやビデオカメラなどを接続して、再生した映像を見ることができます。(外部機器の接続のしかた☞ 接続ガイド)

- 1 **入力切換**を数回押して入力信号を選び、「決定」を押す
- 2 接続した機器を操作して再生する

2つの画面を同時に見る(2画面)(☞ ガイド340)

本機は、画面を左右に分割し、それぞれの画面で別の放送や入力された映像を見ることができます。

■2画面表示にする

- 1 リモコンのふたを開け、**2画面**を押す
- 2 左画面(主画面)のチャンネルまたは入力を選ぶ

■右画面(副画面)のチャンネルや入力を切り換えるには

- 1 **右画面操作**を押す
- 2 右画面(副画面)のチャンネルまたは入力を選ぶ

お知らせ

- 2画面時は、同時に表示できる放送や画面の組み合わせ、および録画・再生の操作などに制限があります。

内蔵ハードディスクに録画する

- デジタル放送(地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送)と外部入力(ビデオ入力1~3)を内蔵ハードディスクに録画できます。(S2映像入力、D4映像入力、HDMI、パソコン入力は録画できません。)
- ブルーレイディスクへは直接録画できません。録画した番組はブルーレイディスクにダビングできます。(69ページ)

デジタル放送を録画する[かんたん録画](?ガイド635)

- 地上 デジタル BS CS を押して、放送を選ぶ
●アナログ放送は録画できません。
- 1 あ ~ 12 または を押して、チャンネルを選ぶ
●録画が始まります。「録画ボタン設定」(53ページ)で設定されている時間で、自動的に停止します。
- 録画 を押す
●録画モードは「標準」になります。(35ページ)



外部機器の映像を録画する(?ガイド881)

- 入力切換 を数回押して入力信号を選び、「決定」を押す
録画 を押す
録画準備完了のメッセージが表示されたら、「決定」を押す
●録画が始まります。
(外部入力の録画のときは、3時間で停止します。)
●録画モードは「ビデオ」になります。(35ページ)
- 接続している機器を操作する

- 録画を途中で停止する
 - 停止 を押す
 - 録画を停止する番組を選び、「決定」を押す
 - 「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ

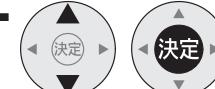
- 番組表(64ページ)に放送内容がある場合は、録画一覧(55ページ)で日時・番組名などが表示されます。(外部入力を録画した場合は、日時と入力名[ビデオ1~ビデオ3]のみ表示されます。入力名は、ビデオ入力表示書換で変更できます。?ガイド828)
- 本機では、デジタル放送を2番組同時に録画することができます。ただし、一方または両方の録画モードを「標準」にする必要があります。外部入力の録画中は、他の番組を同時に録画することはできません。(録画予約の重複について?ガイド258)
- 外部入力の録画は、デジタル放送からの時刻情報を取得していないとできません。
- 内蔵ハードディスクに関する注意事項(107ページ)

電子説明書の使いかた
(6ページ)

録画・視聴設定 (?ガイド348)

1 を押す

2 「設定する」を選び、「決定」を押す



3 「システム設定」を選び、「決定」を押す



4 「録画・視聴設定」を選び、「決定」を押す



5 各項目を選び、設定する



VIERRA メニュー
画質を調整する
音声を調整する
番組を探す/予約する
設定する
機器を操作する

画面の設定
音声の設定
システム設定
初期設定
情報を見る

タイトル表示 オフ オン
時計表示 オフ オン
表示の設定
録画・視聴設定

録画・視聴設定
探して毎回予約 オフ オン
録画ボタン設定 3時間録画/番組終了
録画番組の自動消去 しない
オートチャプター オフ オン
ワンセグ同時録画設定

(終わったら を押す)

項目	内 容	電子説明書
探して毎回予約	探して毎回予約を一時的に止めたいときに設定「オフ」/「オン」	?ガイド299
録画ボタン設定	内蔵ハードディスクに見ている番組を録画する時間を設定「3時間録画」/「番組終了」	?ガイド266
録画番組の自動消去	内蔵ハードディスクの空き容量が不足したとき、古い録画番組から自動で消去する設定「する」/「しない」 (「しない」を選んだ場合は、新たな番組を録画するには、録画一覧から不要な番組を選んで消去してください。)	?ガイド267
オートチャプター	デジタル放送の録画時、自動で番組にチャプターマークを付ける設定「オフ」/「オン」	?ガイド269
ワンセグ同時録画設定	地上デジタル放送の番組を録画するとき、ワンセグも同時に録画する設定(SDメモリーカードへのダビング用)「する」/「しない」	?ガイド268

再生する

電子説明書の使いかた
(6ページ)

- ディスクを入れる(16ページ)
- ディスクの種類によっては、自動的に再生を開始したり、メニュー画面が表示したりします。画面に従って操作してください。
- 市販またはレンタルのBDビデオやDVDビデオを見る(60ページ、 ガイド882)

録画した番組を見る (HDD: ガイド605、BD/DVD: ガイド884)

1 または を押す

- 現在選択されているドライブ(内蔵ハードディスク、またはディスク)の録画一覧が表示されます。 55ページ

2 再生したい番組を選び、「決定」を押す



- 再生が始まります。
- 再生中のいろいろな操作(56ページ)

■再生を停止する場合

停止 を押す

■ドライブを切り換える場合

ドライブ 切換 を押す

- ドライブが切り換わるまで時間がかかる場合があります。
- 押すごとにドライブが切り換わります。
- ディスクの種類によっては自動的に再生を開始したり、メニュー画面が表示したりします。画面に従って操作してください。

②画面に従って操作する

切り換えるドライブで操作は異なります。

●「内蔵ハードディスク」に切り換えた場合

内蔵ハードディスクの録画一覧が表示されます。
(55ページ)

●「ディスク」に切り換えた場合

▲▼で「録画した番組を見る」を選び、「決定」を押すと、ディスクの録画一覧が表示されます。
(55ページ)

・ディスクにより表示が異なる場合があります。

お知らせ

サブ
メニュー

- 録画一覧のときや番組の再生中に を押すと、表示している画面に関連した機能の設定ができます。 ガイド463
- 内蔵ハードディスクに関する注意事項(107ページ)
ディスクに関する注意事項(106ページ)
- ディスクのビデオ映像(AVCHD)を見る(60ページ、 ガイド893)
- を押すと、現在選択しているドライブを表示します。



録画一覧について

■内蔵ハードディスク(HDD)のとき(ガイド608)

選んでいる番組の録画時間／録画モード 録画可能時間 分類表示(◀▶ボタンで切り換える)
プレビュー画像



選択中の番組
チャンネル、日付、
開始時間、番組名、
アイコン
(古い番組順)

リモコンのカラー ボタンで操作

青 番組を複数選択する

緑 お好み録画の番組を
表示/非表示に切り換える

黄 選択中の番組を消去する

録画番組の情報(アイコン)

お好み録画

録画中

未

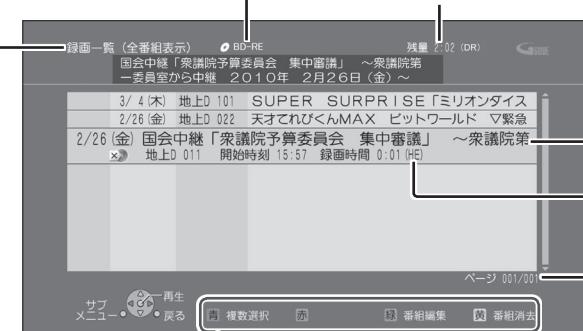
未視聴

プロテクト中

■ディスクのとき(ガイド910)

選択中のメディア 残量(追記可能なディスクの場合)

表示状態



選択中の番組

録画モード

※ディーガで録画したディスクの録画モードは、そのまま表示されます。

リモコンのカラー ボタンで操作(ブルーレイディスクのみ)

青 番組を複数選択する

緑 番組を編集する

- 番組名を編集(92ページ)
- 選択中の番組をプロテクト設定／解除する。

黄 選択中の番組を消去する

ページ数

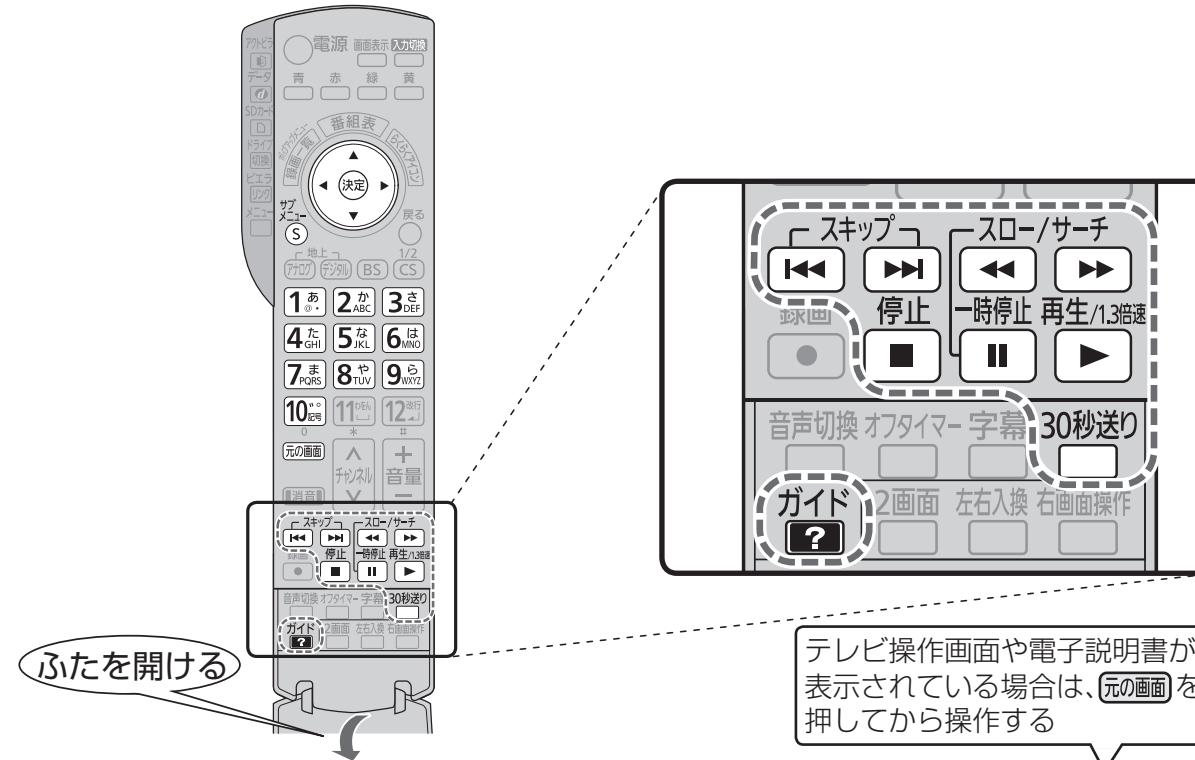
● を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。

(終わったら を押す)

再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作(リモコン)

内蔵ハードディスクやブルーレイディスク、DVDのディスクを再生中に押すと、早送り再生やスロー再生などができます。



項目	操作	動作内容・その他	電子説明書
停止	停止 ■ を押す	停止します。	②ガイド 602
一時停止 (静止画)	一時停止 ■ を押す	再生を一時停止します。 ●もう一度「一時停止」を押す、または「再生」を押すと、再生が再開します。	②ガイド 602
早送り・ 早戻し (サーチ)	スロー/サーチ ◀▶ を押す	サーチを開始します。 ●押すたびに、速度が速くなります。(5段階) ●「再生」を押すと、通常の再生に戻ります。	②ガイド 603
スキップ	スキップ ◀▶ を押す	押した回数だけ番組や場面を飛び越します。 ●チャプターマーク(②53ページ)がある場合は、その場面に飛びます。 ●2つ以上の番組を録画したディスク(BD/DVD)の場合は、次の(前の)番組に飛びます。 ●録画中の番組を再生(追っかけ再生)しているときは動作しません。	②ガイド 603



電子説明書の使いかた
(②6ページ)

テレビ操作画面や電子説明書が表示されている場合は、元の画面を押してから操作する

項目	操作	動作内容・その他	電子説明書
30秒送り 再生	30秒送り □ を押す	押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。 ●DVDビデオでは正しく動かない場合があります。	②ガイド 604
15秒戻って 再生	30秒送り □ を3秒以上押す	約15秒前に戻して再生します。 ●DVDビデオでは正しく動かない場合があります。	②ガイド 604
早見再生 (1.3倍速)	再生/1.3倍速 ▶ を長く押す HDD:3秒以上 ディスク:1秒以上	1.3倍速で再生します。 ●「再生」を押すと通常の再生に戻ります。 ●-RW(ファイナライズ後も含む)ではできません。	②ガイド 601
スロー再生	(一時停止中) スロー/サーチ ◀▶ を押す	スロー再生を開始します。 ●「再生」を押すと通常の再生に戻ります。 [ディスク] ●押すたびに、速度が速くなります。(5段階) ●ブルーレイディスク、AVCHDのビデオ映像では、送り方向のみ動きます。	②ガイド 603
コマ送り/ コマ戻し	(一時停止中) △ 決定 ▼ を押す	1コマずつ送り(戻し)します。 ●「再生」を押すと通常の再生に戻ります。 [内蔵ハードディスク] ●連続してコマ送り(戻し)します。 [ディスク] ●押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。 ●BDビデオ、AVCHDのビデオ映像ではコマ戻しができません。	②ガイド 604
ダイレクト 再生 (BDビデオ、 DVDビデオ、 AVCHDのみ)	1あ. ～ 10 ^{記号} 0 を押して、 タイトル・ チャプター番号 を入力	停止中はタイトル、再生中はチャプターを再生します。 [DVDビデオ] ●2桁入力: 例) 5:10 ^{記号} 5JKL、15:1あ. 5JKL [BDビデオ、AVCHD] ●3桁入力: 例) 5:10 ^{記号} 10 ^{記号} 5JKL、15:10 ^{記号} 1あ. 5JKL	②ガイド 912

お知らせ

- ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部できない操作があります。
- 再生中に②Sを押すと、再生操作に使用できるその他のボタン説明が表示されます。

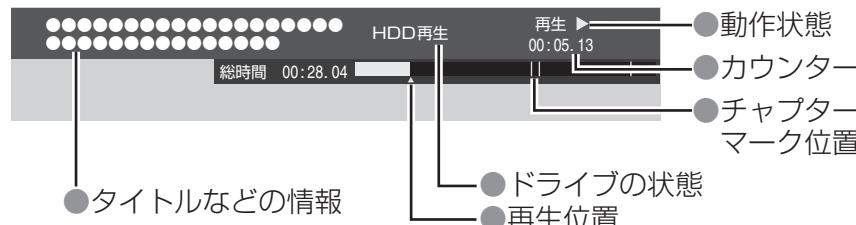
再生する(つづき)

電子説明書の使いかた
(6ページ)

再生中の番組と操作状態の確認(?)ガイド456)

画面表示
□を押す

例)内蔵ハードディスク(再生中)



(画面表示を消すときは □を数回押す)

他の機器で作成したプレイリストの再生(?)ガイド897)

他の機器で作成したディスクのプレイリストを再生します。

●ディスクを入れる(16ページ)

1 メニュー
□を押す

2 「機器を操作する」を選び、「決定」を押す



3 「BD/DVD」を選び、「決定」を押す



4 「プレイリスト再生」を選び、「決定」を押す



5 再生したいプレイリストを選び、「決定」を押す



●再生が始まります。

お知らせ

●本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

チャプターを再生する(HDD:?)ガイド609、BD/DVD:?)ガイド896)

チャプター一覧から見たいチャプターを選んで再生します。

●「オートチャプター」の設定(53ページ)

1 または ▶を押す

●録画一覧が表示されます。 55ページ
●ドライブを切り換える場合(54ページ)

2 番組を選び、「サブメニュー」を押す



●サブメニューが表示されます。
表示される項目はドライブにより変わります。

3 「チャプター一覧」を選び、「決定」を押す



●チャプター一覧画面が表示されます。

4 再生したいチャプターを選び、「決定」を押す



●再生が始まります。

お知らせ

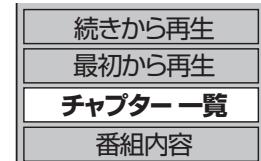
●内蔵ハードディスクのまとめ番組ではチャプターを選べません。

●本機ではチャプターマークの編集はできません。

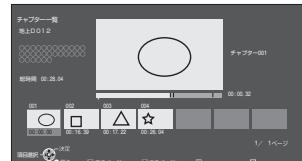
●外部入力の録画にはチャプターは記録されていません。

●市販またはレンタルのBDビデオやDVDビデオでは、この操作はできません。

例)内蔵ハードディスク



例)内蔵ハードディスク



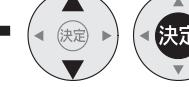
再生する(つづき)

ディスクの写真を見る(?)ガイド887)

1 ドライブ
切換
□を押す

●ドライブを「ディスク」に切り換えてください。 54ページ

2 「写真を見る」を選び、「決定」を押す

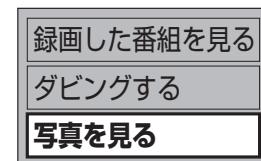


3 見たいアルバムまたは日付を選び、「決定」を押す



●写真一覧が表示されます。

見たい写真を選んで「決定」を押すと、写真が表示されます。



再生する(つづき)

●ディスクを入れる(☞ 16ページ)

ディスクのビデオ映像(AVCHD)を見る(☞ ガイド893)

記録されている内容により操作が異なります。

ディスクを挿入してメニュー画面が表示された場合は画面に従って操作してください。

1 または を押す

●ドライブを切り換える場合(☞ 54ページ)

2 見たいビデオ映像を選び、「決定」を押す



●ビデオ映像が再生されます。

●再生中のいろいろな操作(☞ 56ページ)

お知らせ

●ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画(AVCHD)が混在したディスクの場合は、「AVCHD優先モード」(☞ 74ページ)を「入」に設定してください。

市販やレンタルのBDビデオ/DVDビデオを見る(☞ ガイド882)

ディスクを挿入すると自動的に再生を開始します。メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。(再生が始まらない場合は  を押してください。)

項目を選び、「決定」を押す



メニュー画面のイメージ図

■メニュー画面を表示させるには

- [BDビデオ] ·再生中:「サブメニュー」を押して、「BDトップメニュー」を選ぶ
·停止中:「録画一覧」を押す

- [DVDビデオ] 「録画一覧」を押す
(「サブメニュー」を押して、「DVDトップメニュー」を選ぶ)

■ポップアップメニューを表示させるには

- [BDビデオ] ·再生中:「録画一覧」を押す

お知らせ

●内蔵ハードディスクに録画モード「標準」以外で録画しているときは、ディスクは再生できません。また、ディスクを再生しているときに、録画モード「標準」以外の予約録画が始まるとディスクの再生は終了します。

●ダイレクト再生機能について(☞ 57ページ)

 電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

音楽CDを聴く(☞ ガイド895)

1 音楽CDを入れる

2 曲一覧画面が表示され、自動的に再生が始まります。

●再生中に約5分間、何も操作しないとスクリーンセーバーの表示に切り替わります。リモコンのボタンを押すと、元の画面に戻ります。

■別の曲を再生する

再生したい曲を選び、「決定」を押す。

・再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



・再生方法を設定できます。
「リピート」「ランダム」(☞ 63ページ)

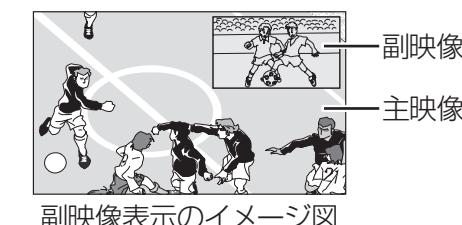
BONUSVIEW™対応のBDビデオを楽しむには

BONUSVIEW™対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などのBDビデオの副映像が楽しめます。

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明をご覧いただきお楽しみください。

■副映像のあるディスクを楽しむ

- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」(☞ 74ページ)を「入」にしてください。
- 副映像が表示されないときは、「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。(☞ 63ページ)



副映像表示のイメージ図

お知らせ

- 早送り・早戻し、早見再生、スロー再生、コマ送り中に副映像は再生されません。
- ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。

再生する (つづき)

●ディスクを入れる (☞ 16ページ)

ディスクの信号切換や再生方法の設定などをする

1 ディスク再生中に  を押す



例) BD再生中

2 「再生設定」を選び、「決定」を押す



●再生設定のメニューが表示されます。

3 「ディスク」または「再生」を選び、▶を押す



4 設定項目を選び、▶を押す



●ディスクにより設定項目は異なります。
表示されない項目や変更できない項目があります。

5 設定を変更する (☞ 63ページ)



●映像や音声によっては、効果が得られない場合があります。

設定内容について「音声情報」「字幕情報」(☞ 63ページ)

〈音声属性〉

LPCM/■Digital/Digital+/■TrueHD/DTS-ES/DTS-HD MSTR/
DTS-HD HI RES/DTS-HD LBR/DTS/MPEG/AAC:信号タイプ
ch:チャンネル数 k:サンプリング周波数(kHz) b:ビット数(bit)

〈言語〉

日:日本語 英:英語 仏:フランス語 独:ドイツ語 伊:イタリア語
西:スペイン語 蘭:オランダ語 中:中国語 露:ロシア語 韓:韓国語
*:その他

電子説明書の使いかた
(☞ 6ページ)

メニュー	設定項目・設定内容	電子説明書
	映像情報 情報の表示のみ	
	音声情報(「音声属性」「言語」☞ 62ページ) 音声や言語の選択または音声属性の表示	
	信号切換 「標準」モードの番組は映像や音声などを切り替えます。 それ以外の録画モードの番組は表示のみ。 「決定」を押して、さらに設定します。 ・マルチビュー ・映像 ・音声 ・二重音声 ・字幕(オン／オフ) ・字幕言語(日本語／英語)	
ディスク (ディスク独自の 機能の設定)	●BDビデオ ・主映像 映像情報／音声情報 ・副映像 映像情報(入／切)／音声情報(入／切)	ガイド913
	字幕情報(「言語」☞ 62ページ) 字幕表示の入/切や、言語の選択	
	音声チャンネル 音声(L/R)を切り替えます。	
	字幕スタイル ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。	
	アングル ディスクに記録されたアングルを選びます。	
再生 (再生方法の設定)	リピート 繰り返し再生の方法を選びます。 ディスクによりリピートの種類は異なります。 ・番組 : 番組全体 ・タイトル : タイトル全体 ・チャプター : 選んだチャプターのみ ・プレイリスト : 選んだプレイリストのみ ・全曲 : ディスク全体 ・1曲 : 選んだ曲のみ	ガイド914
	ランダム(音楽CD再生時のみ) 「入」にすると、順不同に再生します。	

番組表から探す・見る・録画予約する

電子説明書の使いかた
(6ページ)

●地上アナログ放送の番組表は、BSデジタル放送のGガイドでのみの配信となりますので、必ず衛星アンテナを接続してください。

●地上アナログ放送は本機では録画できません。(ディーガに録画予約する ガイド251)

番組表で探す(今すぐ見る・見るだけ予約・録画予約) (ガイド500)

1 番組表を押す

番組表を表示 (65ページ, ガイド011)

2 地上 デジタル BS CS 1/2 で放送を選ぶ

3 ▲▼◀▶で番組を選び、「決定」を押す

番組内容画面を表示 (ガイド454)

●番組表に戻るときは を押す。

4 ■放送中の番組のとき (ガイド511)
◀▶で今すぐ見るを選び、「決定」を押す

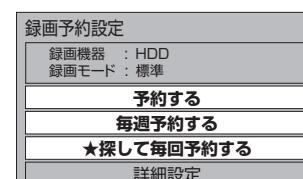
●選んだ番組に切り換わります。

■放送予定の番組のとき (ガイド512)
◀▶で見るだけ予約を選び、「決定」を押す

●テレビを見ているときに、放送時刻になると、予約番組に切り換わります。

■録画予約するとき (ガイド631)
◀▶で録画予約を選び、「決定」を押す

●録画予約設定画面で、録画予約のしかた・録画機器・録画モードなどを選び設定してください。

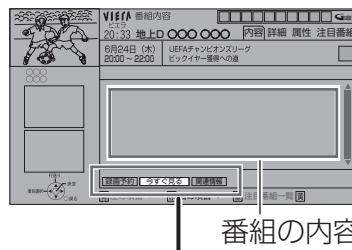


番組表

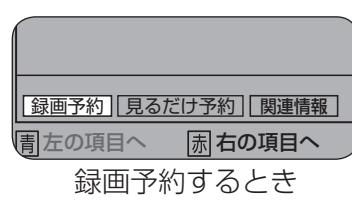
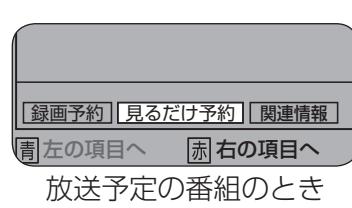
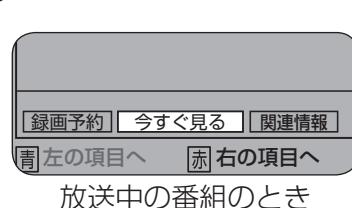


選択中の番組が黄色になる

番組内容画面

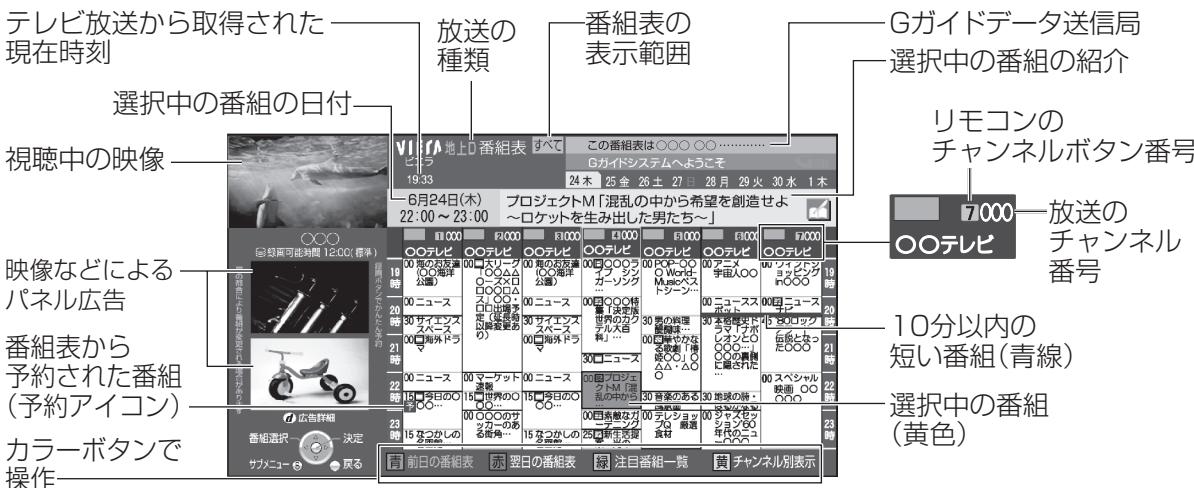


番組の内容



(終わったら を押す)

番組表について (ガイド501)

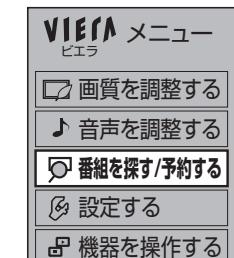


いろいろな探しかた (ガイド010)

1 メニューを押す

2 ▲▼で番組を探す/予約するを選び、「決定」を押す

3 ▲▼で探しかたを選び、「決定」を押す



探しかた	手順・結果
注目番組一覧	Gガイドが提供する注目番組一覧を表示
●カテゴリー分類を変える 前の分類: (青)、次の分類: (赤)	
今放送中から	裏番組の一覧を表示
ジャンル別に	メインジャンルを選ぶ→サブジャンルを選ぶ→一覧を表示
キーワードで	カテゴリーを選ぶ→キーワードを選ぶ→一覧を表示
人名で	読みの最初を選ぶ→名前を選ぶ→一覧を表示

4 ▲▼で一覧から番組を選び、「決定」を押す



番組内容画面を表示

●注目番組一覧のときは、詳細画面を表示。

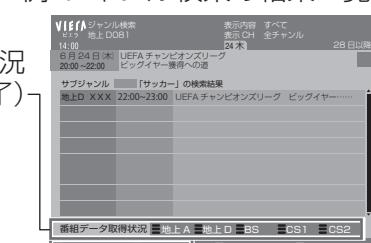
●項目を変えるときは 左: (青)、右: (赤)

●今放送中からのときは、選択した番組に切り換わる。

●番組を見たいときは(64ページ手順4)

●番組を録画したいときは(64ページ手順4)

例: ジャンル検索の結果一覧



別日の番組を探すときは
前日: (青)、翌日: (赤)

番組表から探す・見る・録画予約する

(つづき)

電子説明書の使いかた
(6ページ)

1 番組表を
押す

2 地上CS BS CS を
押して、放送を選ぶ

3 番組を選び、「決定」を押す
(番組内容画面を表示)

4 「関連情報」を選び、「決定」を押す
(関連情報画面を表示)

テレビ操作画面や電子説明書が
表示されている場合は、元の画面を
押してから操作する

番組内容に
関連した
情報で
探す
(関連情報)

関連情報
注目番組一覧から探す
放送中止時の番組を探す
関連番組を探す
人名で番組を探す
ジャンルで番組を探す
キーワードで番組を探す

関連情報画面
(情報のない項目は
表示されません)

(終わったら元の画面を押す)

項目	操作手順	電子説明書
注目番組一覧から探す	▲▼で「注目番組一覧から探す」 を選び、「決定」を押す	選んだ番組内容画面を表示
放送中止時の番組を探す	▲▼で「放送中止時の番組を探す」 を選び、「決定」を押す	情報のない項目(タブ)は 表示しません。
関連番組を探す	▲▼で「関連番組を探す」 を選び、「決定」を押す	番組の内容
人名で番組を探す	▲▼で「人名で番組を探す」 を選び、「決定」を押す	●番組を見る(64ページ)
ジャンルで番組を探す	▲▼で「ジャンルで番組を探す」 を選び、「決定」を押す	●録画予約(64ページ)
キーワードで番組を探す	▲▼で「キーワードで番組を探す」 を選び、「決定」を押す	?

1 メニューを押す

2 「番組を探す/予約する」を選び、「決定」を押す
(番組を探す/予約するメニューを表示)

3 各項目を選び、設定する

テレビ操作画面や電子説明書が
表示されている場合は、元の画面を
押してから操作する

日時を指定して予約する / 予約を確認する・変更する・取り消す

今放送中から
ジャンル別に
キーワードで
人名で
時間指定予約で
予約一覧

番組を探す/予約する
メニュー

(終わったら元の画面を押す)

項目	操作手順	電子説明書
時間指定予約で	日時を指定して予約する ▲▼で「時間指定予約で」 を選び、「決定」を押す (時間指定予約画面を表示)	?

予約一覧	<p>予約の確認や変更、 取り消しをする ▲▼で「予約一覧」を選び、 「決定」を押す (予約一覧画面を表示)</p> <p>青ボタン・赤ボタンで 切り換わる 予約状態のアイコン ▲▼で変更や削除したい 予約を選び、「決定」を押す</p>	<p>■実行前の予約の変更 ①「設定変更」を選び、「決定」を押す ②内容を修正し、「修正する」を選び「決定」を押す</p> <p>■実行前の予約の削除 「予約削除」を選び、「決定」を押す</p> <p>■実行中の予約の変更 実行中の予約は変更できません</p> <p>■実行中の予約の取り消し(中止) 「取り消し」を選び、「決定」を押す (テレビを見ているときは、リモコンの「停止」 ボタンでも中止できます)</p> <p>■実行済みの予約履歴削除 「履歴削除」を選び、「決定」を押す</p> <p>●黄色ボタンでも実行前・実行中・実行済みの 予約を削除することができます。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

番組表から探す・見る・録画予約する(つづき)

録画番組(ワンセグ)を持ち出す

地上デジタル放送と同時に録画したワンセグ放送の番組を、SDメモリーカードにダビングします。ワンセグ番組をモバイル機器(携帯電話など)に持ち出すときに操作します。

- SDメモリーカードを入れる(☞ 21ページ)
- ワンセグ放送を録画するには、あらかじめ設定が必要です。(☞ ガイド349)

録画番組(ワンセグ)をSDメモリーカードへダビングする (☞ ガイド172)

1  を押す

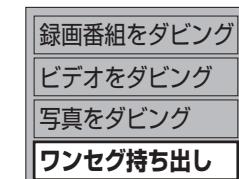
- らくらくアイコンが表示されます。



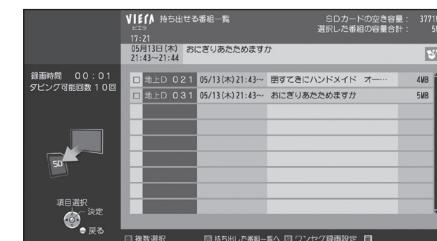
2 ◀▶で「ダビング」を選び、「決定」を押す

3 ▲▼で「ワンセグ持ち出し」を選び、「決定」を押す

- 持ち出せる番組一覧が表示されます。



4 ▲▼で持ち出したい番組を選び、「決定」を押す



5 ◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す

- ダビングが始めます。

- ダビングを途中で停止するには
①  を3秒以上押す
② 「はい」を選び、「決定」を押す

(終わったら  を押す)

お知らせ

- 購入後、初めて「ワンセグ持ち出し」を選んだときは、「ワンセグ同時録画の設定」の確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選んで決定した後は、次回から「ワンセグ同時録画の設定」の確認画面は表示されません。(☞ ガイド158)
- ワンセグの番組は本機では再生できません。
- ダビング中は電源を切らないでください。
- SDメモリーカードには、最大99番組までダビングできます。
- ワンセグ番組は最大10回ダビングすることができます。10回目のダビングを行うと「持ち出せる番組一覧」から削除されます。(ワンセグと地上デジタルの番組はそれぞれ10回ずつダビングできます。)
- 録画一覧から地上デジタルの番組を消去すると同時に録画したワンセグ番組も消去されます。

番組をダビングする(ブルーレイディスク)

電子説明書の
使いかた
(☞ 6ページ)

- ディスクを入れる(☞ 16ページ)
- 記録可能なブルーレイディスクを挿入した場合は、メニューが表示されます。
「ダビングする」を選び、「決定」を押して手順3に進んでください。

内蔵ハードディスクに録画した番組をブルーレイディスクにダビングする (☞ ガイド898)

1  を押す

- らくらくアイコンが表示されます。



2 ◀▶で「ダビング」を選び、「決定」を押す

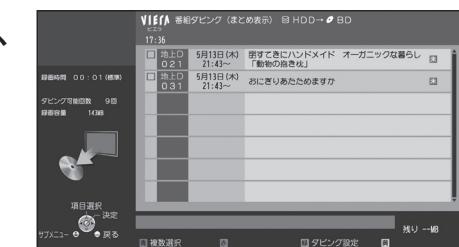
3 ▲▼で「録画番組をダビング」を選び、「決定」を押す



4 ▲▼で「BDにダビング」を選び、「決定」を押す

5 ▲▼でダビングしたい番組を選び、「決定」を押す

- 青  で番組を複数選択できます。
- 緑  でダビングモードの選択ができます。
(☞ 33ページ)



6 画面の内容を確認し、「決定」を押す

- ダビングが始めます。
- 新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットします。

■ ダビングを途中で停止するには

①  を押す

② ダビング停止確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ

- コピー制限について(☞ 34ページ、☞ ガイド656)
- ディスクから内蔵ハードディスクにはダビングできません。
- 録画中などは、ダビングできません。
- ダビング中は、内蔵ハードディスクの録画／再生・ディスクの再生・録画一覧表示・電子説明書の表示・ディスクの取り出しなどは操作できません。
- ダビング中に  を押すと、ダビングの進捗情報が表示されます。
- ブルーレイディスクのフォーマットについて(☞ 72ページ)
- 本機でプロテクトを設定したBD-RE、BD-Rにはプロテクト解除してからダビングしてください。(☞ 72ページ)
- DVDやファイナライズされたBD-Rにはダビングできません。(☞ 72ページ)

録画番組をダビングする(ワンセグ)を持ち出す(ブルーレイディスク)

写真をダビングする

写真(画像)をSDメモリーカードからブルーレイディスク(BD-RE)へダビングできます。
(SDメモリーカードから内蔵ハードディスク、BD-RやDVDにはダビングできません。)

- ディスクを入れる(☞ 16ページ)
- SDメモリーカードを入れる(☞ 21ページ)
- 記録可能なブルーレイディスク(BD-RE)を挿入した場合は、メニューが表示されます。
「ダビングする」を選び、「決定」を押して手順3に進んでください。

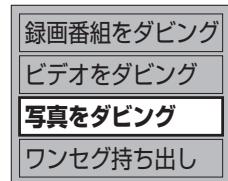
写真をダビングする (ガイド901)

1  を押す

- らくらくアイコンが表示されます。



2 ◀▶で「ダビング」を選び、「決定」を押す



3 ▲▼で「写真をダビング」を選び、「決定」を押す

4 SDメモリーカード内の全ての写真をダビング
したい場合は手順6に進む

- ダビングする写真を個別に選ぶ場合は「いいえ」を選び、「決定」を押して手順5へ。

5 ▲▼◀▶でダビングしたい写真を
選び、「決定」を押す

- 青  で写真を複数選択できます。
- 緑  で全写真を選択／解除できます。



6 ◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す

- ダビングが始まります。
- 新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットします。

■ダビングを途中で停止するには

①  を押す

② ダビング停止確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ

- ダビング中は、内蔵ハードディスクの録画／再生・ディスクの再生・録画一覧表示・電子説明書の表示・ディスクの取り出しなどは操作できません。
- ダビング中に  を押すと、ダビングの進捗情報が表示されます。

ビデオ映像(AVCHD)をダビングする

電子説明書の
使いかた
(☞ 6ページ)

ビデオ映像(AVCHD)をSDメモリーカードからブルーレイディスクへダビングできます。
(内蔵ハードディスクへはダビングできません。)

- ディスクを入れる(☞ 16ページ)
- SDメモリーカードを入れる(☞ 21ページ)
- 記録可能なブルーレイディスク(BD-RE)を挿入した場合は、メニューが表示されます。
「ダビングする」を選び、「決定」を押して手順3に進んでください。

ビデオ映像(AVCHD)をダビングする (ガイド903)

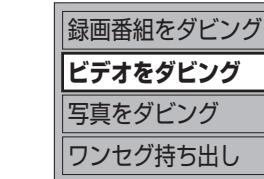
1  を押す

- らくらくアイコンが表示されます。



2 ◀▶で「ダビング」を選び、「決定」を押す

3 ▲▼で「ビデオをダビング」を選び、「決定」を押す



4 ▲▼でダビングしたい
ビデオ映像を選び、「決定」を押す

- 青  でビデオ映像を複数選択できます。
- 緑  で全ビデオ映像を選択／解除できます。



5 ◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す

- ダビングが始まります。
- 新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットします。

■ダビングを途中で停止するには

①  を押す

② ダビング停止確認画面で「はい」を選び、「決定」を押す

お知らせ

- MPEG2のビデオ映像はダビングできません。
- ダビング中は、内蔵ハードディスクの録画／再生・ディスクの再生・録画一覧表示・電子説明書の表示・ディスクの取り出しなどは操作できません。
- ダビング中に  を押すと、ダビングの進捗情報が表示されます。
- 本機でプロテクトを設定したBD-RE、BD-Rにはプロテクト解除してからダビングしてください。(☞ 72ページ)
- DVDやファイナライズされたBD-Rにはダビングできません。(☞ 72ページ)

写真をダビングする
ビデオ映像(AVCHD)をダビングする

ディスクの管理／設定



電子説明書の使いかた
(6ページ)

ブルーレイディスクの管理

- 1 メニュー を押す
- 2 ▲▼で「機器を操作する」を選び、「決定」を押す
- 3 ▲▼で「BD/DVDの設定」を選び、「決定」を押す
- 4 ▲▼で「BD管理」を選び、「決定」を3秒以上押す
●BD管理画面が表示されます。
- 5 ▲▼で設定項目を選び、「決定」を押す
●画面の指示に従って設定内容を変更してください。

項目	設定内容	参照
ディスク名入力	ディスクの名前を入力する	92ページ ガイド905
ディスクプロテクト	誤消去防止の設定/解除 ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、「決定」を押す。 ●ディスクプロテクトを設定すると「 オン」が表示されます。 ●プロテクトしたディスクは、「ディスク名入力」「全番組消去」が設定できません。	
全番組消去	ブルーレイディスクの全番組を消去する ①◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す ②◀▶で「実行」を選び、「決定」を押す ●全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。 ●[BD-RE]：写真や音楽データは消去されません。 ●[BD-R]：消去しても残量は増えません。	
BD-REの フォーマット (BD-RE挿入時)	ブルーレイディスクをフォーマットする 画面の指示に従って操作してください。 フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻す ことができません。すべて消去して良いか確認してから行って ください。(ディスクプロテクトを設定していても消去されます。) ●ディスクに汚れや傷があると、フォーマットに時間がか かったり、フォーマットできない場合があります。 ●[BD-R]：未使用的ディスクのみフォーマットできます。 お願い ●フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、 絶対に電源コードを抜かないでください。 ディスクが使えなくなることがあります。	ガイド905
BD-Rの フォーマット (BD-R挿入時)	番組を記録したBD-Rを再生専用のディスクにする 画面の指示に従って操作してください。 ●本機では番組を記録したBD-Rのみをファイナライズできます。 ●ファイナライズしたディスクは、記録や編集ができません。 ●ファイナライズ中は電源を切らないでください。 ●本機以外の機器で記録したBD-Rはファイナライズできないことがあります。	
他のBD機器再生 (ファイナライズ)		

お知らせ

- BD管理の設定は、BD-REおよびBD-Rのブルーレイディスクのみ対応しています。
- ファイナライズしたディスクは、BD管理の設定はできません。

BDビデオデータ消去 (ガイド939)

BDビデオのBONUSVIEW™機能で使用するデータは本機内部に保存されます。
データが不要になった場合に実行してください。

- 1 メニュー を押す
- 2 ▲▼で「機器を操作する」を選び、「決定」を押す
- 3 ▲▼で「BD/DVDの設定」を選び、「決定」を押す
- 4 ▲▼で「BDビデオデータ消去」を選び、「決定」を3秒以上押す
- 5 ◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す
- 6 ◀▶で「はい」を選び、「決定」を押す

ディスクの管理／設定(つづき)



電子説明書の使いかた
(6ページ)

ディスクの初期設定を行う (■ガイド922)

- 1 メニュー を押す
- 2 ▲▼で「機器を操作する」を選び、「決定」を押す
- 3 ▲▼で「BD/DVDの設定」を選び、「決定」を押す
- 4 ▲▼で「BD/DVD初期設定」を選び、「決定」を押す
- 5 ▲▼で設定項目を選び、「決定」を押す
 - 画面の指示に従って設定内容を変更してください。
 - 設定を終了するときは「設定終了」を選択してください。

メニュー	設定項目	設定内容
BD/DVDの再生設定	DVD-Videoの視聴制限 ^{*1}	DVDビデオの視聴制限ができます。
	BD-Videoの視聴可能年齢 ^{*1}	BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
	音声言語の設定 ^{*2}	再生時の音声を選びます。
	字幕言語の設定 ^{*2}	再生時の字幕言語を選びます。
	メニュー言語の設定 ^{*2}	テレビ画面に表示される言語を選びます。
	AVCHD 優先モード	ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画(AVCHD)が混在したディスクで再生する動画を設定します。
	BD/DVDの映像設定	毎秒24フレームのプログレッシブハイビジョン出力が選べます。
BD/DVDの音声設定	スチルモード	一時停止中の画像の表示方法が選べます。
	音声のダイナミックレンジ圧縮	小音量でもセリフを聞き取りやすくなります。
	デジタル出力	<ul style="list-style-type: none"> ● Dolby Digital ● DTS ● AAC ● BDビデオ副音声・操作音
	ダウンミックス	マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って1^あ～10^かで暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

※2 「その他 * * * *」の場合、*には1^あ～10^かで言語番号(下記の表)を入力してください。選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

言語番号一覧

アイスランド	7383	オランダ	7876	ジャワ	7487	ドイツ	6869	ベンガル
アイマラ	6589	カザフ	7575	スウェーデン	8386	ナウル	7865	(バングラ)
アイルランド	7165	カシミール	7583	スペイン	6983	日本語	7465	ペルシャ
アゼルバイジャン	6590	カタロニア	6765	スロバキア	8375	ネパール	7869	ポーランド
アッサム	6583	ガリチア	7176	スロベニア	8376	ノルウェー	7879	ポルトガル
アファル	6565	韓国(朝鮮)語	7579	スワヒリ	8387	ハウサ	7265	マオリ
アフリカーンス	6570	カナダ	7578	スンダ	8385	ハンガリー	7285	マケドニア
アブハジア	6566	カンボジア	7577	ズールー	9085	バシキール	6665	マダガスカル
アムハラ	6577	アムハラ	7589	キルギス	8382	バスク	6985	マライ(マレー)
アラビア	6582	ギリシャ	6976	セルビア	8382	パシト	8083	マラッタ
アルバニア	8381	クルド	7585	セルボクロアチア	8372	パシト	8083	マラヤーラム
アルメニア	7289	クロアチア	7282	ソマリ	8379	パンジャブ	8065	マルタ
イタリア	7384	グアラニー	7178	タイ	8472	ヒンディー	7273	7784
イディッシュ	7473	グジャラト	7185	タガログ	8476	ヒハール	6672	モルダビア
インターリングア	7365	グリーンランド	7576	タジク	8471	ビルマ	7789	モンゴル
インドネシア	7378	グルジア	7565	タール	8484	フィジー	7074	ヨルバ
ウェールズ	6789	ケチュア	8185	タミル	8465	フィンランド	7073	ラオ
ウォロフ	8779	ゲール	(スコットランド)	8465	タミル	7679	ラテン	7665
ウクライナ	8575	ウズベク	8185	タグ	8473	フェロー	7079	ラビア
コーサ	8872	ウルドゥー	8582	タジク	8473	フランス	7082	(レット)
コロシカ	6779	ヴォラピュック	8679	タタール	8473	フリジア	7089	7686
サモア	8377	英語	8678	タミル	8473	ブータン	6890	リトアニア
サンスクリット	8365	エストニア	6984	タミル	8473	ブルガリア	6671	リンガラ
トルグ	8469	エスペラント	6979	タウイ	8473	ブルターニュ	6682	ルーマニア
デンマーク	6865	ダウソニ	8373	トウイ	8487	ヘブライ	7387	レトロマンス
トルクメン	8475	シンハラ	8373	トルコ	8482	ベトナム	8673	ロシア
トルコ	8482	オーリヤ	7982	トルコ	8482	ベロルシア	8285	(白ロシア)
トンガ	8479			トンガ	8479		6669	

外部機器の接続・設定

ビエラリンク(HDMI)対応機器

- ビエラリンク(HDMI)とは(ガイド497)

接続する機器	ケーブル [接続する端子]	注意事項	参照
ディーガ		<ul style="list-style-type: none"> ●HDMIケーブルについて <ul style="list-style-type: none"> ・当社製を推奨します。 (接続ガイド) ・HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。 	接続ガイド 1
CATVデジタルSTB	HDMIケーブル [HDMI 1]	<ul style="list-style-type: none"> ●接続後は必ずビエラリンク(HDMI)を有効にしてください。 (「ビエラリンク(HDMI)制御」 ガイド801) 	接続ガイド 2
シアター		<ul style="list-style-type: none"> ●最初に接続したときは「入力切換」を押して、HDMI入力に切り換えてください。 	接続ガイド 3
デジタルビデオカメラ	HDMIミニケーブル [HDMI 2]	<ul style="list-style-type: none"> ●機器の操作をしたときに、本機の電源を「入」にするには「電源オン連動」を設定してください。 (ガイド801) 	接続ガイド 4
デジタルカメラ		<ul style="list-style-type: none"> ●HDMI端子に同じ種類のビエラリンク(HDMI)対応機器を複数接続した場合は、番号の小さいHDMI端子に接続された機器が、ビエラリンク(HDMI)の操作対象になります。 	接続ガイド 5
プレーヤー	HDMIケーブル [HDMI 1]		
パソコン	(ポータブルプレーヤーは [HDMI 2])		

■HDMI端子について

- HDMI端子とは、テレビと接続機器のデジタル映像／音声信号を直接つなぐインターフェイスです。
- HDMI端子とテレビを1本のケーブルで接続するだけで、高画質な映像とデジタル音声をお楽しみいただけます。アナログ音声をお使いになる場合、HDMI2とビデオ入力2の音声入力端子に接続し、「HDMI音声入力設定」(ガイド822)が必要です。
- 対応している映像信号
480i、480p、720p、1080i、1080p
(24 Hz/59.94 Hz/60 Hz)
- 対応している音声信号
種類：リニアPCM
サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/
32 kHz

ビエラリンク(HDMI)が正しく動作しないときは

接続した機器を取り換えたり、接続・設定を変更したときなどは、本機が接続されている機器を正しく認識しない場合があります。

HDMIケーブルが正しく接続されていることを確認のうえ、下記の操作をしてください。

- ①すべての接続機器の電源を入れた状態で、本体の電源ボタンで電源を入れ直す
- ② を押して、接続・設定を変更したHDMI入力ごとに映像を確認する
- ③本機のリモコンで機器を操作してみる (ガイド550)

お好みで設定できます「ビエラリンク(HDMI)設定」(ガイド801)

- 電源オン連動
ディーガなどの操作に連動して本機の電源を入れます。
- 電源オフ連動
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の電源を切れます。
- ECOスタンバイ
本機の電源をリモコンで「切」にしたとき、機器の消費電力を最小にします。
- こまめにオフ
使わないときに、機器の電源を個別に自動的に切れます。
- 電源オン時の音声出力
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、シアターに音声を出力します。
- ケーブルテレビ電源オン連動
本機の電源をリモコンで「入」にしたとき、CATVデジタルSTBの電源を入れます。
- ディーガの操作
ディーガ視聴中、本機のリモコンで操作できるボタンを増やします。
- テスト(ディーガ電源オン／ディーガ電源オフ)
ディーガの動作を確認できます。
- メニュー表示方法
「ビエラリンクメニュー」の表示形式を変更します。

お知らせ

- ビエラリンク(HDMI)で本機とシアターを接続時、ビエラリンク(HDMI)で接続した他の機器からの音声が5.1chのときは、本機のデジタル音声出力(光)端子とHDMI 1端子(ARC対応)より5.1chで出力します。(ディーガはビエラリンクVer.2、ビエラリンク(HDMI)Ver.3以上に対応している機種のみ対応)

外部機器の接続・設定(つづき)

ビエラリンク(HDMI)非対応機器			
接続する機器	ケーブル [接続する端子]	注意事項	参照
オーディオ機器	光デジタルケーブル [デジタル音声出力(光)] ●折り曲げないでください。	●デジタル音声入力(光)端子を持ち、PCMまたはAAC、ドルビーデジタル対応のアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のオーディオ機器に対応しています。 ●ドルビーデジタルやAAC対応のときは「デジタル音声出力」の設定が必要です。(?ガイド823)	接続ガイド 6
DVDプレーヤーなどの再生機器	D端子付き D端子映像コード[D4映像入力] ステレオ音声コード[ビデオ入力1]		
	D端子なし S映像コード[S2映像入力] 映像/音声コード[ビデオ入力2]	●機器にS映像端子がないときは、映像コードを接続してください。	接続ガイド 7
	HDMI対応 HDMIケーブル [HDMI 1~2(DVI対応機器は2)]	●HDMI端子について(76ページ) ●DVI対応機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルを使い、ビデオ入力2の音声入力端子にステレオ音声コードを接続し、「HDMI音声入力設定」(ガイド822)を行ってください。	
パソコン	ミニD-sub15Pケーブル[パソコン入力] 音声コード(音声出力があるとき) [ビデオ入力3]	●本機が対応しているパソコン信号 (?ガイド112)	接続ガイド 8
ビデオカメラ デジタルカメラ	映像/音声コード [ビデオ入力3]	●専用ケーブルが必要な場合があります。	接続ガイド 9

お好みで設定できます

- HDMI RGBレンジ設定
(?ガイド822)
HDMI端子から入力された映像の暗い部分を見やすく設定します。
- HDMI画質運動設定
(?ガイド822)
HDMI端子から入力された映像に合わせて、画質を調整します。
- HDMI音声入力設定
(?ガイド822)
DVI対応機器でビデオ入力2の音声入力端子に接続したとき、アナログ音声が楽しめます。
- ビデオ入力表示書換
(?ガイド823)
「入力切換」ボタンで選ぶ端子名を、機器に合わせて変えます。
- デジタル音声出力
(?ガイド823)
ドルビーデジタル、AAC対応のオーディオ機器を接続したとき、出力の種類を選びます。
- 入力自動スキップ
(?ガイド823)
「入力切換」ボタンで選ぶとき、接続していない端子を飛ばします。
- PCスキップ
(?ガイド823)
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「PC」を飛ばします。設定後にパソコンを接続したときは、「オフ」に戻してください。
- HDMIスキップ
(?ガイド823)
「入力切換」ボタンで選ぶとき、「HDMI」を飛ばします。設定後にHDMI対応機器を接続したときは、「オフ」に戻してください。

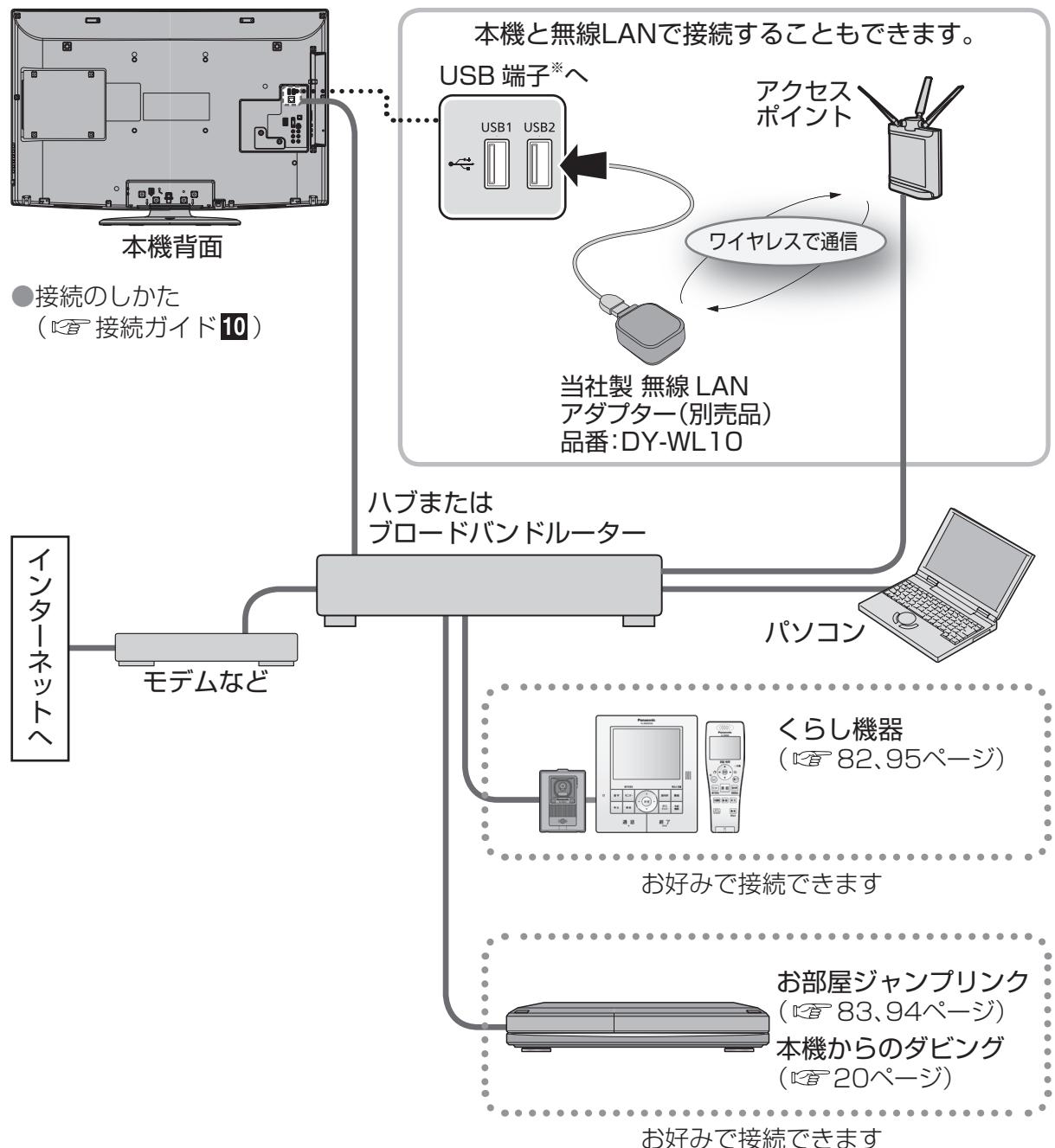
■ビデオ入力端子について

- 背面 : ビデオ入力1~2
左側面 : ビデオ入力3
- DVDプレーヤーなどの映像と音声の出力端子に接続します。
- S2映像入力端子(ビデオ入力2のみ)
●「映像」入力端子よりも、色のにじみが少なく、高画質に再生できます。
- 再生機器の「S」「S1」「S2」出力端子と接続します。
• S端子 : 色のにじみが少ない
• S1端子 : Sにワイドテレビ対応を追加
• S2端子 : S1にワイドクリアビジョン対応を追加
- 「S2映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「S2映像」の画像が優先されます。
- 「S2映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。
- D4映像入力端子(ビデオ入力1のみ)
●「S2映像」入力端子よりも、さらに色のにじみが少なく高画質に再生できます。
- DVDプレーヤーなどの「D1~D4映像」出力のいずれかの端子と接続してください。
- ビデオデッキなどの「Y,P_B,P_R」「Y,C_B,C_R」「Y,B-Y,R-Y」などの出力端子とはD端子一ピン映像コード(RP-CVCDG15:別売品)で接続できます。
- 対応している信号 : 480i,480p,720p,1080i
- 「D4映像」入力端子と「映像」入力端子を両方接続すると、「D4映像」の画像が優先されます。
- 「D4映像」入力端子に接続するときは、音声入力端子にも同時に接続してください。

ネットワーク機器の接続・設定

電子説明書の使いかた
(6ページ)

ネットワーク機器を接続するときの一例



※USB端子について

- 当社製無線LANアダプターなど、本機に対応する機器の接続用です。本機に対応していない機器やハブを接続しないでください。
- なお、本機に対応した機器については、以下のホームページでご覧になれます。(2010年5月現在)
<http://panasonic.jp/support/tv/> を開く。「動作確認情報一覧」→「VIERA「液晶テレビ」」→「TH-〇〇〇」の接続検証」から機器を選ぶ。
- USB端子に機器を接続したり、USB端子から機器を外すときは、本体の電源を「切」にしてから行ってください。

テレビでネット(インターネット)

接続後の設定

■かんたんネットワーク設定

- 42ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。
- 個別に設定するとき: IPアドレス/DNS設定(ガイド753)、プロキシサーバー設定(ガイド768)、無線LANの設定(ガイド763)

お知らせ

- 光ファイバー(FTTH)、CATVなどのブロードバンド環境が必要です。プロバイダーや回線業者と別途ご契約(有料)していただく場合があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。
- プロバイダーや回線業者、モデル、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
- 電話用のモジュラーケーブルを、LAN端子に接続しないでください。故障の原因になります。
- ハブまたはブロードバンドルーターは、10BASE-T、100BASE-TXに対応のものをご使用ください。
- 100BASE-TX用の機器を使用する場合は「カテゴリ5」以上のLANケーブルをご使用ください。
- アクティビラの動画コンテンツを視聴するときは、光ファイバー(FTTH)でのブロードバンド環境が必要です。
- 100BASE-TX対応のハブまたはブロードバンドルーターをご使用ください。
- PLCを使わずにLANケーブルまたは別売の無線LANアダプターでのご使用をおすすめします。
- 本機ではインターネット(LAN)接続機器などの設定はできません。パソコンなどでの設定が必要な場合があります。
- 本機に接続したDHCPでのIPアドレス自動取得が使えるブロードバンドルーターの電源を一度切ると、各機器に割り当てられるIPアドレスが停止して、電源を再び入れても、各機器間の通信ができなくなることがあります。本機をご使用中は、ハブまたはブロードバンドルーターの電源を切らないでください。
- 本機にDHCPでのIPアドレス自動取得が使えないハブを経由して、各機器を接続しているとき、本機の電源を「入」にした直後は、各機器との通信に失敗することがあります。時間をおいて(約3分間)再度試してください。
- SDメモリーカード挿入口に、無線LAN対応カードを接続しても使えません。
- 本機のMACアドレスを確認する。 ガイド753

■無線LANについて

- 本機との接続に対応した無線LANアダプターとアクセスポイントが別途必要です。対応した無線LANアダプターについては、以下のホームページでご覧になれます。(2010年5月現在)
<http://panasonic.jp/support/tv/> を開く。「動作確認情報一覧」→「VIERA「液晶テレビ」」→「TH-〇〇〇」の接続検証」から無線LANアダプターを選ぶ。
 - アクセスポイントはAOSSTMかWPS^{*}対応であることをご確認ください。(AOSSTM、WPSに対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要になります。)詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
 - 無線LANアダプターとアクセスポイント間の無線方式は、11n(5 GHz)を推奨します。11a、11b、11g、11n(2.4 GHz)でも通信できますが、通信速度が遅くなることがあります。
 - アクセスポイントの無線方式を切り換えた場合は、無線LANで接続できていた機器(パソコンなど)が接続できなくなることがあります。
 - 無線LANアダプターはUSB延長ケーブルでの接続を推奨します。
 - 無線LANアダプターは良好な電波状態が確保できる場所に設置してください。
 - 通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。
 - 無線LANのセキュリティ設定(暗号化設定)を行っていない場合、本機の内蔵ハードディスクから無線LANを経由してのダビングはできません。
 - 電波を使う機器から離してください。電波の干渉による悪影響を防止するため、次の機器からできるだけ離してください。
 - 電子レンジ
 - 他の無線LAN機器
 - Bluetooth[®] 対応機器
 - その他2.4 GHz、5 GHzの電波を使用する機器(デジタルコードレス電話、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など)
- *「WPS」は「Wi-Fi Protected SetupTM」の略です。

ネットワーク機器の接続・設定

(つづき)

くらし機器		
接続する機器	特長／対応機種品番	参照
当社製 テレビドアホン	<ul style="list-style-type: none"> 本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。 <p>ワイヤレスモニター付 VL-SWN350KL VL-SWN352KL パーソナルファクス付 VL-SWN355KL</p>	接続 ガイド 10
当社製 センサーカメラ	<ul style="list-style-type: none"> デジタルビデオカメラなどにセンサーを搭載し、反応したときに撮影します。 本機に接続すると、テレビ画面に画像を表示して、屋外や離れた部屋の様子を確認できます。 <p>センサーカメラ VL-CM100 H.264対応センサーカメラ VL-CM210、VL-CM240、VL-CM260</p>	
当社製 ドアホン用 PLCアダプター	<ul style="list-style-type: none"> 本機とテレビドアホンをPLCアダプターを利用して接続すると、テレビドアホンからの画像をテレビ画面に表示します。 PLCとは、既存の電力線(屋内電気配線)を利用して、データ通信を行う新しい技術です。 電力線の使用状態によっては、使用できないまたは、通信が不安定なコンセントがあります。 <p>ドアホン用PLCアダプター VL-SP880 ※対応するテレビドアホンはドアホン用PLCアダプターの取扱説明書をご覧ください。</p>	
パナソニック 株式会社 電工	<ul style="list-style-type: none"> 本機に接続すると、呼び出し時に通知や画像をテレビ画面に表示して、来客を確認できます。 「ライフニティ」とは、住戸内の各設備機器をLANで接続することで実現する、安心・便利なくらしの形です。 <p>対応機器の詳細については http://panasonic.jp/Lifをご覧ください。</p>	

●上記の品番は2010年5月現在発売中のものです。

接続後の設定

かんたんネットワーク設定

- 42ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。(80ページで「テレビでネット(インターネット)」とくらし機器を同時に接続し、すでに設定している場合、本設定は必要ありません。)
- 個別に設定するとき：くらし機器を有効にする(?)ガイド773
ビエラリンクメニューに表示する(?)ガイド778

くらし機器映像の自動表示(?)ガイド773

呼び出し時に、自動で画像を表示したいとき。

通知時の表示サイズ(?)ガイド773

呼び出し時の画像の表示サイズを選びたいとき。

通知表示設定(?)ガイド773

ドアホン来客時やセンサーカメラ検知時に、通知を受けたいとき。

お部屋ジャンプリンク		
接続する機器	特長／対応機種	参照
ディーガ	<ul style="list-style-type: none"> 本機にLANケーブルで接続すると、ディーガのハードディスクに保存した映像などを本機で再生できます。また、録画予約情報をディーガに転送できます。 <p>対応する機種については、以下のホームページでご覧になれます。(2010年5月現在) http://panasonic.jp/support/を開く。 「お部屋ジャンプリンク」を選ぶ。</p>	接続 ガイド 10

接続後の設定

かんたんネットワーク設定

- 42ページの手順4で「かんたんネットワーク設定」を選び、「決定」を3秒以上押して画面の指示に従って操作する。(80ページで「テレビでネット(インターネット)」とディーガ(お部屋ジャンプリンク)を同時に接続し、すでに設定している場合、本設定は必要ありません。)
- 個別に設定するとき：お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定(?)ガイド793

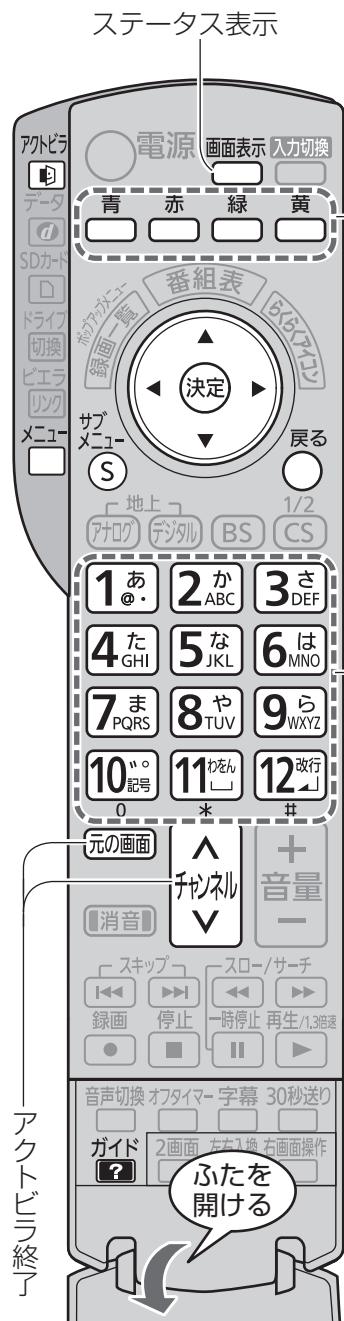
※ディーガ側の設定も必要です。

詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。

インターネットを使う(アクトビラ)

まず、ご確認を。

- 接続はお済みですか?
( 10)
- かんたんネットワーク
設定はお済みですか?
(

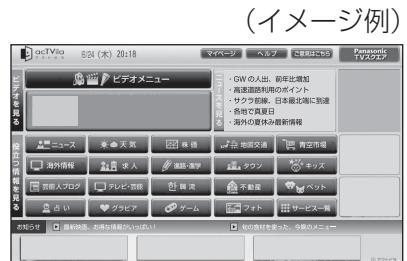


アクトビラの基本操作

1 「アクトビラ」を押す アクトビラ



- ポータルサイトを
表示。



2 見たい項目を選び、 「決定」を押す



- ①と②を繰り返し、
見たい情報の
ホームページへ。

選んでいる項目が
強調される



- ポータルサイトに戻るとき
アクトビラ
を押す。
- 終了するとき  または 
(テレビ画面に戻る)

初めて使うときは

アクトビラ
を押すと端末情報が送信されます。

- 長期間ポータルサイトを表示しなかったときも、ご案内画面が表示されることがあります。
- 端末情報は、郵便番号(かんたん設置設定で登録)や端末の識別ID(本機に組み込まれた番号)が含まれます。

■画面の見かた



ネット操作パネル()を押すと表示 

■動画コンテンツについて

- 有料サービスの場合があります。
- ご利用環境・通信速度などにより、映像が乱れたり途切れる場合があります。
- 購入履歴など個人情報の削除は「個人情報リセット」()

■ページの音声再生について(音声コンテンツがある場合)

- モノラルで再生されます。動画コンテンツは、コンテンツの音声形式に従って再生されます。
- 再生できる音声形式は ()

■個人情報について

- クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信用できるか十分注意してください。
- 登録した情報は、ホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合は登録時の規約などに従って、必ず消去してください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

■表示させるホームページを制限したいとき(パスワードロック機能)

- ①「メニュー」を押す。
- ②▲▼で「設定する」を選び、「決定」を押す。
- ③▲▼で「システム設定」を選び、「決定」を押す。
- ④▲▼で「制限項目設定」を選び、「決定」を押す。
- ⑤暗証番号を入力する。()
- ⑥▲▼で「ブラウザ制限」を選び、◀▶で下記の制限内容を選ぶ。

すべて制限 インターネットの利用に暗証番号の入力が必要

アドレス入力制限 アドレス入力に暗証番号の入力が必要

無制限 接続制限なし(暗証番号の入力が不要)

- ⑦「元の画面」を押して、テレビ画面に戻す。
(設定内容は、一度アクトビラを終了しないと反映されません)

 電子説明書の使いかた()
※「アクトビラ」中は表示できません。

ステータス表示 (画面表示
 を押すと表示)



ページの読み込み状況
(読み込みに時間がかかる場合があります)

ページのセキュリティ

 : 通常

 : セキュリティで保護

文字を入力する(クトビラ)

文字入力方法には2種類あります。

リモコンボタン(携帯電話)方法(工場出荷時)



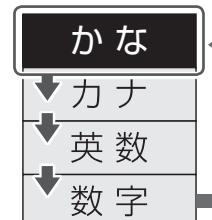
リモコンの数字ボタンを使い、携帯電話と同じような操作で入力します。

●文字入力一覧表(91ページ)

例:「映画」と入力するとき

入力文字を切り換える → 入力する

① 緑ボタンを押す。



●押すたびに切り換わる。

② 決定ボタンを押す。

1あ. (4回) 1あ. (2回) 2か ABC (1回) 10記号 (1回)

変換するとき → 確定する



▲▼で漢字を選ぶ。

●同じボタンの文字を

続けて入力するには、
▶でカーソルを右へ
移動させる。

▲▼で漢字を選ぶ。

●同じボタンの文字を

続けて入力するには、

▶でカーソルを右へ

移動させる。

■文節を分けて変換するとき

▲▼で変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 えいが

■記号を入力するとき

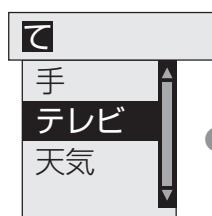
「きごう」と入力して▲▼を押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき

(「予測方式」/「通常方式」の切り換えは90ページ)

① 1文字入力すると候補を表示。

② ▼▲で選び、「決定」を押す。



●「緑」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき

英数モード(半角)で入力し、▲▼で変換する。

■文字を追加するとき 追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、文字を入力する。

■文字を削除するとき 削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

画面キーボード方法(文字入力方法の選択は90ページ)



改行	やあわらやまはなたさかあ
空白	「ゆいをりゆみひにちしきい
キーボード移動	ようんるよむふぬつすくう
入力位置移動	!つえ、れでめへねてせけえ
	?わお。ろ。もほのとそこお

かな
赤
緑
黄
文字クリア

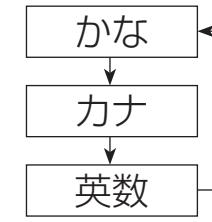
画面上にキーボードを表示して
◀▶▲▼で文字や項目を選び、
入力します。

●キーボードを消すときは、
「赤」ボタンを押す。

●キーボードの位置を移動させるときは、
◀▶▲▼で「キーボード移動」を選び、「決定」を押す。
(左下または右上に移動)

入力文字を切り換える → 入力する → 変換するとき → 終了する

緑ボタンを押す。



●押すたびにキーボードが切り換わる。

① 決定ボタンを押す。
で、キーボードから選ぶ。

② 決定ボタンを押す。

青ボタンを押して
▲▼で漢字選び、「決定」を押す。

赤ボタンを押す。
●キーボードが消える。



●変換しないとき
赤ボタンを押す。

■文節を分けて変換するとき

「青」ボタンで変換中に◀▶で文節を切り換え、▲▼で変換する。 えいが

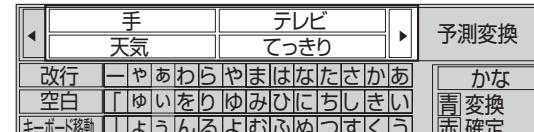
■記号を入力するとき

「きごう」と入力して「青」ボタンを押し、▲▼で記号を選び、「決定」を押す。

■「予測方式」のとき(「予測方式」/「通常方式」の切り換えは90ページ)

① 文字を選び、「決定」を押すと、
キーボード上に候補を表示。

② ◀▶▲▼で選び、「決定」を押す。



●「青」ボタンを押すと、一時的に通常方式の変換に戻る。

■全角の英数字を入力するとき

英数モード(半角)で入力し、「青」ボタンを押して変換する。

■文字を追加するとき ① キーボードの「入力位置移動」を選び、「決定」を押す。

② 追加する位置に◀▶でカーソルを移動させて、「決定」を押す。

③ 文字を入力する。

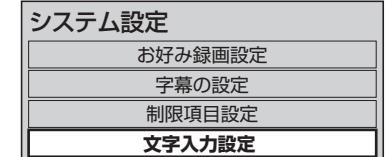
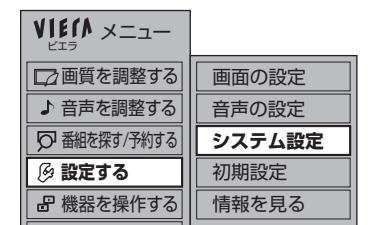
■文字を削除するとき 上記「文字を追加するとき」①のあと、削除する文字の左側に◀▶でカーソルを移動させて、「黄」ボタンを押す。

文字を入力する(クトビラ)

文字を入力する(クトビラ)

文字入力方法を選ぶ

- ① メニューを押す
- ② ▲▼で「設定する」選び、「決定」を押す
- ③ ▲▼で「システム設定」選び、「決定」を押す
- ④ ▲▼で「文字入力設定」選び、「決定」を押す
- ⑤ ▲▼で「入力方法」選び、◀▶で「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選ぶ

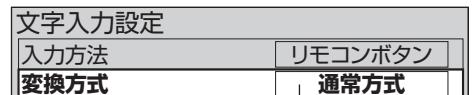
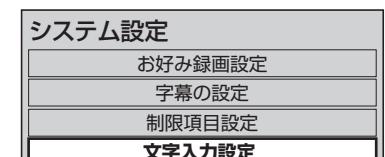
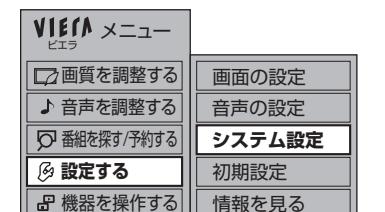


(終わったら戻る) を数回押す

画面上にキーボードを表示させて入力したいときは「画面キーボード」を選ぶ(☞89ページ)

変換方式を選ぶ

- ① メニューを押す
- ② ▲▼で「設定する」選び、「決定」を押す
- ③ ▲▼で「システム設定」選び、「決定」を押す
- ④ ▲▼で「文字入力設定」選び、「決定」を押す
- ⑤ ▲▼で「変換方式」選び、◀▶で「通常方式」または「予測方式」を選ぶ



(終わったら戻る) を数回押す

1文字の入力で変換候補を表示したいときは「予測方式」を選ぶ
(☞88,89ページ)

リモコンボタン方法での文字入力一覧表

ボタン	かな					カナ					英数					数字	
1 _あ	あ	い	う	え	お	あ	い	う	え	お	1	アイ	ウ	エ	オ	1	
2 _か	か	き	く	け	こ	2					2	カ	キ	ク	ケ	コ	2
3 _さ	さ	し	す	せ	そ	3					3	サ	シ	ス	セ	ソ	3
4 _た	た	ち	つ	て	と	つ	4				4	タ	チ	ツ	テ	ト	ツ
5 _な	な	に	ぬ	ね	の	5					5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	5
6 _は	は	ひ	ふ	ふ	へ	ほ	6				6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	6
7 _ま	ま	み	む	め	も	7					7	マ	ミ	ム	メ	モ	7
8 _や	や	ゆ	よ	や	ゆ	よ	8				8	ヤ	ユ	ヨ	ヤ	ユ	ヨ
9 _ら	ら	り	り	る	れ	ろ	9				9	ラ	リ	ル	レ	ロ	9
10 _{記号}	、	。	？	！	・	()	0				0	、	。	？	！	・	0
11 _{記号}	わ	を	ん	わ	ー	ス	ペ				*	ワ	ヲ	ン	ワ	ー	スペ
12 _{改行}	改行					改行					#	改行					

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。(例:「い」を入力するときは **1_あ** を2回押す)
未確定の文字があるときに **12_{改行}** を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 濁点(‘)や半濁点(‘)を入力するときは、文字に続けて **10_{記号}** を押す。

文字を入力する(ブルーレイディスク)

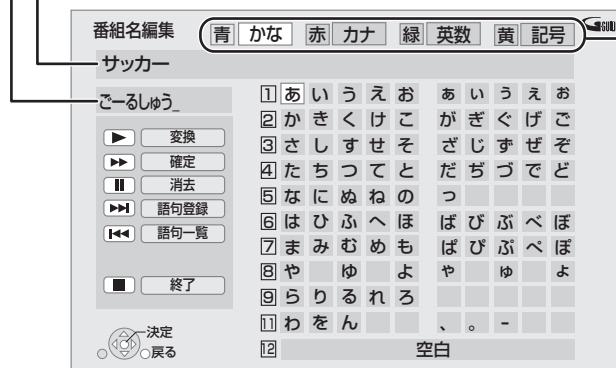
番組名、ディスク名などを入力するとき

ブルーレイディスクの番組名やディスクの名前を入力できます。

- 番組名を編集する(☞ 55ページ)
- ディスクの名前を入力する(☞ 72ページ)

文字変換表示欄(確定前の文字)

確定文字表示欄(確定後の文字)



画面上にキーボードを表示して◀▶▲▼で文字や項目を選び、入力します。

入力文字を切り換える → 入力する

青 赤 緑 黄 で
文字の種類を選び、
①決定を押す。

●漢字を入力する
場合、まず「かな」を
選びます。

①で、キーボード
から選ぶ。
②決定を押す。

●この手順を繰り返し、
文字を入力します。

変換するとき → 終了する

再生/13倍速
①▶を押して、
▲▼で漢字を選び、
「決定」を押す。
●JIS第1水準の
漢字コードのみ
入力可能。

①停止を押す。
②「保存」を選び、
「決定」を押す。
●キーが消える。

変換しないとき

戻る
○を押す。

■リモコンの数字ボタン 1 あ. ~ 9 ら. 、 11 わん. 、 12 改行 でも文字を入力できます

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ①「3」を押す
●「さ」行に移動します。
- ②「3」を2回押し、「決定」を押す
●「す」が文字変換表示欄に表示されます。



■ひらがなを確定するとき

▶を押す。

■文字を削除するとき

一時停止
IIを押す。

■よく使う語句の登録/呼び出し/削除

●語句を登録する

- ①語句を入力したあと、▶を押す。
- ②「登録」を選び、「決定」を押す。

●語句を呼び出す

- ①◀を押す。
- ②語句を選び、「決定」を押す。

●語句の削除

- ①▶を押す
- ②語句を選び、「サブメニュー」を押す。
- ③「語句消去」を選び、「決定」を押す。
- ④「消去」を選び、「決定」を押す。

お部屋ジャンプリンクを使う

対応機種：お部屋ジャンプリンクに対応した当社製ディーガ

まず、ご確認を。

- 接続はお済みですか？
( 10)
- かんたんネットワーク
設定はお済みですか？
( 42ページ)



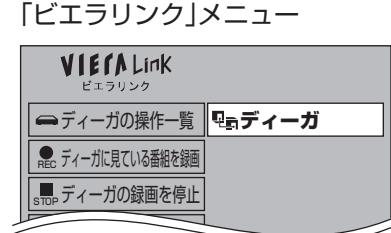
録画予約について( 251)

ディーガの映像を再生する

- ディーガに保存している映像を再生するには、まず本機とディーガの両方で登録をしてください。 793
ディーガへの登録や再生についてはディーガの取扱説明書をご覧ください。

1 ビエラ「ビエラリンク」を押す


2 「ディーガ」を選択し、「決定」を押す



- 選択したディーガの画面を表示します。
 - 以降の操作はディーガの取扱説明書をご覧ください。
- (終わったら  を押す)

お知らせ

- 1台のディーガにお部屋ジャンプリンクとビエラリンク(HDMI)設定の両方を設定した場合、ビエラリンク(HDMI)でのみ操作できます。
- 「ビエラリンク」メニューに表示される名称は、ディーガ側で設定できます。詳しくはディーガの取扱説明書をご覧ください。
- お部屋ジャンプリンクで再生できるコンテンツについては、以下のホームページでご覧になります。(2010年5月現在)
<http://panasonic.jp/support/>を開く。
「お部屋ジャンプリンク」→接続サポート情報の「再生コンテンツ対応表」を選ぶ。
(無線LAN接続の場合、暗号化設定をしていないときは、再生できないコンテンツがあります。)
- 映像を視聴中に「サブメニュー」ボタンを押すと、再生操作パネルが表示されます。
- 本機とディーガ間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。

くらし機器を使う



電子説明書の使いかた
( 6ページ)

くらし機器からの通知を受ける

- テレビドアホンなどからの通知が表示されたら「決定」を押す



- 「くらし機器映像の自動表示」を「する」に設定していると、自動的に画像を表示します。 773

例: テレビドアホン



通知



くらし機器の画像を表示
(「決定」を押すと拡大)

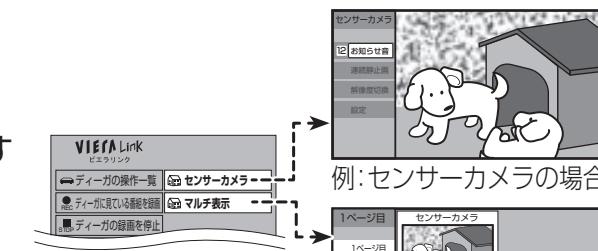
確認したら  を押す

- 「戻る」を押さなかったときは、最大3分以内に表示が消えます。

くらし機器の画像を見る

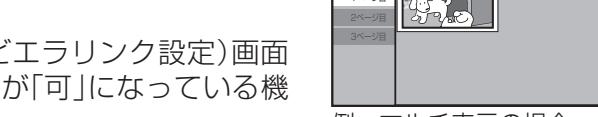
1 ビエラ「ビエラリンク」を押す


2 くらし機器を選び、「決定」を押す



- マルチ表示は、くらし機器一覧(ビエラリンク設定)画面( 782)で「マルチ表示」が「可」になっている機器のみです。
- 以降の操作は各くらし機器の取扱説明書をご覧ください。
(終わったら  を押す)

例: センサーカメラの場合



例: マルチ表示の場合

●選択したくらし機器の画像を表示します。

くらし機器からの通知や画像について

- 約1秒ごとに更新しながら画像が表示されます。(動画ではありません)
H.264対応センサーcameraの場合は、全画面表示中は動画と音声が出ます。
- ネットワークの状態や設定によって正常に動作しない場合があります。また、長時間連続で、くらし機器からの映像を再生した場合は、ネットワークの状態などによって途中で動画/画像が止まる場合があります。
- 本機からの応答はできません。
- 画像の表示中は、チャンネルや入力の切り換え、メニュー操作はできません。
- 本機の電源を入れた直後は、通知や画像が表示されないことがあります。
約1分(DHCP機能付きのルーターを使用していないときは約3分)お待ちください。
- 「通知時の表示サイズ」を「全画面」に設定時は、画面全体に拡大して表示されます。 773
- 2画面での視聴中にくらし機器からの動画/画像を表示すると、1画面になります。
- ドアホン側で応答したときは、ドアホンから送られてくる画像が消え、元の画面に戻ります。
- 以下の場合、くらし機器の画像を確認したあとに「戻る」を押すと、テレビ画面に戻ります。
 - 内蔵ハードディスク再生中
 - 番組表表示中
 - 「テレビでネット(インターネット)」使用中
 - お部屋ジャンプリンク視聴中
 - SDメモリーカードの動画や画像表示中
 - データ放送表示中
 - ブルーレイディスク/DVDディスク再生中

お部屋ジャンプリンクを使う

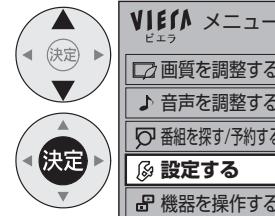
95

メニュー一覧

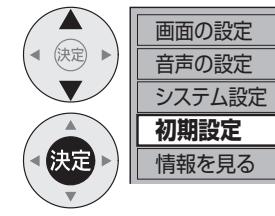
操作のしかた

例:「接続機器関連設定」

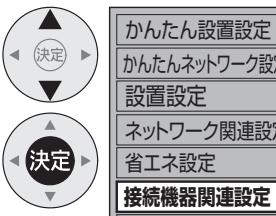
メニューを押す → 「設定する」を選び、
「決定」を押す



「初期設定」を選び、
「決定」を押す



「接続機器関連設定」
を選び、「決定」を押す



メニュー	内容	参照
画質を調整する	番組に合わせて、画質をお好みで調整する。 (映像メニュー・バックライト・ピクチャー・黒レベル・色の濃さ・色あい・シャープネス・液晶AI・色温度・ビビッド・超解像・NR・HDオプティマイザー・エコナビ・明るさオート・テクニカル)	③301
音声を調整する	番組に合わせて、音声をお好みで調整する。 (音声メニュー・バス・トレブル・バランス・サラウンド・音量オート・イコライザー・低音補正・音量補正)	③311
番組を探す/予約する	見たい番組を探したり、録画予約する。 (番組表で・注目番組一覧・今放送中から・ジャンル別に・キーワードで・人名で・時間指定予約で・予約一覧)	③405
設定する		
画面の設定	画面の垂直(上下)の位置やサイズを微調整する。 (垂直位置/サイズ[PC画面調整]・水平表示領域・HD表示領域・セルフワイド・ID-1検出・ED2検出・3次元Y/C分離・480p色マトリックス・サイドカット固定・デジタルシネマリアリティ・Wスピード)	③360
音声の設定	イヤホンの音声、2画面の音声、音声ガイドの設定をする。 (スピーカーとイヤホン音声の同時出力・ヘッドホン/イヤホン音量・音声出力・音声ガイドの設定)	③365 ③411
システム設定		
お好み録画設定	ジャンルや人名、録画する時間帯などを指定して、お好みの番組を自動で録画する。	③380
字幕の設定	字幕や文字スーパーを表示する。 (字幕・字幕言語・文字スーパー・文字スーパー言語)	③380
制限項目設定	視聴できる番組や、「テレビでネット(インターネット)」で表示するホームページを制限する。 (視聴可能年齢・ブラウザ制限・暗証番号変更・暗証番号削除)	③397
文字入力設定	文字入力の方法を選ぶ。(入力方法・変換方式)	90ページ
選局対象	チャンネル順送りボタンで表示できるチャンネルを選ぶ。	③380
右画面操作	2画面のとき、右画面操作の状態を継続する。	③380
タイトル表示	選局時に、番組のタイトルを表示する。	③385
時計表示	画面に時刻を表示する。	③385
表示の設定	メニューの表示のしかたを選ぶ。(アニメーション)	③385
録画・視聴設定	次回以降の放送を自動的に予約したり、録画に関する設定を行う。(探して毎回予約、録画ボタン設定、録画番組の自動消去、オートチャプター、ワンセグ同時録画設定)	③348

ガイド
? と3桁の数字(リモコンの数字ボタン)を押すと、電子説明書をテレビ画面に表示します。

メニュー	内容	参照
設定する(つづき)		
初期設定		
かんたん設置設定 (「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、設置設定を画面に従って順にやり直す。	42ページ
かんたん ネットワーク設定 (「決定」を3秒以上押す)	引っ越したときなど、ネットワーク設定を画面に従って順にやり直す。	42ページ
設置設定 (「決定」を3秒以上押す)	受信する放送局の修正やアンテナレベルの調整などを行う。 (受信対象設定・チャンネル設定・番組表設定・地域設定・受信設定・クイックスタート・B-CASカードテスト)	③703
ネットワーク関連設定 (「決定」を3秒以上押す)	ネットワーク機器を接続するときの設定を行う。 [LAN接続形態・アクセスポイント接続設定・IPアドレス/DNS設定・プロキシサーバー設定・お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定・くらし機器設定]	③798
省エネ設定	使わないときに自動的に電源を切る。 (無信号自動オフ・無操作自動オフ・HDD/BD機能待機)	③350
接続機器関連設定	ビエラリンク(HDMI)対応機器や外部機器を接続したときの設定を行う。 [ビエラリンク(HDMI)設定・HDMI RGBレンジ設定・HDMI画質運動設定・HDMI音声入力設定・ビデオ入力表示書換・デジタル音声出力・入力自動スキップ・PCスキップ・HDMIスキップ]	76ページ ③822 ③823
自動更新設定	デジタル放送からの情報ダウンロードの方法を選んだり、ソフトウェアの更新確認を行う。 (放送ダウンロード予約・ソフトウェアの更新通知・ソフトウェアの更新確認)	③750
設定リセット (「決定」を3秒以上押す)	本機の個人情報や内蔵ハードディスク、SDメモリーカードのデータを削除する。 (個人情報リセット・HDDのフォーマット・SDカードのフォーマット)	③742
情報を見る	デジタル放送からのお知らせや、本機の情報などを見る。 (放送メール・B-CASカード・ID表示・ボード・ダビング履歴)	③160

(次ページへつづく)

メニュー一覧 (つづき)

メニュー	内容	参照
機器を操作する		
ビエラリンク	<p>ディーガの操作一覧</p> <p>ディーガに見ている番組を録画</p> <p>ディーガの録画を停止</p> <p>音声をシアターから出す</p> <p>シアターサウンドを切り換える</p> <p>本機のリモコンで、ビエラリンク対応機器を操作する。</p> <p>●接続している機器・設定によって、表示内容が変わります。</p> <p>●ビエラ リンク でも表示できます。</p>	②480
SDカード	<p>スライドショー開始</p> <p>写真を見る</p> <p>ビデオ一覧を見る</p> <p>持ち出せる番組一覧</p> <p>持ち出した番組一覧</p> <p>SDメモリーカードに保存したデータを見る。</p> <p>●SDカード でも表示できます。</p> <p>内蔵ハードディスクに保存したワンセグ放送の番組一覧を見る。</p> <p>SDメモリーカードにダビングしたワンセグ放送の番組一覧を見る。</p>	②886 ②580 ②172 ②136
HDD	内蔵ハードディスクに録画した番組の一覧を見る。	55ページ ②605
BD/DVD	<p>ディスクに記録された番組の一覧を見る。(録画一覧)</p> <p>ディスクに記録された写真を見る。(写真を見る)</p> <p>他の機器で作成したディスクのプレイリストを再生する。(プレイリスト再生)</p>	55ページ ②910 59ページ ②887 58ページ ②897
BD/DVDの設定	ブルーレイディスクのフォーマットや番組の消去、ディスクを再生するときの設定を行う。 (BD管理・BD/DVD初期設定・BDビデオデータ消去)	72~74 ページ ②905 ②922 ②939
放送メール	未読の情報があるときのみ表示。	②160
ネットで 使い方ガイド	インターネット上の使い方ガイドを見る。 (「テレビでネット(インターネット)」の接続とIPアドレス/DNS設定が必要)	②201
画面モード設定	<p>画面サイズを選ぶ。</p> <p>●ハイビジョン映像の場合 (フル、サイドカットセルフワイド、サイドカットノーマル、サイドカットジャスト、サイドカットズーム、サイドカットフル)</p> <p>●ハイビジョン映像以外の場合 (セルフワイド、ノーマル、ジャスト、ズーム、フル)</p>	②921
オンタイマー	タイマーで自動的に電源を入れる。 (オンタイマー「切」「入」、時刻、音量、放送/入力、チャンネル)	②357

故障かな!?



電子説明書の使いかた
(②6ページ)

電子説明書の「困ったとき」もあわせてご覧ください。

● 映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった

- ・本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。何かおかしいと感じられたときは、一度テレビ本体の電源ボタンで「切」にし、電源ランプが消えたことを確認してから再度電源を「入」にしてください。

※リモコンの電源ボタンではなく、必ず本体の電源ボタンで「切」「入」してください。

● 電源が入らない

- ・電源プラグがコンセントから抜けていませんか? (②38ページ)
- ・リモコンの場合は、テレビ本体の電源が「入」になっていますか? (②26ページ)

● 電源ランプが点滅する

- ・故障の可能性があります。販売店または116ページの連絡先にご相談ください。

● リモコンで操作できない

- ・チャンネルボタンを押したとき、リモコンの放送切換ボタンが点滅していますか? (②27ページ)
- ・電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか? (②27ページ)
- ・リモコン受信部に蛍光灯の光など強い照明が当たっていますか? (②26ページ)
- ・受信異常により、本機の操作ができなくなる場合があります。
→本体の電源を「切」にし、再度「入」してください。 (②26ページ)

● 音声ガイドが実際と異なる読み上げを行う

- ・実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

● 「テレビでネット(インターネット)」に接続できない

- ・有線、無線の切り替えはできていますか? (②ガイド763)
- ・設定した無線LANアダプターを外して、別の無線LANアダプターを接続したときは、再度設定してください。

● 無線方式11n(5GHz)対応のアクセスポイントを使用時、映像が途切れたり、接続が切れる

- ・アクセスポイントの無線方式を11n(5GHz)に設定していますか?
(詳しくはアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。)
- ・電波を使う機器が近くにないか、確認してください。
(電子レンジ、デジタルコードレス電話機など)

● ディスクが再生できない

- ・内蔵ハードディスクに録画モード「標準」以外で録画しているときは、ディスクは再生できません。また、ディスクを再生しているときに、録画モード「標準」以外の予約録画が始まるとディスクの再生は終了します。

● ブルーレイディスクにダビングできない

- ・信号面に指紋や汚れが付着していないことを確認してください。
(ディスクの取り扱いについて ②106ページ)
- ・内蔵ハードディスクに録画中はダビングできません。

● 内蔵ハードディスクまたはブルーレイディスクドライブの機能がすべて使えない

- ・内蔵ハードディスクやブルーレイディスクドライブの動作中に本体の電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたり、停電した場合は、電源を入れたときに、録画・再生に関連する機能が一時的に使えない場合があります。この場合は、しばらく待ってから操作し直してください。

● ディスクが取り出せない

- ・本体の電源が「切」のときは、ディスクの取り出しはできません。本体の電源を「入」にして、電源ランプが点灯していることを確認してから、本体右側面のディスク取り出しボタンを押してください。
- ・ブルーレイディスクへのダビング中、ブルーレイディスクの初期化中、ソフトウェアの更新中は、ディスクを取り出すことはできません。動作終了後にディスク取り出しボタンを押して、ディスクを取り出してください。
- ・ディスクの取り出し時、HDDランプが赤色で点滅し、取り出しまでに時間がかかることがあります。(最大約2分) しばらくお待ちください。
- ・上記の操作を行ってもディスクが取り出せない場合は、販売店または116ページの連絡先にご相談ください。

● 故障かな!
一覧 (つづき)

用語解説

<p>●再生や録画に関する主な用語を記載しています。 それ以外の用語については、電子説明書の「言葉でさがす」をご覧ください。</p>	
チャプターマーク	<ul style="list-style-type: none"> ・録画番組の頭出しなどが、しやすいよう区切るために記録されたマーク(目印)です。 ・本機では「オートチャプター」設定を「オン」にすると録画時、自動的に作成されます。 ・本機ではチャプターマークを編集することはできません。
ファイナライズ	<ul style="list-style-type: none"> ・番組を記録したBD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。 ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。
フォーマット	<ul style="list-style-type: none"> ・記録前のHDDやBD-Rなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。
ブルーレイディスク(BD)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイビジョン番組をそのままの画質・音質で記録することができるディスクです。(DVDの場合、そのままの画質・音質で記録することはできません)
プレイリスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーレイディスクなどに記録された番組の再生順序などを、指定したリストのことです。 ・本機ではプレイリストの作成や編集はできません。
ワンセグ	<ul style="list-style-type: none"> ・「ワンセグ」とは携帯電話など移動体端末向け地上デジタル放送サービスの名称です。ワンセグ放送では、画像が粗く感じられたり、映像の動きがなめらかでなかつたりすることがあります。 ・本機は、ワンセグ放送をモバイル機器(携帯電話など)で再生できるようSDメモリーカードにダビングすることができます。
AVCHD規格	<ul style="list-style-type: none"> ・高精細なハイビジョンビデオ映像をDVD記録用ディスクやSDメモリーカードなどに記録するための規格です。 ・本機では、この規格で記録されたSDメモリーカードやブルーレイディスクが再生できます。
BDビデオ	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーレイディスクの市販ソフトのことです。本機では「Region A」と記載されたBDビデオを再生できます。 ・BDビデオの特長は、迫力あるハイビジョン映像や最大7.1ch音声のサポート、再生中にいろいろな操作ができる「ポップアップメニュー」の表示です。 ・「BONUSVIEW」対応のBDビデオでは、本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングルの映像などの副映像が楽しめます。
BD-R	<ul style="list-style-type: none"> ・1回のみ記録することができるブルーレイディスクです。本機では記録や再生することができます。 ・デジタル放送を、放送そのままの画質・音質(標準モード)で記録できます。 ・本機で記録できるようにするには、本機でフォーマットしてください。記録済みのBD-Rはフォーマットできません。
BD-RE(Ver.1.0)	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し記録用で、1倍速のブルーレイディスクです。 ・カートリッジ付きのディスクのため、本機では使用できません。
BD-RE(Ver.2.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し記録することができる2倍速のブルーレイディスクです。本機では記録や再生することができます。 ・デジタル放送を、放送そのままの画質・音質(標準モード)で記録できます。 ・本機で記録できるようにするには、本機でフォーマットしてください。ただし、記録済みの場合、記録していた内容はすべて消去されます。

CPRM	<p>Content Protection for Recordable Mediaの略称です。デジタル放送には、原則として「1世代のみコピー可能」「個数制限コピー可能」などのコピー制御信号が加えられており、CPRMに対応したデジタル録画機器と記録メディアとの組み合わせにおいてのみ、録画が可能になります。ただし、コピー制御信号の実際の運用は、個々の放送局が判断します。</p>
DTS (Digital Theater Systems)	<p>映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。</p>
DTS-HD	<p>映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAVアンプでもDTSとして再生できます。BD規格では最大7.1chまで対応しています。</p>
DVDビデオ	<p>映画や音楽などの市販ソフトのことです。DVDビデオは再生のみ行えます。</p>
DVD-R	<ul style="list-style-type: none"> ・1回のみ記録できるDVDです。 ・本機では記録できません。他の機器で記録してファイナライズされたディスクの再生ができます。
DVD-RAM	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し記録できるDVDです。 ・本機でカートリッジ付きのDVD-RAMを使用する場合、カートリッジからディスクを取り出して使用してください。本機ではDVD-RAM(TYPE1)は使用できません。
DVD-R DL	<ul style="list-style-type: none"> ・記録面が片面2層になっていて、番組を1層目から2層目へ引き続き記録できるDVDです。1回のみ記録できます。 ・本機では記録できません。他の機器で記録してファイナライズされたディスクの再生ができます。
DVD-RW	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し記録できるDVDです。 ・本機では記録できません。他の機器で記録してファイナライズされたディスクの再生ができます。
HDD(ハードディスク)	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つで、表面に磁性体を塗った円盤(ディスク)を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。 ・本機には320 GBのHDDが内蔵されています。
JPEG	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。 ・デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10~1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。
LPCM	<p>CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。</p>
MPEG-2	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。 ・MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式です。 ・本機では、DVDビデオやSDカードムービーやSDビデオカメラなどで撮影したMPEG-2動画を再生することができます。
MPEG-4 AVC(H.264)	<ul style="list-style-type: none"> ・カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。 ・MPEG-4 AVC/H.264はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

商標などについて

- SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- CP8 PATENT
- HDAVI Control™は商標です。
- **DVD** はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- “AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関連会社の日本国内における登録商標です。
- Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
- 米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 天災、システム障害その他の事由により、テレビ番組ガイド(EPG)が使用できない場合があります。当社はテレビ番組ガイド(EPG)の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" ©OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved.
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2010
- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 米国特許番号: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。
DTS2.0+Digital Out 及びDTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。© DTS, Inc. 不許複製。
- Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
- Java およびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- “BONUSVIEW”はBlu-ray Disc Association の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及びVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ AVC 規格及びVC-1 規格に準拠する動画(以下、AVC/VC-1 ビデオ)を記録する場合
 - ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合
 - ・ ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC/VC-1 ビデオを再生する場合詳細については米国法人MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- 本機は2010年5月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1)パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2)第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
- (3)GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア

- (4)GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア

- (5)GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記(3)、(4)に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示されるGNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>
<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>
また、上記(3)、(4)に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。

<http://www.am-linux.jp/dl/JPDTVB25>

これらGPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア(GPL/LGPL ソフトウェア)は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも3年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報

cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記のURL からも自由に入手できます。

<http://www.am-linux.jp/dl/JPDTVB25>

This product incorporates the following software:

- (1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
- (2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
- (3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2 (GPL v2),
- (4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,
- (5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1

For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html> and

<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>.

In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals. Please refer to the copyright notice of those individuals at

<http://www.am-linux.jp/dl/JPDTVB25>

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, Panasonic will give to any third party who contact us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/LGPL v2.1.

Contact Information

cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.

<http://www.am-linux.jp/dl/JPDTVB25>

お手入れ／上手な使いかた

お手入れについて

■キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布(綿・ネル地など)で軽くふき取ってください

- ひどい汚れは、ほこりをはらったあと水で100倍にうすめた中性洗剤にひたした布を、かたく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



■液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

■スプレー洗剤などを直接かけない

水が内部に入ると、故障の原因になります。

■殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの変質や塗装がはがれます。
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。(キャビネットの変質の原因)

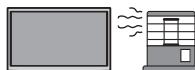
■化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書に従ってください。

設置されるとき

■直射日光を避け、熱器具から離す

- キャビネットの変形や故障の原因になります。



■機器相互のかんしょうに注意する

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさけます。



■接続は電源を“切”にしてから行う

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

(オーディオ機器、録画機器、ゲーム機器、
オーディオアンプなど)

■アンテナは定期的に点検を行う

- 風雨にさらされたり、ばい煙の多い所、潮風にさらされる所は早く傷みます。映りが悪くなったら、販売店にご相談を。



■良好な画面で見るために

- アンテナ線は、同軸ケーブルのご使用を。

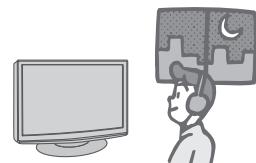
長時間使用しないときは

■電源プラグをコンセントから抜いてください

- リモコンで電源を切った場合は約0.2W、本体の電源を切った場合は約0.07Wの電力を消費します。

ご使用になるとき

■適度の音量にして隣り近所へ配慮する



- 特に夜間は、窓を閉めたりヘッドホンの使用をおすすめします。
- 音量を下げるごとに消費電力や音のひずみも少なくなります。

■見る距離と部屋の明るさは

- 画面の縦の長さの約3倍程度、また、新聞が楽に読める明るさで。

■本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させたときや、暖房を入れて急に部屋の温度が上がったりした場合、温度差により本機の表面や内部に結露が起こることがあります。そのままご使用になると故障の原因になります。

- 部屋の温度になじむまで、本体の電源を「切」にしておいてください。(約2~3時間)
- 温度変化が起こりやすい場所や湿度が高い場所(湯気が立ち込めてる場所など)には設置しないでください。

液晶パネルについて

■画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません

- 液晶パネルは非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯するものがありますのでご了承ください。

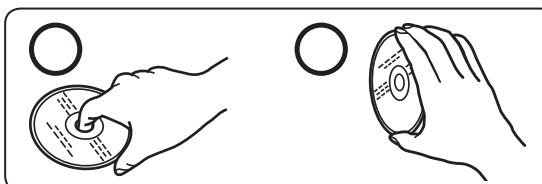
■残像が発生する場合があります

- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに残像は消えます。

取り扱いについて(ディスク)

ディスクに関する注意事項

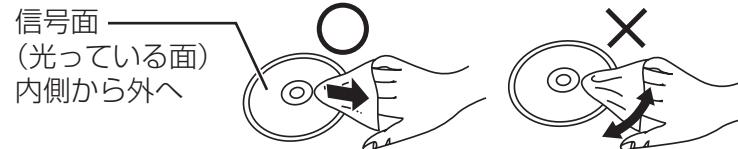
持ちかた



- 信号面(光っている面)には手を触れない
- 信号面に指紋や汚れなどが付着しているときは、ふき取ってください。

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー(別売品)のご使用をおすすめします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えることない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- シールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
- 印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
- 以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - そってたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後はケースに収めてください。

(内蔵ハードディスク/ブルーレイディスクドライブ)

内蔵ハードディスクに関する注意事項

- たばこの煙や殺虫剤の煙、ほこりなどが本機の内部に入ると、故障の原因となります。
- 内蔵ハードディスク動作中(再生、録画中など)に、本体の電源を切ったり、振動や衝撃(本機の移動、回転など)を与えると、録画した番組が消えたり、故障の原因となります。
<本体で電源を切るときは>
 - リモコンの「停止」ボタンを押す
 - HDDランプ(☞26ページ)が消えているか、または橙色点灯中であることを確認する
 - 本体の電源を切る
- 何らかの不具合により、正常に録画ができなかった場合の内容の補償、録画した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合(内蔵ハードディスク以外の修理を行った場合も)においても同様です。あらかじめご了承ください。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ブルーレイディスクドライブに関する注意事項

- ブルーレイディスクドライブ動作中(再生、ダビング中など)に、本体の電源を切ったり、振動や衝撃(本機の移動、回転など)を与えると、ディスクに記録した番組が消えたり、ディスクに傷がついて使用できなくなったり、故障の原因になったりすることがあります。
<本体で電源を切るときは>
 - リモコンの「停止」ボタンを押す
 - HDDランプ(☞26ページ)が消えているか、または橙色点灯中であることを確認する
 - 本体の電源を切る
- 何らかの不具合により、正常に記録ができなかった場合の内容の補償、記録した内容の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機は必ず垂直に設置してください。ブルーレイディスクドライブは、傾くと正常に記録・再生ができなくなります。
- 設置や移動をするときは、あらかじめディスクを取り出してください。
振動や衝撃でディスクが傷つく場合があります。
- 本機の電源を切る前に、ディスクを取り出してください。
長期間ディスクを挿入したままにすると、故障の原因になることがあります。
- ディスクを挿入するときは、無理に押し込まないでください。
故障の原因になることがあります。
- すでにディスクが入っているときにもう1枚挿入しようとすると、故障の原因になることがあります。
- 録画/再生レンズ
長期間使用すると、ブルーレイディスクドライブのレンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約1年に一度、スロットイン対応のブルーレイレンズクリーナー(別売品:RP-CL720A-K)でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。
・クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

!**警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

!**注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

!**してはいけない**
内容です。

!**実行しなければならない**
内容です。

!**気をつけていただく**
内容です。

!**警告**

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください



電源プラグ
を抜く

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- ・煙が出たり、異常な臭いや音がする
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水などの液体や異物が入った
- ・本機に変形や破損した部分がある



そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

水ぬれについて



水ぬれ禁止

■上に花びん、コップなどを置かないでください
火災・感電の原因になります。



水場使用禁止

■風呂場などで使用しないでください
火災・感電の原因になります。



誤飲防止について



■メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください
誤って飲み込むおそれがあります。



●万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

異物について



■内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください
火災・感電の原因になります。



●特にお子様にはご注意ください。

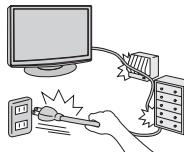
電源コード・電源プラグについて



■破損するようなことはしないでください

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は、販売店にご依頼ください。



■傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。
●修理は、販売店にご依頼ください。



■交流 100 V以外で使用しないでください
■コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください
■たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。



■ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

ぬれ手禁止 感電の原因になります。



■電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。



■電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください
ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



設置について



■不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。



■雷が鳴りだしたときは、アンテナ線や本機には触れないでください
感電の原因になります。



■壁掛けおよび壁寄せ設置工事は、工事専門業者にご依頼ください

工事が不完全ですと、死亡・けがの原因になります。
●指定の取り付け金具をご使用ください。

分解禁止について



■裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。



●内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



高圧注意
サービスマン以外の方は、裏ぶたをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、万一さると危険です。

「本体に表示した事項」

安全上
のご注意

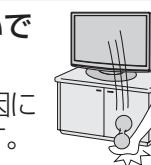
安全上のご注意

必ずお守りください

安全上のご注意

⚠ 注意

本機の取り扱いについて

- 強い力や衝撃を加えないでください
液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。
- 乗らないでください
■ぶらさがらないでください
倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。
- 上に物を置かないでください
落下してけがの原因になることがあります。

- 本機の回転範囲に手や物を置かないでください
けがの原因になることがあります。
- 接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください
火災・感電の原因になることがあります。
- 接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理を行ってください
火災・感電・けがの原因になることがあります。

設置について

- 通風孔をふさがないでください
- 据置きスタンド使用時は本機下面と床面との空間をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください
- あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください
内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください
火災・感電の原因になることがあります。

- 付属の転倒・落下防止部品を使用して固定してください
けがの原因になることがあります。
●転倒・落下防止処置は38ページ参照。
- 本機の上面、左右、後面は10cm以上の間隔をおいて据えつけてください
火災の原因になることがあります。
(設置にあたっては、36ページもご参照ください。)

(工事専門業者様へ)

- 壁掛け金具および壁寄せ専用スタンドを使用するときは、工事説明書に従ってお取り付けください
落下してけがの原因になることがあります。

⚠ 注意

電池の取り扱いについて

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
- 極性(プラス+とマイナス-)を逆に入れないでください
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。
(27ページ参照)

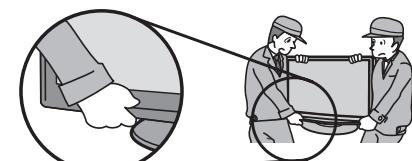
電源プラグについて

- 長期間使用しないときはコンセントから抜いてください
電源プラグを抜く
- 電源プラグを持って抜いてください
電源コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

移動について

- 移動させる前に接続線などをはずしてください
(電源プラグ、アンテナ線、機器間の接続線や転倒・落下防止部品)
電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。
- 開梱や持ち運びは2人以上で行ってください
落下してけがの原因になることがあります。

- 運搬や移動をする場合は、指定した個所を保持して行ってください
落下してけがの原因になることがあります。



安全上のご注意

必ずお守りください

安全上
のご注意

⚠ 注意

お手入れについて



■通風孔に付着したゴミをこまめに取り除いてください

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災・故障の原因になることがあります。

●湿気の多くなる梅雨時の前に行うとより効果的です。なお、内部の掃除依頼、費用については、販売店または116ページの連絡先にご相談ください。



■お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

感電の原因になることがあります。

アンテナについて



■アンテナ工事は、販売店にご相談ください

アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

●送配電線から離れた場所に設置してください。

●BS、CS放送受信用のアンテナは強風の影響を受けやすいのでしっかり取り付けてください。

ディスクについて



■ディスク挿入口に指を入れないでください

けがの原因になることがあります。

●特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



■ひび割れ、変形、修復したディスクや特殊形状のディスクは使用しないでください

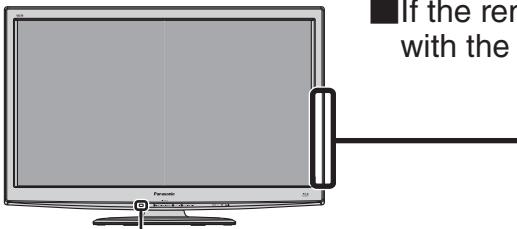
本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になることがあります。



Quick Reference Guide

Basic Operations

- For more detailed instructions on the operation, points of caution, maintenance, what to do in case of malfunction, please contact the place of purchase.
- The instructions and illustrations indicated below are for the TH-L37R2B.



Remote control sensor

- Do not place any objects between the TV remote control sensor and remote control.

- If the remote control is not usable, operate the television with the controls on the TV set.



TV, CATV, BS and CS channel selectors

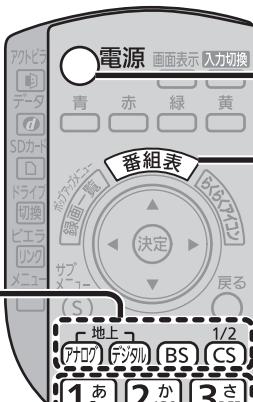
Sound volume controllers

Broadcast and Input signal selector



- First, push the Power to turn on.

Operate your Remote control pointed to the Remote control sensor.
(Within about 7meters in front of the TV set.)



Turn On or Off

EPG button

Electronic Programme Guide(EPG) provides an on-screen listing of the programmes currently broadcast.

Select a broadcast



Select a channel



Control the Sound volume

Original screen button
Lets you change from the EPG and menu screens back to the broadcast screen for the selected channel.

仕様

● このテレビを使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式および電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

テレビ本体		
品番	TH-L37R2B(37V型)	TH-L32R2B(32V型)
種類	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
使用電源	AC100 V 50/60 Hz	
消費電力	167 W 本体電源「切」時 約 0.07 W、リモコンで電源「切」時 約 0.2 W(データ取得時 [*] は除く) (クイックスタート「入」設定時、またはデータ取得時 [*] 約 19 W) (HDD予約録画実行時 最大約 23 W) ※放送局からの番組表や情報を電波を通して受信するとき	112 W
年間消費電力量	109 kWh/年(スタンダード時)	82 kWh/年(スタンダード時)
区分名	DG3(FHD、液晶倍速、付加機能3)	D03(FHD以外、液晶倍速、付加機能3)
受信可能放送	VHF: ch1~12/UHF: ch13~62/CATV: c13~c63/BSデジタル 110度CSデジタル/地上デジタル(CATVパススルー対応)※ワンセグ放送は録画のみ	
内蔵ハードディスク容量	320 GB(録画可能領域は320 GBより少なくなります。)	
音声実用最大出力	20 W(10 W+10 W)JEITA	
スピーカー	フルレンジ: 4.2 cm×16 cm 2個	
液晶ディスプレイ (アスペクト比16:9)	37V型 画素数: 水平1920×垂直1080	32V型 画素数: 水平1366×垂直768
画面寸法	幅 81.9 cm 高さ 46.1 cm 対角 94.0 cm	幅 69.8 cm 高さ 39.2 cm 対角 80.0 cm
動作使用条件	周囲温度: 5°C~35°C、相対湿度: 20%~80%(結露なきこと)	
接続端子	NTSC関連 ●ビデオ入力1~3 S2映像: 輝度・色信号分離(75 Ω) (ビデオ入力1、3はS2映像なし) 映像: 1 V[p-p](75 Ω) 音声: 左・右 0.5 V[rms] D端子 ビデオ関連 ●D4映像(Y: 1 V[p-p](75 Ω)、PB/CB: 0.7 V[p-p](75 Ω)、PR/CR: 0.7 V[p-p](75 Ω)) 音声: 左・右 0.5 V[rms](音声はビデオ入力1と兼用) 入力(480i、480p、720p、1080i)自動切換式 衛星関連 ●BS・110度CS-IF入力(75 Ω)兼衛星アンテナ用電源(DC15 V)出力 パソコン入力 ●RGB(ミニD-sub15P) 音声: 左・右 0.5 V[rms](音声入力はビデオ入力3と兼用) 表示画素数、対応信号について(2ガイド112) HDMI入力 ●HDMI端子 2系統(HDMI 1端子: HDMI 1.4 ARC[オーディオリターンチャンネル]対応) (本機はピエラリンク[HDMI]Ver.5に対応しています。)対応信号について(276ページ) その他 ●光デジタル音声出力端子: -18 dBm 660 nm ●LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX) ●ヘッドホン/イヤホン端子(16~32 Ω推奨) ●SDメモリーカード挿入口(SDHCメモリーカード対応) ●USB端子 2系統(DC5 V MAX500 mA)(280ページ)	
外形寸法	スタンド部含む 幅 89.6 cm 高さ 61.1 cm 奥行 28.7 cm	幅 77.9 cm 高さ 54.2 cm 奥行 21.7 cm
	本体のみ 幅 89.6 cm 高さ 56.9 cm 奥行 12.5 cm	幅 77.9 cm 高さ 50.3 cm 奥行 12.0 cm
質量	スタンド部含む 約 18.5 kg	約 14.0 kg
	本体のみ 約 16.5 kg	約 12.5 kg
キャビネット材質	樹脂	
角度調整範囲	左右: 約 15°	
●年間消費電力量: 省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。		
●区分名: 「エネルギーの使用的の合理化に関する法律(省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示および付加機能の有無等に基づいた区分を行っています。その区分の名称です。		
●テレビのV型(37V/32V型)は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。		
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。		
リモコン (品番:N2QAYB000545)	使用電源 DC3 V(単3形乾電池2コ)	操作距離 約 7 m以内(テレビ正面距離)
	質量 約 150 g(乾電池含)	操作範囲 左右各 約 30°以内 上下各 約 20°以内

■ 使用可能なディスク

ダビングや再生ができるディスク [*]	●BD-RE (SL: 片面1層/DL: 片面2層) 1~2倍速(Ver.2.1準拠) (1倍速 Ver.1.0は非対応)
	●BD-R (SL: 片面1層/DL: 片面2層) 1~2倍速(Ver.1.1準拠) 1~4倍速(Ver.1.2準拠) 1~6倍速(Ver.1.3準拠) 1~2倍速 LTH type [(Ver.1.2準拠)(SL:片面1層のみ)] 1~4倍速 LTH type [(Ver.1.3準拠)(SL:片面1層のみ)] 1~6倍速 LTH type [(Ver.1.3準拠)(SL:片面1層のみ)]
リージョンコード	DVD: #2 BD: Region A
	●BD-Video ●DVD-RAM [*] : DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCHD 規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠 [*] 、DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠 [*] 、AVCREC 規格準拠 [*] ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠 [*] 、DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠 [*] ●+R、+R DL(片面2層)、+RW: DVDビデオ規格準拠 [*] 、AVCHD 規格準拠 [*] ●DVD-Video: DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW: CD-DA
再生のみできるディスク	●再生のみできるディスク

※1 8 cm ブルーレイディスクへは記録できません。
SDメモリーカードの写真(画像)をBD-Rにはダビングできません。(270ページ)

※2 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。

※3 他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

保証とアフターサービス

修理・使いかた・お手入れなどは…

■ まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

99ページの故障かな!? と電子説明書(トップページ)の困ったときに従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

●品番 TH-

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

※「よくある質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/>

●修理に関するご相談は………

パナソニック 修理ご相談窓口	
電話	フリー ダイヤル  0120-878-554
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。	
・上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。	

パナソニック お客様ご相談センター 365日 受付9時~20時	
電話	フリー ダイヤル  0120-878-365
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。	
■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187	
■FAX フリーダイヤル  0120-878-236	
Help desk for foreign residents in Japan	
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787	
Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)	
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。	

●使いかた・お手入れなどのご相談は………

※ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社(以下「当社」)は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

よくお読みください

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

・地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241 (函館流通センター内)
東北地区	青森	017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
首都圏地区	山形	023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	024)991-9308	郡山市龜田1丁目51-15
	栃木	028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	027)254-2075	前橋市箱田町325-1
中部地区	茨城	029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
近畿地区	山梨	055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	076)280-6608	金沢市玉鉢2丁目266番地
中国地区	富山	076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	077)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
四国地区	愛知	052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	058)278-6720	岐阜市中鶴4丁目42
	高崎	0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三重	059)254-5520	津市久居野村町字山神421
九州地区	滋賀	077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
四国地区	和歌山	073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
四国地区	松江	0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	086)242-6236	岡山市北区田中138-110
九州地区	広島	082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳島	088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
九州地区	高知	088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字ハ戸上字深町3044
九州地区	長崎	095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
沖縄地区	天草	0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
	沖縄	098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

あ 行

	ページ
■明るさセンサー	26
■アクティブラ	24, 84
■アッテネーター	43, 48
■アドレス(URL)	86
■アドレス入力	86
■アドレス入力制限	85
■暗証番号	67, 75, 85
■安全上のご注意	108~112
■アンテナレベル	48
■アンテナ線の接続	40
■今すぐ見る	64
■今放送中から番組を探す	65
■イヤホン	26
■インターネットを使う	84
■エコナビ	22
■お買い上げ時の状態からやり直すとき	42
■お好みページ	87
■お手入れ/上手な使いかた	104
■お部屋ジャンプリンク	23, 83, 94
■音楽CD	16, 31, 61
■音声ガイド	21

か 行

	ページ
■開始時刻	67
■外部機器の接続/設定	76~79
■壁掛け金具	37
■壁寄せ専用スタンド	37
■画面キーボード方法	89, 90
■漢字変換	88, 89, 92
■かんたんネットワーク設定	42
■かんたん設置設定	42
■乾電池を入れる	27
■記号入力	88, 89
■キーワードで探す	65, 66
■くらし機器	22, 82, 95
■ケーブルテレビ	28, 77
■言語番号一覧	75
■故障かな!?	99
■コピー制限	34
■こまめにオフ	77

さ 行

	ページ
■再生する	54~63
■再生設定(BD/DVD/CDなど)	62
■再生中のいろいろな操作	56
■探して毎回予約	53
■時間指定予約	66
■写真を見る	59
■ジャンルで番組を探す	65, 66
■終了時刻	67
■受信設定	48
■順送り選局	27, 50

な 行

	ページ
■仕様	114
■消音	27
■消費電力	114
■商標などについて	102
■初期設定	42
■人名で探す	65
■制限項目設定	85
■セキュリティ	85
■設置オプション	37
■設置する	36~38
■設置設定をやりなおす	42~49
■全番組消去(BD)	72
■ダビング(写真)	32, 70
■ダビング(ディーガ)	20
■ダビング[ビデオ映像(AVCHD)]	32, 71
■ダビング(ワンセグ)	68
■ダビング(BD)	32, 69
■端末情報送信	84
■地上アナログ放送	29, 43~45, 48
■地上デジタル放送	28, 43, 46~48
■チャプター	53, 59
■チャンネル一覧表	43
■チャンネル修正/設定	44~47
■注目番組一覧	65
■通常方式	90
■ディーガの操作	77
■ディスクについて(BD/DVD/CDなど)	30
■ディスクの入れかた	16
■ディスクの管理/設定(BD/DVD)	72
■ディスク名入力(BD)	72, 92
■データ放送	28, 29
■テレビでネット	24
■テレビを見る	13, 50
■電源オフ連動	15, 77
■電源プラグ	38
■電源ランプ	26
■転倒・落下防止	38
■ドライブ切換	54
■取り扱いについて(ディスク)	106
■内蔵ハードディスク(HDD)	18, 52
■入力切換	13, 51
■入力自動スキップ	79
■入力方法	90
■入力文字切り換え	88, 89, 92
■ネット操作パネルを使う	86
■ネットワーク機器の接続・設定	80
■ネットワークの設定をやり直すとき	42

は 行

	ページ
■ハブ	80
■番組内容	64
■番組表から探す・見る・録画予約する	64~67
■光ファイバー(FTTH)	81
■ピエラリンク(HDMI)	14, 76, 77
■ビデオ映像(AVCHD)	60, 71
■ビデオ入力端子	79
■ビデオ表示書換	79
■ファイナライズ	100
■フォーマット(BD)	72, 100
■付属品	裏表紙
■物理チャンネル	48
■ブラウザ制限	85
■ブルーレイディスク(BD)	30, 100
■プレイリスト	58, 100
■プロテクト(内蔵ハードディスク)	19
■プロテクト(BD)	72
■ブロードバンド	24, 81
■ブロードバンドルーター	80
■プロバイダー	81
■ヘッドホン	26
■変換方式	90
■放送切換	13, 27, 50
■保証とアフターサービス	116
■ポータルサイト	24, 84
■ボタン選局	13, 27, 50
■本機で楽しめる放送	28

ま 行

	ページ
■マニュアル(チャンネル修正)	45, 47
■見ている番組を録画	14, 18, 52
■見るだけ予約	64
■無線LAN	23, 80
■メニュー	27, 96
■文字入力一覧表	91
■文字入力設定	90
■文字を削除する	88, 89, 93
■文字を入力する	88~93

や 行

	ページ
■予測方式	88~90
■読み込み状況	85
■予約一覧	66
■予約方式	67
■予約(確認/取り消し/変更)	66

ら 行

	ページ
■らくらくアイコン	13
■リージョンコード	115
■リモコン受信部	26
■リモコンボタン(携帯電話)方法	88, 90
■履歴削除	67
■録画一覧	19, 55
■録画・再生機器の接続	76
■録画・視聴設定(内蔵ハードディスク)	53
■録画(内蔵ハードディスク)	18, 52
■録画モード	18, 35
■録画予約	64
■録画を停止する	18, 52

わ 行

	ページ
■ワンセグ同時録画設定	53
■ワンセグ持ち出し	20, 68, 100

英数字

	ページ
■3桁チャンネル番号	51
■10BASE-T/100BASE-TX	81
■480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p	76
■actVila(アクティブラ)	24, 84
■B-CASカード(挿入/テスト)	39
■BDビデオ	31, 60, 100
■BD/DVDの設定	72, 74
■BD/DVD初期設定	74
■BONUSVIEW	61
■CATVデジタルSTB	14, 76
■D4映像入力端子(D端子)	79
■DNS設定	81
■DVDディスク	30
■DVDビデオ	31, 60, 101
■ECOスタンバイ	77
■FTTH	81
■FTTH回線終端装置	81
■H.264	95
■HDD(内蔵ハードディスク)	18, 52, 101
■HDMI	76, 78
■HDMIケーブル	76, 78
■HDMI RGBレンジ設定	79
■IPアドレス	81
■JEITA	114
■MACアドレス	81
■Quick Reference Guide	113
■Q&A集	7
■S2映像入力端子	79
■SDメモリーカード	21, 32
■YouTube(ユーチューブ)	25